

英語1 A

13284

授業開講期間 前期集中単位数 2配当回生 1担当教員 坂本 利子講義内容・テーマ

Reading and Writing (週2回・2単位・同一の日本人教員担当)

この科

目は、読み・書く力をつけることに重点をおき、基本的な英語力を改善することをねらいとしている。学生は、語彙を増やし、テキストについてコンテキストをふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、skimming, scanningなどの読む技術を習得する。

また、テキストの要旨や批評にかかわって、学生はさまざまな書く課題に取り組まなければならない。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語1 B

13285

授業開講期間 前期集中単位数 2配当回生 1担当教員 日高 周平講義内容・テーマ

Reading and Writing (週2回・2単位・同一の日本人教員担当)

この科

目は、読み・書く力をつけることに重点をおき、基本的な英語力を改善することをねらいとしている。学生は、語彙を増やし、テキストについてコンテキストをふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、skimming, scanningなどの読む技術を習得する。

また、テキストの要旨や批評にかかわって、学生はさまざまな書く課題に取り組まなければならない。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語1C

13286

授業開講期間 前期集中単位数 2配当回生 1担当教員 鈴木 盛子講義内容・テーマ

Reading and Writing (週2回・2単位・同一の日本人教員担当)

この科

目は、読み・書く力をつけることに重点をおき、基本的な英語力を改善することをねらいとしている。学生は、語彙を増やし、テキストについてコンテキストをふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、skimming, scanningなどの読む技術を習得する。

また、テキストの要旨や批評にかかわって、学生はさまざまな書く課題に取り組まなければならない。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語1D

13338

授業開講期間 前期集中単位数 2配当回生 1担当教員 吉田 祐子講義内容・テーマ

Reading and Writing (週2回・2単位・同一の日本人教員担当) この科
目は、読み・書く力をつけることに重点をおき、基本的な英語力を改善することをねらいとしている。学生は、語彙を増やし、テキストについてコンテキストをふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、skimming, scanningなどの読む技術を習得する。
また、テキストの要旨や批評にかかわって、学生はさまざまな書く課題に取り組まなければならない。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価
3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語1 E

13324

授業開講期間 前期集中単位数 2配当回生 1担当教員 吉田 祐子講義内容・テーマ

Reading and Writing (週2回・2単位・同一の日本人教員担当)

この科

目は、読み・書く力をつけることに重点をおき、基本的な英語力を改善することをねらいとしている。学生は、語彙を増やし、テキストについてコンテキストをふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、skimming, scanningなどの読む技術を習得する。

また、テキストの要旨や批評にかかわって、学生はさまざまな書く課題に取り組まなければならない。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語1 F

13287

授業開講期間 前期集中単位数 2配当回生 1担当教員 桜井 延子講義内容・テーマ

Reading and Writing (週2回・2単位・同一の日本人教員担当)

この科

目は、読み・書く力をつけることに重点をおき、基本的な英語力を改善することをねらいとしている。学生は、語彙を増やし、テキストについてコンテキストをふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、skimming, scanningなどの読む技術を習得する。

また、テキストの要旨や批評にかかわって、学生はさまざまな書く課題に取り組まなければならない。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語1 G

13293

授業開講期間 前期集中単位数 2配当回生 1担当教員 平山 美雪講義内容・テーマ

Reading and Writing (週2回・2単位・同一の日本人教員担当)

この科

目は、読み・書く力をつけることに重点をおき、基本的な英語力を改善することをねらいとしている。学生は、語彙を増やし、テキストについてコンテキストをふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、skimming, scanningなどの読む技術を習得する。

また、テキストの要旨や批評にかかわって、学生はさまざまな書く課題に取り組まなければならない。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語1 H

13307

授業開講期間 前期集中単位数 2配当回生 1担当教員 坂本 利子講義内容・テーマ

Reading and Writing (週2回・2単位・同一の日本人教員担当)

この科

目は、読み・書く力をつけることに重点をおき、基本的な英語力を改善することをねらいとしている。学生は、語彙を増やし、テキストについてコンテキストをふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、skimming, scanningなどの読む技術を習得する。

また、テキストの要旨や批評にかかわって、学生はさまざまな書く課題に取り組まなければならない。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語Ⅰ

13308

授業開講期間 前期集中単位数 2配当回生 1担当教員 池内 靖子講義内容・テーマ

Reading and Writing (週2回・2単位・同一の日本人教員担当)

この科

目は、読み・書く力をつけることに重点をおき、基本的な英語力を改善することをねらいとしている。学生は、語彙を増やし、テキストについてコンテキストをふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、skimming, scanningなどの読む技術を習得する。

また、テキストの要旨や批評にかかわって、学生はさまざまな書く課題に取り組まなければならない。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語1 J

13309

授業開講期間 前期集中単位数 2配当回生 1担当教員 日高 周平講義内容・テーマ

Reading and Writing (週2回・2単位・同一の日本人教員担当)

この科

目は、読み・書く力をつけることに重点をおき、基本的な英語力を改善することをねらいとしている。学生は、語彙を増やし、テキストについてコンテキストをふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、skimming, scanningなどの読む技術を習得する。

また、テキストの要旨や批評にかかわって、学生はさまざまな書く課題に取り組まなければならない。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語1 K

13310

授業開講期間 前期集中単位数 2配当回生 1担当教員 池内 靖子講義内容・テーマ

Reading and Writing (週2回・2単位・同一の日本人教員担当)

この科

目は、読み・書く力をつけることに重点をおき、基本的な英語力を改善することをねらいとしている。学生は、語彙を増やし、テキストについてコンテキストをふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、skimming, scanningなどの読む技術を習得する。

また、テキストの要旨や批評にかかわって、学生はさまざまな書く課題に取り組まなければならない。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語1 L

13311

授業開講期間 前期集中単位数 2配当回生 1担当教員 平山 美雪講義内容・テーマ

Reading and Writing (週2回・2単位・同一の日本人教員担当)

この科

目は、読み・書く力をつけることに重点をおき、基本的な英語力を改善することをねらいとしている。学生は、語彙を増やし、テキストについてコンテキストをふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、skimming, scanningなどの読む技術を習得する。

また、テキストの要旨や批評にかかわって、学生はさまざまな書く課題に取り組まなければならない。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語1 M

13306

授業開講期間 前期集中単位数 2配当回生 1担当教員 桜井 延子講義内容・テーマ

Reading and Writing (週2回・2単位・同一の日本人教員担当)

この科

目は、読み・書く力をつけることに重点をおき、基本的な英語力を改善することをねらいとしている。学生は、語彙を増やし、テキストについてコンテキストをふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、skimming, scanningなどの読む技術を習得する。

また、テキストの要旨や批評にかかわって、学生はさまざまな書く課題に取り組まなければならない。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語1 N

13336

授業開講期間 前期集中単位数 2配当回生 1担当教員 馬場 智姫講義内容・テーマ

Reading and Writing (週2回・2単位・同一の日本人教員担当)

この科

目は、読み・書く力をつけることに重点をおき、基本的な英語力を改善することをねらいとしている。学生は、語彙を増やし、テキストについてコンテキストをふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、skimming, scanningなどの読む技術を習得する。

また、テキストの要旨や批評にかかわって、学生はさまざまな書く課題に取り組まなければならない。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語10

13326

授業開講期間 前期集中単位数 2配当回生 1担当教員 吉田 信介講義内容・テーマ

Reading and Writing (週2回・2単位・同一の日本人教員担当)

この科

目は、読み・書く力をつけることに重点をおき、基本的な英語力を改善することをねらいとしている。学生は、語彙を増やし、テキストについてコンテキストをふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、skimming, scanningなどの読む技術を習得する。

また、テキストの要旨や批評にかかわって、学生はさまざまな書く課題に取り組まなければならない。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語1 P

13327

授業開講期間 前期集中単位数 2配当回生 1担当教員 古川 哲史講義内容・テーマ

Reading and Writing (週2回・2単位・同一の日本人教員担当)

この科

目は、読み・書く力をつけることに重点をおき、基本的な英語力を改善することをねらいとしている。学生は、語彙を増やし、テキストについてコンテキストをふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、skimming, scanningなどの読む技術を習得する。

また、テキストの要旨や批評にかかわって、学生はさまざまな書く課題に取り組まなければならない。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語1 Q

13328

授業開講期間 前期集中単位数 2配当回生 1担当教員 竹間 優美子講義内容・テーマ

Reading and Writing (週2回・2単位・同一の日本人教員担当)

この科

目は、読み・書く力をつけることに重点をおき、基本的な英語力を改善することをねらいとしている。学生は、語彙を増やし、テキストについてコンテキストをふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、skimming, scanningなどの読む技術を習得する。

また、テキストの要旨や批評にかかわって、学生はさまざまな書く課題に取り組まなければならない。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語1 R

13329

授業開講期間 前期集中単位数 2配当回生 1担当教員 鈴木 盛子講義内容・テーマ

Reading and Writing (週2回・2単位・同一の日本人教員担当)

この科

目は、読み・書く力をつけることに重点をおき、基本的な英語力を改善することをねらいとしている。学生は、語彙を増やし、テキストについてコンテキストをふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、skimming, scanningなどの読む技術を習得する。

また、テキストの要旨や批評にかかわって、学生はさまざまな書く課題に取り組まなければならない。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語1 S

13331

授業開講期間 前期集中単位数 2配当回生 1担当教員 芝原 直美講義内容・テーマ

Reading and Writing (週2回・2単位・同一の日本人教員担当)

この科

目は、読み・書く力をつけることに重点をおき、基本的な英語力を改善することをねらいとしている。学生は、語彙を増やし、テキストについてコンテキストをふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、skimming, scanningなどの読む技術を習得する。

また、テキストの要旨や批評にかかわって、学生はさまざまな書く課題に取り組まなければならない。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語1 T

13333

授業開講期間 前期集中単位数 2配当回生 1担当教員 鈴木 喜美講義内容・テーマ

Reading and Writing (週2回・2単位・同一の日本人教員担当)

この科

目は、読み・書く力をつけることに重点をおき、基本的な英語力を改善することをねらいとしている。学生は、語彙を増やし、テキストについてコンテキストをふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、skimming, scanningなどの読む技術を習得する。

また、テキストの要旨や批評にかかわって、学生はさまざまな書く課題に取り組まなければならない。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語1 U

13335

授業開講期間 前期集中単位数 2配当回生 1担当教員 酒井 玲子講義内容・テーマ

Reading and Writing (週2回・2単位・同一の日本人教員担当)

この科

目は、読み・書く力をつけることに重点をおき、基本的な英語力を改善することをねらいとしている。学生は、語彙を増やし、テキストについてコンテキストをふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、skimming, scanningなどの読む技術を習得する。

また、テキストの要旨や批評にかかわって、学生はさまざまな書く課題に取り組まなければならない。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語1 V

13339

授業開講期間 前期集中単位数 2配当回生 1担当教員 馬場 智姫講義内容・テーマ

Reading and Writing (週2回・2単位・同一の日本人教員担当)

この科

目は、読み・書く力をつけることに重点をおき、基本的な英語力を改善することをねらいとしている。学生は、語彙を増やし、テキストについてコンテキストをふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、skimming, scanningなどの読む技術を習得する。

また、テキストの要旨や批評にかかわって、学生はさまざまな書く課題に取り組まなければならない。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語1 W

13344

授業開講期間 前期集中単位数 2配当回生 1担当教員 酒井 玲子講義内容・テーマ

Reading and Writing (週2回・2単位・同一の日本人教員担当)

この科

目は、読み・書く力をつけることに重点をおき、基本的な英語力を改善することをねらいとしている。学生は、語彙を増やし、テキストについてコンテキストをふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、skimming, scanningなどの読む技術を習得する。

また、テキストの要旨や批評にかかわって、学生はさまざまな書く課題に取り組まなければならない。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語1 X

13345

授業開講期間 前期集中単位数 2配当回生 1担当教員 吉田 信介講義内容・テーマ

Reading and Writing (週2回・2単位・同一の日本人教員担当)

この科

目は、読み・書く力をつけることに重点をおき、基本的な英語力を改善することをねらいとしている。学生は、語彙を増やし、テキストについてコンテキストをふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、skimming, scanningなどの読む技術を習得する。

また、テキストの要旨や批評にかかわって、学生はさまざまな書く課題に取り組まなければならない。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語1 Y

13346

授業開講期間 前期集中単位数 2配当回生 1担当教員 池端 千賀子講義内容・テーマ

Reading and Writing (週2回・2単位・同一の日本人教員担当)

この科

目は、読み・書く力をつけることに重点をおき、基本的な英語力を改善することをねらいとしている。学生は、語彙を増やし、テキストについてコンテキストをふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、skimming, scanningなどの読む技術を習得する。

また、テキストの要旨や批評にかかわって、学生はさまざまな書く課題に取り組まなければならない。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語1 Z

13351

授業開講期間 前期集中単位数 2配当回生 1担当教員 古川 哲史講義内容・テーマ

Reading and Writing (週2回・2単位・同一の日本人教員担当)

この科

目は、読み・書く力をつけることに重点をおき、基本的な英語力を改善することをねらいとしている。学生は、語彙を増やし、テキストについてコンテキストをふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、skimming, scanningなどの読む技術を習得する。

また、テキストの要旨や批評にかかわって、学生はさまざまな書く課題に取り組まなければならない。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語1 ZA

13341

授業開講期間 前期集中単位数 2配当回生 1担当教員 芝原 直美講義内容・テーマ

Reading and Writing (週2回・2単位・同一の日本人教員担当)

この科

目は、読み・書く力をつけることに重点をおき、基本的な英語力を改善することをねらいとしている。学生は、語彙を増やし、テキストについてコンテキストをふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、skimming, scanningなどの読む技術を習得する。

また、テキストの要旨や批評にかかわって、学生はさまざまな書く課題に取り組まなければならない。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語1 ZB

13352

授業開講期間 前期集中単位数 2配当回生 1担当教員 鈴木 喜美講義内容・テーマ

Reading and Writing (週2回・2単位・同一の日本人教員担当) この科
目は、読み・書く力をつけることに重点をおき、基本的な英語力を改善することをねらいとしている。学生は、語彙を増やし、テキストについてコンテキストをふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、skimming, scanningなどの読む技術を習得する。
また、テキストの要旨や批評にかかわって、学生はさまざまな書く課題に取り組まなければならない。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価
3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語1 ZC

13359

授業開講期間 前期集中単位数 2配当回生 1担当教員 竹間 優美子講義内容・テーマ

Reading and Writing (週2回・2単位・同一の日本人教員担当)

この科

目は、読み・書く力をつけることに重点をおき、基本的な英語力を改善することをねらいとしている。学生は、語彙を増やし、テキストについてコンテキストをふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、skimming, scanningなどの読む技術を習得する。

また、テキストの要旨や批評にかかわって、学生はさまざまな書く課題に取り組まなければならない。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語2 A

13312

授業開講期間 前期集中

単位数 2

配当回生 1

担当教員 IAN T. HOSACK

講義内容・テーマ

English Workshop (週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、学生のオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかる。教員は、一連のテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用いる。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体を通して、自分の意見を表現することを学ぶ。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語2 B

13313

授業開講期間 前期集中

単位数 2

配当回生 1

担当教員 YVONNE R. ISHIDA

講義内容・テーマ

English Workshop (週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、学生のオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかる。教員は、一連のテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用いる。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体を通して、自分の意見を表現することを学ぶ。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語2 C

13314

授業開講期間 前期集中

単位数 2

配当回生 1

担当教員 WILLIAM HODGE

講義内容・テーマ

English Workshop (週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、学生のオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかる。教員は、一連のテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用いる。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体を通して、自分の意見を表現することを学ぶ。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語2 D

13315

授業開講期間 前期集中

単位数 2

配当回生 1

担当教員 THOMAS AMUNDRUD

講義内容・テーマ

English Workshop (週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、学生のオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかる。教員は、一連のテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用いる。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体を通して、自分の意見を表現することを学ぶ。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語2 E

13316

授業開講期間 前期集中

単位数 2

配当回生 1

担当教員 OLIVER DAMMACCO

講義内容・テーマ

English Workshop (週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、学生のオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかる。教員は、一連のテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用いる。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体を通して、自分の意見を表現することを学ぶ。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語2 F

13317

授業開講期間 前期集中

単位数 2

配当回生 1

担当教員 GREGORY D. MOLKENTIN

講義内容・テーマ

English Workshop (週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、学生のオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかる。教員は、一連のテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用いる。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体を通して、自分の意見を表現することを学ぶ。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語2 G

13305

授業開講期間 前期集中

単位数 2

配当回生 1

担当教員 JAMES SHAWN WALKER

講義内容・テーマ

English Workshop (週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、学生のオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかる。教員は、一連のテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用いる。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体を通して、自分の意見を表現することを学ぶ。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語2 H

13288

授業開講期間 前期集中

単位数 2

配当回生 1

担当教員 JAMES SHAWN WALKER

講義内容・テーマ

English Workshop (週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、学生のオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかる。教員は、一連のテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用いる。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体を通して、自分の意見を表現することを学ぶ。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語2 I

13289

授業開講期間 前期集中

単位数 2

配当回生 1

担当教員 TATE YAMASHITA

講義内容・テーマ

English Workshop (週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、学生のオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかる。教員は、一連のテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用いる。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体を通して、自分の意見を表現することを学ぶ。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語 2 J

13292

授業開講期間 前期集中

単位数 2

配当回生 1

担当教員 YVONNE R. ISHIDA

講義内容・テーマ

English Workshop (週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、学生のオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかる。教員は、一連のテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用いる。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体を通して、自分の意見を表現することを学ぶ。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語2 K

13291

授業開講期間 前期集中

単位数 2

配当回生 1

担当教員 THOMAS AMUNDRUD

講義内容・テーマ

English Workshop (週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、学生のオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかる。教員は、一連のテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用いる。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体を通して、自分の意見を表現することを学ぶ。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語2 K

13291

授業開講期間 前期集中

単位数 2

配当回生 1

担当教員 THOMAS AMUNDRUD

講義内容・テーマ

English Workshop (週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、学生のオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかる。教員は、一連のテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用いる。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体を通して、自分の意見を表現することを学ぶ。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語2 L

13290

授業開講期間 前期集中

単位数 2

配当回生 1

担当教員 OLIVER DAMMACCO

講義内容・テーマ

English Workshop (週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、学生のオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかる。教員は、一連のテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用いる。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体を通して、自分の意見を表現することを学ぶ。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語2 M

13301

授業開講期間 前期集中

単位数 2

配当回生 1

担当教員 GREGORY D. MOLKENTIN

講義内容・テーマ

English Workshop (週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、学生のオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかる。教員は、一連のテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用いる。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体を通して、自分の意見を表現することを学ぶ。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語2 N

13319

授業開講期間 前期集中

単位数 2

配当回生 1

担当教員 JOHN J. MCATEER

講義内容・テーマ

English Workshop (週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、学生のオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかる。教員は、一連のテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用いる。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体を通して、自分の意見を表現することを学ぶ。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語20

13347

授業開講期間 前期集中

単位数 2

配当回生 1

担当教員 DAVID G. MCCULLOUGH

講義内容・テーマ

English Workshop (週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、学生のオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかる。教員は、一連のテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用いる。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体を通して、自分の意見を表現することを学ぶ。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語2 P

13348

授業開講期間 前期集中

単位数 2

配当回生 1

担当教員 YVONNE R. ISHIDA

講義内容・テーマ

English Workshop (週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、学生のオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかる。教員は、一連のテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用いる。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体を通して、自分の意見を表現することを学ぶ。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語2 Q

13349

授業開講期間 前期集中

単位数 2

配当回生 1

担当教員 CHRISTOPHER RAYMOND

講義内容・テーマ

English Workshop (週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、学生のオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかる。教員は、一連のテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用いる。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体を通して、自分の意見を表現することを学ぶ。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語2 R

13350

授業開講期間 前期集中

単位数 2

配当回生 1

担当教員 MORRIS J. AUGUSTINE

講義内容・テーマ

English Workshop (週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、学生のオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかる。教員は、一連のテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用いる。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体を通して、自分の意見を表現することを学ぶ。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語2 R

13350

授業開講期間 前期集中

単位数 2

配当回生 1

担当教員 MORRIS J. AUGUSTINE

講義内容・テーマ

English Workshop (週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、学生のオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかる。教員は、一連のテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用いる。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体を通して、自分の意見を表現することを学ぶ。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語2 S

13343

授業開講期間 前期集中

単位数 2

配当回生 1

担当教員 ANNA KIM

講義内容・テーマ

English Workshop (週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、学生のオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかる。教員は、一連のテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用いる。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体を通して、自分の意見を表現することを学ぶ。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語2 T

13342

授業開講期間 前期集中

単位数 2

配当回生 1

担当教員 DWIGHT ALEXANDER TKATSCHOW

講義内容・テーマ

English Workshop (週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、学生のオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかる。教員は、一連のテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用いる。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体を通して、自分の意見を表現することを学ぶ。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語2 U

13340

授業開講期間 前期集中

単位数 2

配当回生 1

担当教員 ALBIE SHARPE

講義内容・テーマ

English Workshop (週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、学生のオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかる。教員は、一連のテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用いる。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体を通して、自分の意見を表現することを学ぶ。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語2 V

13302

授業開講期間 前期集中

単位数 2

配当回生 1

担当教員 JOHN J. MCATEER

講義内容・テーマ

English Workshop (週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、学生のオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかる。教員は、一連のテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用いる。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体を通して、自分の意見を表現することを学ぶ。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語2 W

13330

授業開講期間 前期集中

単位数 2

配当回生 1

担当教員 MORRIS J. AUGUSTINE

講義内容・テーマ

English Workshop (週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、学生のオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかる。教員は、一連のテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用いる。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体を通して、自分の意見を表現することを学ぶ。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語 2 X

13325

授業開講期間 前期集中

単位数 2

配当回生 1

担当教員 YVONNE R. ISHIDA

講義内容・テーマ

English Workshop (週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、学生のオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかる。教員は、一連のテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用いる。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体を通して、自分の意見を表現することを学ぶ。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語2 Y

13318

授業開講期間 前期集中

単位数 2

配当回生 1

担当教員 ARTHUR G. BRIGHAM

講義内容・テーマ

English Workshop (週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、学生のオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかる。教員は、一連のテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用いる。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体を通して、自分の意見を表現することを学ぶ。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語2 Z

13332

授業開講期間 前期集中

単位数 2

配当回生 1

担当教員 DAVID G. MCCULLOUGH

講義内容・テーマ

English Workshop (週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、学生のオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかる。教員は、一連のテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用いる。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体を通して、自分の意見を表現することを学ぶ。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語2 ZA

13337

授業開講期間 前期集中

単位数 2

配当回生 1

担当教員 ANNA KIM

講義内容・テーマ

English Workshop (週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、学生のオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかる。教員は、一連のテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用いる。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体を通して、自分の意見を表現することを学ぶ。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語2 ZB

13334

授業開講期間 前期集中

単位数 2

配当回生 1

担当教員 DWIGHT ALEXANDER TKATSCHOW

講義内容・テーマ

English Workshop (週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、学生のオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかる。教員は、一連のテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用いる。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体を通して、自分の意見を表現することを学ぶ。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語2 ZC

13358

授業開講期間 前期集中

単位数 2

配当回生 1

担当教員 ARTHUR G. BRIGHAM

講義内容・テーマ

English Workshop (週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、学生のオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかる。教員は、一連のテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用いる。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体を通して、自分の意見を表現することを学ぶ。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語3 A

15707

授業開講期間 後期集中単位数 2配当回生 1担当教員 桜井 延子講義内容・テーマ

Reading and Writing (週2回・2単位)

英語1に引き続き、ReadingとWritingに重点をおく。Writingでは、いくつかのパラグラフを結びつけて、主要なアイデアとそれを補強する部分と結論を含む、一つのエッセーを書くことを目標とする。学生は、英文のレトリック、主要な構成パターン(比較対照、原因結果、分類と描写など)を学ばなければならない。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語3 B

15708

授業開講期間 後期集中単位数 2配当回生 1担当教員 YVONNE R. ISHIDA講義内容・テーマ

Reading and Writing (週2回・2単位)

英語1に引き続き、ReadingとWritingに重点をおく。Writingでは、いくつかのパラグラフを結びつけて、主要なアイデアとそれを補強する部分と結論を含む、一つのエッセーを書くことを目標とする。学生は、英文のレトリック、主要な構成パターン(比較対照、原因結果、分類と描写など)を学ばなければならない。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語3 C

15709

授業開講期間 後期集中

単位数 2

配当回生 1

担当教員 東 自由里

講義内容・テーマ

Reading and Writing (週2回・2単位)

英語1に引き続き、ReadingとWritingに重点をおく。Writingでは、いくつかのパラグラフを結びつけて、主要なアイデアとそれを補強する部分と結論を含む、一つのエッセーを書くことを目標とする。学生は、英文のレトリック、主要な構成パターン(比較対照、原因結果、分類と描写など)を学ばなければならない。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語3 D

15721

授業開講期間 後期集中単位数 2配当回生 1担当教員 坂本 利子講義内容・テーマ

Reading and Writing (週2回・2単位)

英語1に引き続き、ReadingとWritingに重点をおく。Writingでは、いくつかのパラグラフを結びつけて、主要なアイデアとそれを補強する部分と結論を含む、一つのエッセーを書くことを目標とする。学生は、英文のレトリック、主要な構成パターン(比較対照、原因結果、分類と描写など)を学ばなければならない。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語3 E

15722

授業開講期間 後期集中単位数 2配当回生 1担当教員 DIANE HARING講義内容・テーマ

Reading and Writing (週2回・2単位)

英語1に引き続き、ReadingとWritingに重点をおく。Writingでは、いくつかのパラグラフを結びつけて、主要なアイデアとそれを補強する部分と結論を含む、一つのエッセーを書くことを目標とする。学生は、英文のレトリック、主要な構成パターン(比較対照、原因結果、分類と描写など)を学ばなければならない。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語3 EA

15744

授業開講期間 後期集中 単位数 2 配当回生 1
担当教員 DAVID G. MCCULLOUGH

講義内容・テーマ

Reading and Writing (週2回・2単位)

英語1に引き続き、ReadingとWritingに重点をおく。Writingでは、いくつかのパラグラフを結びつけて、主要なアイデアとそれを補強する部分と結論を含む、一つのエッセーを書くことを目標とする。学生は、英文のレトリック、主要な構成パターン(比較対照、原因結果、分類と描写など)を学ばなければならない。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュール

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

英語3 EB

15745

授業開講期間 後期集中

単位数 2

配当回生 1

担当教員 SIMON COLE

講義内容・テーマ

Reading and Writing (週2回・2単位)

英語1に引き続き、ReadingとWritingに重点をおく。Writingでは、いくつかのパラグラフを結びつけて、主要なアイデアとそれを補強する部分と結論を含む、一つのエッセーを書くことを目標とする。学生は、英文のレトリック、主要な構成パターン(比較対照、原因結果、分類と描写など)を学ばなければならない。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語3 EC

15723

授業開講期間 後期集中単位数 2配当回生 1担当教員 THOMAS BYRON KIMBALL講義内容・テーマ

Reading and Writing (週2回・2単位)

英語1に引き続き、ReadingとWritingに重点をおく。Writingでは、いくつかのパラグラフを結びつけて、主要なアイデアとそれを補強する部分と結論を含む、一つのエッセーを書くことを目標とする。学生は、英文のレトリック、主要な構成パターン(比較対照、原因結果、分類と描写など)を学ばなければならない。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語3 F

15736

授業開講期間 後期集中単位数 2配当回生 1担当教員 DAVID G. MCCULLOUGH講義内容・テーマ

Reading and Writing (週2回・2単位)

英語1に引き続き、ReadingとWritingに重点をおく。Writingでは、いくつかのパラグラフを結びつけて、主要なアイデアとそれを補強する部分と結論を含む、一つのエッセーを書くことを目標とする。学生は、英文のレトリック、主要な構成パターン(比較対照、原因結果、分類と描写など)を学ばなければならない。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語3 G

15737

授業開講期間 後期集中単位数 2配当回生 1担当教員 酒井 玲子講義内容・テーマ

Reading and Writing (週2回・2単位)

英語1に引き続き、ReadingとWritingに重点をおく。Writingでは、いくつかのパラグラフを結びつけて、主要なアイデアとそれを補強する部分と結論を含む、一つのエッセーを書くことを目標とする。学生は、英文のレトリック、主要な構成パターン(比較対照、原因結果、分類と描写など)を学ばなければならない。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語3 H

15738

授業開講期間 後期集中

単位数 2

配当回生 1

担当教員 ALBIE SHARPE

講義内容・テーマ

Reading and Writing (週2回・2単位)

英語1に引き続き、ReadingとWritingに重点をおく。Writingでは、いくつかのパラグラフを結びつけて、主要なアイデアとそれを補強する部分と結論を含む、一つのエッセーを書くことを目標とする。学生は、英文のレトリック、主要な構成パターン(比較対照、原因結果、分類と描写など)を学ばなければならない。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語3 I

15740

授業開講期間 後期集中

単位数 2

配当回生 1

担当教員 吉田 信介

講義内容・テーマ

Reading and Writing (週2回・2単位)

英語1に引き続き、ReadingとWritingに重点をおく。Writingでは、いくつかのパラグラフを結びつけて、主要なアイデアとそれを補強する部分と結論を含む、一つのエッセーを書くことを目標とする。学生は、英文のレトリック、主要な構成パターン(比較対照、原因結果、分類と描写など)を学ばなければならない。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語3 J

15746

授業開講期間 後期集中

単位数 2

配当回生 1

担当教員 WILLIAM HODGE

講義内容・テーマ

Reading and Writing (週2回・2単位)

英語1に引き続き、ReadingとWritingに重点をおく。Writingでは、いくつかのパラグラフを結びつけて、主要なアイデアとそれを補強する部分と結論を含む、一つのエッセーを書くことを目標とする。学生は、英文のレトリック、主要な構成パターン(比較対照、原因結果、分類と描写など)を学ばなければならない。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語3 K

15748

授業開講期間 後期集中

単位数 2

配当回生 1

担当教員 池内 靖子

講義内容・テーマ

Reading and Writing (週2回・2単位)

英語1に引き続き、ReadingとWritingに重点をおく。Writingでは、いくつかのパラグラフを結びつけて、主要なアイデアとそれを補強する部分と結論を含む、一つのエッセーを書くことを目標とする。学生は、英文のレトリック、主要な構成パターン(比較対照、原因結果、分類と描写など)を学ばなければならない。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語3 L

15749

授業開講期間 後期集中

単位数 2

配当回生 1

担当教員 IAN T. HOSACK

講義内容・テーマ

Reading and Writing (週2回・2単位)

英語1に引き続き、ReadingとWritingに重点をおく。Writingでは、いくつかのパラグラフを結びつけて、主要なアイデアとそれを補強する部分と結論を含む、一つのエッセーを書くことを目標とする。学生は、英文のレトリック、主要な構成パターン(比較対照、原因結果、分類と描写など)を学ばなければならない。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語4 EA

14625

授業開講期間 後期単位数 1配当回生 1担当教員 坂本 利子講義内容・テーマ

(英語専修コース)English in the Media :Print Media(週1回・1単位)

この科目は、メディアを批判的に読む力をつけることをねらいとしている。英文の新聞や雑誌の記事の構成、枠組み、言説、ナラティブ、レトリック、テクニカルな用語、言葉の選択について基本的な知識を学ぶ。また、インターネットのニュース源も活用する。ニュースを読むだけでなく、それについての分析を書く課題も含む。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語4 EB

14626

授業開講期間 後期

単位数 1

配当回生 1

担当教員 池内 靖子

講義内容・テーマ

(英語専修コース)English in the Media :Print Media(週1回・1単位)

この科目は、メディアを批判的に読む力をつけることをねらいとしている。英文の新聞や雑誌の記事の構成、枠組み、言説、ナラティブ、レトリック、テクニカルな用語、言葉の選択について基本的な知識を学ぶ。また、インターネットのニュース源も活用する。ニュースを読むだけでなく、それについての分析を書く課題も含む。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語4 EC

14937

授業開講期間 後期

単位数 1

配当回生 1

担当教員 吉田 信介

講義内容・テーマ

(英語専修コース)English in the Media :Print Media(週1回・1単位)

この科目は、メディアを批判的に読む力をつけることをねらいとしている。英文の新聞や雑誌の記事の構成、枠組み、言説、ナラティブ、レトリック、テクニカルな用語、言葉の選択について基本的な知識を学ぶ。また、インターネットのニュース源も活用する。ニュースを読むだけでなく、それについての分析を書く課題も含む。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語5 EA

14668

授業開講期間 後期単位数 1配当回生 1担当教員 IAN T. HOSACK講義内容・テーマ

(英語専修コース)English in the Media : Broadcast Media(週1回・1単位)

英語4と関連させ、メディア英語について学ぶ。英語5のほうは、テレビやラジオの英語ニュースを活用する。オーディオ・ビジュアルの機器を用いて、聴解力をつけることもねらいとしている。ニュース番組を見たり、聴いたりしながら、それらについて書く課題とクラスでの議論が求められる。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語5 EB

14669

授業開講期間 後期単位数 1配当回生 1担当教員 DAVID G. MCCULLOUGH講義内容・テーマ

(英語専修コース)English in the Media : Broadcast Media(週1回・1単位)

英語4と関連させ、メディア英語について学ぶ。英語5のほうは、テレビやラジオの英語ニュースを活用する。オーディオ・ビジュアルの機器を用いて、聴解力をつけることもねらいとしている。ニュース番組を見たり、聴いたりしながら、それらについて書く課題とクラスでの議論が求められる。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語5 EC

14670

授業開講期間 後期

単位数 1

配当回生 1

担当教員 YVONNE R. ISHIDA

講義内容・テーマ

(英語専修コース)English in the Media : Broadcast Media(週1回・1単位)

英語4と関連させ、メディア英語について学ぶ。英語5のほうは、テレビやラジオの英語ニュースを活用する。オーディオ・ビジュアルの機器を用いて、聴解力をつけることもねらいとしている。ニュース番組を見たり、聴いたりしながら、それらについて書く課題とクラスでの議論が求められる。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語6 A

12498

授業開講期間 前期単位数 1配当回生 2担当教員 馬場 智姫講義内容・テーマ

産業社会学部の学生が関心を持つさまざまな専門領域に関連した英文テキストを、クリティカルに読み、議論する力を養う。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

辞書は必携。欠席して遅れた分は自分の責任でキャッチアップすること。

評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語6 B

12499

授業開講期間 前期単位数 1配当回生 2担当教員 古川 哲史講義内容・テーマ

産業社会学部の学生が関心を持つさまざまな専門領域に関連した英文テキストを、クリティカルに読み、議論する力を養う。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

辞書は必携。欠席して遅れた分は自分の責任でキャッチアップすること。

評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語6 C

12501

授業開講期間 前期単位数 1配当回生 2担当教員 池端 千賀子講義内容・テーマ

産業社会学部の学生が関心を持つさまざまな専門領域に関連した英文テキストを、クリティカルに読み、議論する力を養う。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

辞書は必携。欠席して遅れた分は自分の責任でキャッチアップすること。

評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語6 D

12500

授業開講期間 前期単位数 1配当回生 2担当教員 鈴木 盛子講義内容・テーマ

産業社会学部の学生が関心を持つさまざまな専門領域に関連した英文テキストを、クリティカルに読み、議論する力を養う。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

辞書は必携。欠席して遅れた分は自分の責任でキャッチアップすること。

評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語6 E

12502

授業開講期間 前期単位数 1配当回生 2担当教員 鈴木 喜美講義内容・テーマ

産業社会学部の学生が関心を持つさまざまな専門領域に関連した英文テキストを、クリティカルに読み、議論する力を養う。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

辞書は必携。欠席して遅れた分は自分の責任でキャッチアップすること。

評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語6 EA

12486

授業開講期間 前期単位数 1配当回生 2担当教員 馬場 智姫講義内容・テーマ

産業社会学部の学生が関心を持つさまざまな専門領域に関連した英文テキストを、クリティカルに読み、議論する力を養う。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

辞書は必携。欠席して遅れた分は自分の責任でキャッチアップすること。

評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語6 EB

12487

授業開講期間 前期単位数 1配当回生 2担当教員 池端 千賀子講義内容・テーマ

産業社会学部の学生が関心を持つさまざまな専門領域に関連した英文テキストを、クリティカルに読み、議論する力を養う。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

辞書は必携。欠席して遅れた分は自分の責任でキャッチアップすること。

評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語6 EC

12488

授業開講期間 前期単位数 1配当回生 2担当教員 古川 哲史講義内容・テーマ

産業社会学部の学生が関心を持つさまざまな専門領域に関連した英文テキストを、クリティカルに読み、議論する力を養う。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

辞書は必携。欠席して遅れた分は自分の責任でキャッチアップすること。

評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語6 F

12496

授業開講期間 前期単位数 1配当回生 2担当教員 梶野 正子講義内容・テーマ

産業社会学部の学生が関心を持つさまざまな専門領域に関連した英文テキストを、クリティカルに読み、議論する力を養う。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

辞書は必携。欠席して遅れた分は自分の責任でキャッチアップすること。

評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語6 G

12497

授業開講期間 前期単位数 1配当回生 2担当教員 蛇持 純子講義内容・テーマ

産業社会学部の学生が関心を持つさまざまな専門領域に関連した英文テキストを、クリティカルに読み、議論する力を養う。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

辞書は必携。欠席して遅れた分は自分の責任でキャッチアップすること。

評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語6 H

12504

授業開講期間 前期単位数 1配当回生 2担当教員 佐々木 敏二講義内容・テーマ

産業社会学部の学生が関心を持つさまざまな専門領域に関連した英文テキストを、クリティカルに読み、議論する力を養う。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

辞書は必携。欠席して遅れた分は自分の責任でキャッチアップすること。

評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語6 I

12484

授業開講期間 前期

単位数 1

配当回生 2

担当教員 竹間 優美子

講義内容・テーマ

産業社会学部の学生が関心を持つさまざまな専門領域に関連した英文テキストを、クリティカルに読み、議論する力を養う。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

辞書は必携。欠席して遅れた分は自分の責任でキャッチアップすること。

評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語6 J

12483

授業開講期間 前期単位数 1配当回生 2担当教員 蛇持 純子講義内容・テーマ

産業社会学部の学生が関心を持つさまざまな専門領域に関連した英文テキストを、クリティカルに読み、議論する力を養う。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

辞書は必携。欠席して遅れた分は自分の責任でキャッチアップすること。

評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語6 K

12485

授業開講期間 前期単位数 1配当回生 2担当教員 鈴木 盛子講義内容・テーマ

産業社会学部の学生が関心を持つさまざまな専門領域に関連した英文テキストを、クリティカルに読み、議論する力を養う。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

辞書は必携。欠席して遅れた分は自分の責任でキャッチアップすること。

評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語6 L

12489

授業開講期間 前期単位数 1配当回生 2担当教員 梶野 正子講義内容・テーマ

産業社会学部の学生が関心を持つさまざまな専門領域に関連した英文テキストを、クリティカルに読み、議論する力を養う。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

辞書は必携。欠席して遅れた分は自分の責任でキャッチアップすること。

評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語6 M

12321

授業開講期間 前期単位数 1配当回生 2担当教員 酒井 玲子講義内容・テーマ

産業社会学部の学生が関心を持つさまざまな専門領域に関連した英文テキストを、クリティカルに読み、議論する力を養う。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

辞書は必携。欠席して遅れた分は自分の責任でキャッチアップすること。

評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語6 N

12534

授業開講期間 前期単位数 1配当回生 2担当教員 鈴木 喜美講義内容・テーマ

産業社会学部の学生が関心を持つさまざまな専門領域に関連した英文テキストを、クリティカルに読み、議論する力を養う。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

辞書は必携。欠席して遅れた分は自分の責任でキャッチアップすること。

評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語60

12302

授業開講期間 前期単位数 1配当回生 2担当教員 酒井 玲子講義内容・テーマ

産業社会学部の学生が関心を持つさまざまな専門領域に関連した英文テキストを、クリティカルに読み、議論する力を養う。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

辞書は必携。欠席して遅れた分は自分の責任でキャッチアップすること。

評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語7 A

12273

授業開講期間 前期

単位数 1

配当回生 2

担当教員 IAN T. HOSACK

講義内容・テーマ

(英語重視・専修コース)English Workshop (週1回・1単位・ネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、英語2の展開で、コンテンツ・ベースト・アプローチを用いながらオーラル・コミュニケーションと聴解力に重点をおき、英語2で獲得した力をさらに伸ばすことをねらいとしている。それぞれのトピックやテーマをより深く学び、議論するために、取り上げるトピックやテーマの数については制限することが望ましい。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語7 B

12274

授業開講期間 前期

単位数 1

配当回生 2

担当教員 ALBIE SHARPE

講義内容・テーマ

(英語重視・専修コース)English Workshop (週1回・1単位・ネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、英語2の展開で、コンテンツ・ベースト・アプローチを用いながらオーラル・コミュニケーションと聴解力に重点をおき、英語2で獲得した力をさらに伸ばすことをねらいとしている。それぞれのトピックやテーマをより深く学び、議論するために、取り上げるトピックやテーマの数については制限することが望ましい。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語7C

12275

授業開講期間 前期

単位数 1

配当回生 2

担当教員 DIANE HARING

講義内容・テーマ

(英語重視・専修コース)English Workshop (週1回・1単位・ネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、英語2の展開で、コンテンツ・ベースト・アプローチを用いながらオーラル・コミュニケーションと聴解力に重点をおき、英語2で獲得した力をさらに伸ばすことをねらいとしている。それぞれのトピックやテーマをより深く学び、議論するために、取り上げるトピックやテーマの数については制限することが望ましい。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語7 D

12276

授業開講期間 前期

単位数 1

配当回生 2

担当教員 DWIGHT ALEXANDER TKATSCHOW

講義内容・テーマ

(英語重視・専修コース)English Workshop (週1回・1単位・ネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、英語2の展開で、コンテンツ・ベースト・アプローチを用いながらオーラル・コミュニケーションと聴解力に重点をおき、英語2で獲得した力をさらに伸ばすことをねらいとしている。それぞれのトピックやテーマをより深く学び、議論するために、取り上げるトピックやテーマの数については制限することが望ましい。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語7 E

12277

授業開講期間 前期

単位数 1

配当回生 2

担当教員 JOHN FREDERICK ASHBURNE

講義内容・テーマ

(英語重視・専修コース)English Workshop (週1回・1単位・ネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、英語2の展開で、コンテンツ・ベースト・アプローチを用いながらオーラル・コミュニケーションと聴解力に重点をおき、英語2で獲得した力をさらに伸ばすことをねらいとしている。それぞれのトピックやテーマをより深く学び、議論するために、取り上げるトピックやテーマの数については制限することが望ましい。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語7 EA

12280

授業開講期間 前期

単位数 1

配当回生 2

担当教員 RICHARD N. DONOVAN

講義内容・テーマ

(英語重視・専修コース)English Workshop (週1回・1単位・ネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、英語2の展開で、コンテンツ・ベースト・アプローチを用いながらオーラル・コミュニケーションと聴解力に重点をおき、英語2で獲得した力をさらに伸ばすことをねらいとしている。それぞれのトピックやテーマをより深く学び、議論するために、取り上げるトピックやテーマの数については制限することが望ましい。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語7 EB

12286

授業開講期間 前期

単位数 1

配当回生 2

担当教員 DIANE HARING

講義内容・テーマ

(英語重視・専修コース)English Workshop (週1回・1単位・ネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、英語2の展開で、コンテンツ・ベースト・アプローチを用いながらオーラル・コミュニケーションと聴解力に重点をおき、英語2で獲得した力をさらに伸ばすことをねらいとしている。それぞれのトピックやテーマをより深く学び、議論するために、取り上げるトピックやテーマの数については制限することが望ましい。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語7 EC

12287

授業開講期間 前期

単位数 1

配当回生 2

担当教員 SIMON COLE

講義内容・テーマ

(英語重視・専修コース)English Workshop (週1回・1単位・ネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、英語2の展開で、コンテンツ・ベースト・アプローチを用いながらオーラル・コミュニケーションと聴解力に重点をおき、英語2で獲得した力をさらに伸ばすことをねらいとしている。それぞれのトピックやテーマをより深く学び、議論するために、取り上げるトピックやテーマの数については制限することが望ましい。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語7 F

12278

授業開講期間 前期

単位数 1

配当回生 2

担当教員 SIMON COLE

講義内容・テーマ

(英語重視・専修コース)English Workshop (週1回・1単位・ネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、英語2の展開で、コンテンツ・ベースト・アプローチを用いながらオーラル・コミュニケーションと聴解力に重点をおき、英語2で獲得した力をさらに伸ばすことをねらいとしている。それぞれのトピックやテーマをより深く学び、議論するために、取り上げるトピックやテーマの数については制限することが望ましい。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語7 G

12279

授業開講期間 前期

単位数 1

配当回生 2

担当教員 MICHAEL JAMES DAVIES

講義内容・テーマ

(英語重視・専修コース)English Workshop (週1回・1単位・ネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、英語2の展開で、コンテンツ・ベースト・アプローチを用いながらオーラル・コミュニケーションと聴解力に重点をおき、英語2で獲得した力をさらに伸ばすことをねらいとしている。それぞれのトピックやテーマをより深く学び、議論するために、取り上げるトピックやテーマの数については制限することが望ましい。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語7 H

12283

授業開講期間 前期

単位数 1

配当回生 2

担当教員 ALBIE SHARPE

講義内容・テーマ

(英語重視・専修コース)English Workshop (週1回・1単位・ネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、英語2の展開で、コンテンツ・ベースト・アプローチを用いながらオーラル・コミュニケーションと聴解力に重点をおき、英語2で獲得した力をさらに伸ばすことをねらいとしている。それぞれのトピックやテーマをより深く学び、議論するために、取り上げるトピックやテーマの数については制限することが望ましい。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語71

12284

授業開講期間 前期

単位数 1

配当回生 2

担当教員 JOHN FREDERICK ASHBURNE

講義内容・テーマ

(英語重視・専修コース)English Workshop (週1回・1単位・ネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、英語2の展開で、コンテンツ・ベースト・アプローチを用いながらオーラル・コミュニケーションと聴解力に重点をおき、英語2で獲得した力をさらに伸ばすことをねらいとしている。それぞれのトピックやテーマをより深く学び、議論するために、取り上げるトピックやテーマの数については制限することが望ましい。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語7 J

12285

授業開講期間 前期

単位数 1

配当回生 2

担当教員 MICHAEL JAMES DAVIES

講義内容・テーマ

(英語重視・専修コース)English Workshop (週1回・1単位・ネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、英語2の展開で、コンテンツ・ベースト・アプローチを用いながらオーラル・コミュニケーションと聴解力に重点をおき、英語2で獲得した力をさらに伸ばすことをねらいとしている。それぞれのトピックやテーマをより深く学び、議論するために、取り上げるトピックやテーマの数については制限することが望ましい。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語7 K

12282

授業開講期間 前期

単位数 1

配当回生 2

担当教員 DWIGHT ALEXANDER TKATSCHOW

講義内容・テーマ

(英語重視・専修コース)English Workshop (週1回・1単位・ネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、英語2の展開で、コンテンツ・ベースト・アプローチを用いながらオーラル・コミュニケーションと聴解力に重点をおき、英語2で獲得した力をさらに伸ばすことをねらいとしている。それぞれのトピックやテーマをより深く学び、議論するために、取り上げるトピックやテーマの数については制限することが望ましい。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語7 L

12288

授業開講期間 前期

単位数 1

配当回生 2

担当教員 STEPHEN GILL

講義内容・テーマ

(英語重視・専修コース)English Workshop (週1回・1単位・ネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、英語2の展開で、コンテンツ・ベースト・アプローチを用いながらオーラル・コミュニケーションと聴解力に重点をおき、英語2で獲得した力をさらに伸ばすことをねらいとしている。それぞれのトピックやテーマをより深く学び、議論するために、取り上げるトピックやテーマの数については制限することが望ましい。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語7 M

12535

授業開講期間 前期

単位数 1

配当回生 2

担当教員 WILLIAM HODGE

講義内容・テーマ

(英語重視・専修コース)English Workshop (週1回・1単位・ネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、英語2の展開で、コンテンツ・ベースト・アプローチを用いながらオーラル・コミュニケーションと聴解力に重点をおき、英語2で獲得した力をさらに伸ばすことをねらいとしている。それぞれのトピックやテーマをより深く学び、議論するために、取り上げるトピックやテーマの数については制限することが望ましい。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語7 N

12548

授業開講期間 前期

単位数 1

配当回生 2

担当教員 RICHARD N. DONOVAN

講義内容・テーマ

(英語重視・専修コース)English Workshop (週1回・1単位・ネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、英語2の展開で、コンテンツ・ベースト・アプローチを用いながらオーラル・コミュニケーションと聴解力に重点をおき、英語2で獲得した力をさらに伸ばすことをねらいとしている。それぞれのトピックやテーマをより深く学び、議論するために、取り上げるトピックやテーマの数については制限することが望ましい。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語70

12314

授業開講期間 前期

単位数 1

配当回生 2

担当教員 WILLIAM HODGE

講義内容・テーマ

(英語重視・専修コース)English Workshop (週1回・1単位・ネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、英語2の展開で、コンテンツ・ベースト・アプローチを用いながらオーラル・コミュニケーションと聴解力に重点をおき、英語2で獲得した力をさらに伸ばすことをねらいとしている。それぞれのトピックやテーマをより深く学び、議論するために、取り上げるトピックやテーマの数については制限することが望ましい。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語8 EA

13353

授業開講期間 前期集中単位数 2配当回生 2担当教員 DAVID G. MCCULLOUGH講義内容・テーマ

(英語専修コース)English Seminar(週2回・2単位・日本人あるいはネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、コンテンツ・ベースの科目で、特定のトピックをより深く掘り下げをねらいとしている。これまでに取り上げられたテーマでは、「広告産業」「近代英国社会」などがある。学生は、自分の研究したいテーマを選び、担当教員の指導を受けながら、小論文を英語で書き上げることが求められる。この科目内容の詳細については、個別担当教員のコース概要を参照すること。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語8 EB

13354

授業開講期間 前期集中単位数 2配当回生 2担当教員 YVONNE R. ISHIDA講義内容・テーマ

(英語専修コース)English Seminar(週2回・2単位・日本人あるいはネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、コンテンツ・ベースの科目で、特定のトピックをより深く掘り下げをねらいとしている。これまでに取り上げられたテーマでは、「広告産業」「近代英国社会」などがある。学生は、自分の研究したいテーマを選び、担当教員の指導を受けながら、小論文を英語で書き上げることが求められる。この科目内容の詳細については、個別担当教員のコース概要を参照すること。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語8 EC

13356

授業開講期間 前期集中単位数 2配当回生 2担当教員 NICHOLAS DOMJANCIC講義内容・テーマ

(英語専修コース)English Seminar(週2回・2単位・日本人あるいはネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、コンテンツ・ベースの科目で、特定のトピックをより深く掘り下げることをねらいとしている。これまでに取り上げられたテーマでは、「広告産業」「近代英国社会」などがある。学生は、自分の研究したいテーマを選び、担当教員の指導を受けながら、小論文を英語で書き上げることが求められる。この科目内容の詳細については、個別担当教員のコース概要を参照すること。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

授業開講期間 前期集中

単位数 2

配当回生

担当教員 野口 メアリー

講義内容・テーマ

The main goals of this class are to help returnees fill in any gaps in their knowledge of basic English grammar and learn how to prepare an acceptable term paper for a college-level course in an English-speaking country. Emphasis will be placed on the writing process, including brainstorming, outlining, writing a first draft, peer editing and revising. To help build on the students' existing English skills and vocabulary, some class time will also be devoted to listening to lectures and learning new vocabulary.

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

Attendance, preparation and participation are very important. It is especially important to get the first draft of papers done on time and bring them to class for peer editing.

評価方法・基準

* 日常点評価

Grades will be calculated as follows: first drafts of each paper, other assignments and quizzes 40%; final drafts of each paper, 30%; test on one-point lessons, 10%; attendance and participation, 20%.

講義スケジュール

We will start class each week with a short lesson on one English word that means something different in Japanese than it does in English, or one grammatical structure that Japanese students often have trouble with. The rest of the class period will be devoted to activities based on the textbook. We will spend some time at the beginning of each unit listening to the lecture and discussing its contents, but a great deal of individual work on writing activities and grammar practice will also take place in class. Homework will be assigned at the end of each class and must be done on time in order for students to participate in the following class.

At the end of each unit, there will be a quiz on the vocabulary and skills covered in the unit. Students will also be required to complete several short writing assignments and one term paper during the semester. The first draft of each assignment will be shown to other students for comments and suggestions, which students will use as a basis for revising their papers.

テキスト

Interactions 2: Integrated Skills Edition, by Lida R. Baker et. al, McGraw-Hill Book Company.

参考書

All students will be expected to bring an English-Japanese/Japanese-English dictionary to class each week.

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

英語 A2

10614

授業開講期間 前期集中単位数 2配当回生担当教員 RICHARD MILLER講義内容・テーマ

The primary objective of this course is to develop within the students increased skills and confidence in writing in English. In this course writing will be approached as a series of processes that will include prewriting, outlining, drafting, revising, and editing. Although academic writing will be emphasized, time will also be dedicated to examining other forms of creative written expression.

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

Students must have the following 1) a A4 size binder of their preference to contain their handouts and 2) a note book for journal writing and answering questions.

評価方法・基準

- * 試験に代わるレポートとして実施
- * 日常点評価

The marks will be based on the following; a journal that the students will keep; essay assignments; attendance and participation.

講義スケジュール

The schedule will be handed out on the first day of class.

テキスト

There will be a text used in this class as well as handouts that the instructor will provide.

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

授業開講期間 前期集中

単位数 2

配当回生

担当教員 IAN T. HOSACK

講義内容・テーマ

This class will help students develop the formal English writing skills required at the college level. Working with a variety of rhetorical styles, students will have extensive practice in presenting ideas in essay format. Reading, listening and discussion activities will be integrated around theme-based material helping students to develop a full range of language skills for academic purposes.

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

Grades will be based on

(i) attendance & participation

(ii) a writer's journal

(iii) assessed essay assignments.

講義スケジュール

The following is a tentative schedule, subject to amendment

Week 1: What is academic writing? A look at the writing process

Week 2: The structure of a paragraph; writing good topic sentences

Week 3: The Narrative Paragraph

Week 4: The Expository paragraph

Week 5: Introduction to the Essay; the perils of plagiarism;

The thesis statement; the introduction.

Week 6: Developmental paragraphs ? supporting the thesis; the conclusion

Week 7: The Example Essay;

Weeks 8-9: The Comparison & Contrast Essay

Weeks 10-11: The Classification Essay

Weeks 12-13: The Cause & Effect Essay

Weeks 14-15: The Argumentative Essay

テキスト

Refining Composition Skills - Rhetoric & Grammar (5th edition)

R.L. Smalley, M.K. Ruetten & J.R. Kozyrev - Heinle & Heinle

参考書

All students should have a good English-English dictionary.

A Thesaurus is also recommended.

授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページ

see course text for various related sites

その他

Homework will be assigned each lesson and must be completed in time for the next class in order for students to participate fully.

In addition to the course text, students need to be equipped with the following:

- a notebook for regular journal writing
- loose leaf paper for other writing assignments

英語 B2

10525

授業開講期間 前期集中単位数 2配当回生担当教員 MARK ALAN SELZER講義内容・テーマ

The underlying objective of this class is to help students develop their writing skills in English for use at the university level. Activities will be centered around a content-based course format intended to help prepare students prepare for future academic writing. The content covered by this course will be an analysis of the post-World War II world political order.

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

A significant amount of outside reading and a high level of attendance and in-class participation is expected.

評価方法・基準

- * 定期試験として実施
- * 試験に代わるレポートとして実施
- * 日常点評価

講義スケジュール

MODULE I ANALYSIS OF WORLD POLITICS AND THE INTERNATIONAL SYSTEM

- Chapter 1 Studying World Politics
- Chapter 2 The Evolving World System
- Chapter 3 Transnational Interaction

MODULE II INTERNATIONAL ORGANIZATIONS AND DIPLOMACY

- Chapter 7 The Role of International Organizations
- Chapter 8 The Nature and Conduct of Diplomacy
- Chapter 10 Peacekeeping and Arms Control

MODULE III INTERNATIONAL ECONOMIC COMPETITION AND COOPERATION

- Chapter 11 International Political Economy
- Chapter 12 Economic Competition and Cooperation

FINAL ESSAY DUE

テキスト

Handouts to be provided by the instructor.

参考書

A good English-Japanese, Japanese-English Dictionary is strongly recommended

授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語 A1

10156

授業開講期間 前期単位数 1配当回生担当教員 DAVID G. MCCULLOUGH講義内容・テーマ

This course aims to help students who have lived overseas develop high-level presentation skills. Students will be required to critically analyse texts from a range of media, to conduct individual research and to assemble coherent arguments on a range of contemporary issues connected to the theme of Adventure and Personal Challenge.

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

Grading Criteria

This is an advanced class so a high level of motivation and organization will be expected of students.

There will be regular tests on texts for class study and students will also be assessed on individual and group presentations given in class.

評価方法・基準

* 日常点評価

講義スケジュール

Syllabus

Week 1 Introduction

Week 2 Presentation Skills A

Week 3 Presentation Skills B

Week 4 Personal Presentations

Week 5 A Hero for our Time

Week 6 Around the World Alone

Week 7 Against the Odds

Week 8 Extreme Sports

Week 9 To Build a Fire

Week 10 Without Light

Week 11 The Ends of the Earth

Week 12 Group Presentations

Week 13 Group Presentations

Week 14 Final Presentations and Evaluation

Week 15 Final Presentations and Evaluation

テキスト

No textbook

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

授業開講期間 前期

単位数 1

配当回生

担当教員 JAY KLAPHAKE

講義内容・テーマ

PRESENTATION WORKSHOP: NEGOTIATION AND CONFLICT RESOLUTION

This course will focus on developing students negotiation and presentation skills.

Negotiations are central to our lives. They occur in personal, business, legal, national and international arenas. Successful negotiations are

a way to get what we want in a peaceful environment, while increasing the possibility of future cooperation. While wars and court trials garner a lot of media attention, most international legal and political disputes are resolved by less aggressive means, such as negotiations. This course explores the processes, strategies and tactics of negotiation and conflict resolution. Using negotiation simulations and presentations, we will study the nature and dynamics of resolving disputes -- from personal negotiations to mediating peace agreements in international conflicts.

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

Class activities will include short lectures, videos, negotiation simulations, individual and group presentations.

評価方法・基準

* 日常点評価

Approximately: 25% Exams, 25% presentations, 25% simulations, 25% attendance and participation

講義スケジュール

1. Introduction and Overview; Mission Statements
2. The Nature of Negotiation; Presentation 1
3. Strategizing, Framing, and Planning; Negotiation Simulation 1
4. Strategy and Tactics of Bargaining
5. Negotiation Simulation 2 and 3
6. Business Negotiation; Negotiation Simulation 4
7. Coalitions and Teams
8. Multi-party Negotiation Simulation 1
9. Multi-party Negotiation Simulation 2
10. Global Negotiation
11. Mediation
12. Peace Mediation Simulation 1
13. International Conflict Presentations
14. International Conflict Presentations
15. EXAM

テキスト

Teacher provided materials.

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

英語 B1

10702

授業開講期間 前期単位数 1配当回生担当教員 NICHOLAS DOMJANCIC講義内容・テーマ

The primary objective of this course is to develop high level presentation skills for students who have lived overseas. Developing independent research techniques and discussion skills will be the focus of the course. Topics will be taken from various media.

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

Students should bring a dictionary to class.

評価方法・基準

* 日常点評価

Grading will be assessed by attendance, participation, and students presentations.

講義スケジュールテキスト

Materials will be provided by the teacher.

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語 B2

10703

授業開講期間 前期単位数 1配当回生担当教員 ANNA KIM講義内容・テーマ

This course will focus on giving different types of academic presentations. The goal of this course is that students be able to present researched and developed opinions on a given topic in a coherent, effective and well-argued manner.

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

Students are expected, as in any other course, to attend class regularly, to complete assignments on time, and to assume responsibility for themselves. To do well in this class, students should come to class prepared and be self-motivated.

評価方法・基準

* 日常点評価

講義スケジュール

TBA

テキスト

TBA (To be announced)

参考書

TBA

授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語 A

10704

授業開講期間 前期単位数 1配当回生担当教員 NICHOLAS DOMJANCIC講義内容・テーマ

This course will focus on listening. Students will be responsible for independent research and oral presentations on topics selected by the class.

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

Students should bring a dictionary to class.

評価方法・基準

* 日常点評価

Grading will be assessed on the students participation in the class, attendance, oral presentations and a listening test.

講義スケジュールテキスト

ABC World News 5

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

授業開講期間 前期

単位数 1

配当回生

担当教員 野口 メアリー

講義内容・テーマ

This course focuses on media English, especially that used to present the news on American television, and aims to help students gain a deeper understanding of current social issues and the way they are viewed in the United States. It is designed to help returnees improve all four language skills, but special emphasis is placed on listening comprehension. Students will also practice doing research on current issues and making presentations to the class, as well as discussing current events in English.

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

Attendance, preparation and participation are very important. It is especially important to make presentations on the day they are scheduled. Students are required to take all quizzes; when you are absent, you must take the quiz the following week or make arrangements to take it at a later date.

評価方法・基準

* 日常点評価

Grades for this course will be based on presentations (40%), quizzes on the vocabulary and background reading for each chapter (40%), leadership of group discussions (10%), and participation in class (10%). Students who are absent more than three times will get a lower grade for the course.

講義スケジュール

Making Presentations in English

During the first ten minutes of class each week we will study handouts on writing and making presentations in English.

Weekly Quiz

Each week we will have a short quiz on the vocabulary and reading homework for the chapter.

Background Presentation

To help us understand the topic covered in each chapter, we will ask one or two students to give a short presentation on the historical or social background of the news story. Information for these presentations can be gathered from books, encyclopedias, newspapers and magazines, and the internet.

Textbook Activities

The rest of the class period will be spent on the video and textbook activities. We will usually begin by viewing the week's news and checking how much we understand the first time. We will then use the audiocassette and textbook to study the script carefully before viewing the video a second time. Finally, we will break up into small groups to discuss the week's topic. We will try to cover one chapter each week.

Final Presentation

In the last class of the semester, each student will be required to make a 3-minute speech on a current social issue that has been mentioned in the news recently.

テキスト

ABC World News 6, by Yamane Shigeru and Kathleen Yamane; published by Kinseido.

参考書

All students will be expected to bring an English-Japanese/Japanese-English dictionary to class each week.

授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語 A

10738

授業開講期間 後期単位数 1配当回生担当教員 DAVID ALFRED SELL講義内容・テーマ

In this course you will be reading articles from the press and practice identifying important ideas and values that they contain. Various topics will be covered and discussed.

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

講義スケジュール

Tentative schedule, subject to change

1. Introduction to the course
2. Biased writing
3. Views, values, virtues
4. Views, values, virtues (2)
5. International conflict
6. Terrorism
7. Politics
8. Test
9. Education (1)
10. Education (2)
11. Medical ethics
12. The family
13. The family
14. Sports
15. Test

テキスト

No textbook. Handouts will be provided

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

You will be reading and discussing in small groups and with the whole class topics of importance. You must attend at least two-thirds of the classes. Three times late will be counted as one time absent. 30 minutes late is counted as an absence.

英語 B

10739

授業開講期間 後期単位数 1配当回生担当教員 ANNA KIM講義内容・テーマ

This course will focus on giving different types of academic presentations. The goal of this course is that students be able to present researched and developed opinions on a given topic in a coherent, effective and well-argued manner.

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

Students are expected, as in any other course, to attend class regularly, to complete assignments on time, and to assume responsibility for themselves. To do well in this class, students should come to class prepared and be self-motivated.

評価方法・基準

* 日常点評価

講義スケジュール

TBA

テキスト

TBA

参考書

TBA

授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

英語 A

11555

授業開講期間 後期単位数 1配当回生担当教員 RICHARD N. DONOVAN講義内容・テーマ

The goal of this course is to develop your discussion and presentation skills in English. We shall refer to topical issues that are particularly relevant to the lives of college students, and do reading, listening, speaking and presentation exercises in class time. Outside of class, students shall research each topic to prepare for their contribution in following classes.

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

Class participation and attendance (40%). Research (20%). Presentations (40%). Students are expected to make both group and individual contributions, and to prepare fully for each class.

講義スケジュール

Weeks 1-4 Introduction; Topic One

Weeks 5-8 Topic Two

Weeks 9-12 Topic Three

Weeks 13-15 Topic Four

Some topic details to be determined in consultation with students.

テキスト

No textbook -- instructor will provide basic materials, and students will supplement these with their own research.

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

授業開講期間 後期

単位数 1

配当回生

担当教員 野口 メアリー

講義内容・テーマ

The primary goal of this course is to prepare students for college-level discussion in an English-speaking country, although some work will also be done on presentation skills, including outline writing. The course is designed to give students experience in two different types of discussion: one for which they are not prepared and have not researched the topic in advance, and one for which they have done some research. Topics chosen for discussion will be broad social issues in which the students themselves have expressed interest. Each student will have to play the role of group leader for two topics, making a presentation on each of these topics and then leading the group in both types of discussion on the topics. Each student will also act as the note-taker for his or her group and then make a report to the class on the group's discussion of two or more topics. When students are neither the group leader nor the note-taker, they will rely on their own experience and knowledge to discuss the topic for the first week, and then be given a reading and/or a web site to go to in order to prepare for the informed discussion of the same topic the following week.

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

Attendance, participation and preparation are very important. Group leaders must attend the classes in which they are scheduled to lead the discussion and also must have their presentation outline and discussion questions checked before the discussions, either through email consultation or during a meeting with the instructor outside of class.

評価方法・基準

* 日常点評価

Grades will be based on discussion leadership (25%), written reports (25%), note-taking and reporting (20%), reading and preparation for informed discussions (20%), and attendance and participation (10%). Students who miss more than three classes will get a lower final grade.

講義スケジュール

During the first class, students will suggest topics they would like to discuss. Class activities for the first few weeks will focus on using the internet for research and being aware of author bias. During the second, third and fourth classes, students will read passages on topics selected by the instructor and then discuss them in groups. From the fifth week on, discussion topics will be those suggested by the students, with one student in each group serving as the group leader and one as the note-taker/reporter for each topic. Each topic will be discussed for two weeks. Only the group leader will know the exact topic before the discussion the first week. S/he will prepare a 5- to 10-minute introductory presentation on the topic and 7 to 10 questions to lead the discussion with the other students, who will have made no special preparation for the discussion. Group leaders must have their presentation outlines and questions approved by the instructor in advance. After the first week's discussion, the instructor will pass out readings or the URLs for web sites on the topic for the other students to prepare for the following week's discussion. Students will be quizzed on their preparation for the second discussion. Two weeks after their topic is finished, group leaders will have to turn in a written report (500 - 700 words) on their experience as a group leader.

テキスト

The instructor will provide handouts or direct students to web sites to get information on topics.

参考書

All students will be expected to bring an English-Japanese/Japanese-English dictionary to class each week.

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

授業開講期間 前期

単位数 1

配当回生

担当教員 LINDA B. CRAWFORD

講義内容・テーマ

This course is to improve accurate understanding of reading matter, improve critical thinking through analysis of what is read, improve the understanding of what is truly important, and improve the formation of strongly held opinions and their expression. Students will do outside research, and look for a whole view of an issue through grasping all sides of it. It is hoped that this will contribute to students's skills in debate.

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

Energy and effort in class participation and individual work, cooperation with other students and with the teacher, and a will to think and rethink carefully about the issues brought up in class - these will be expected of students.

評価方法・基準

* 日常点評価

Students will be assessed on attendance, class participation, quizzes on readings, weekly research assignments, short writings and presentations.

講義スケジュール

テキスト

Text will be chosen in the first class.

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

授業開講期間 前期

単位数 1

配当回生

担当教員 SIMON COLE

講義内容・テーマ

This course will try to develop students ability to express and present their own opinions and discuss and dispute the opinions of others.

Students will choose from a number of contemporary issue, which will be debated in class. The course will prepare students for participation in formal debates. As well as teaching the language of debate it will also aim to develop critical thinking skills, and the ability

to back up opinions with evidence and to evaluate and contest the evidence provided by others.

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

Students must be prepared to speak and participate in public debate.

評価方法・基準

* 日常点評価

Grades will be based on attendance and participation (40%) Performance in the final debate (40%) Short quizzes and other assignments (20%)

講義スケジュール

Week 1. Introduction and orientation.

Week 2. Speaking your mind.

Week 3. Explaining and justifying your opinion.

Week 4. Disagreeing with other people's opinions.

Week 5. An introduction to debate.

Week 6. Using evidence to build your case.

Week 7. Organizing your arguments.

Week 8. Refuting your opponents arguments.

Week 9. Evaluating and challenging evidence.

Week 10. Organizing your refutation.

Week 11. The language of debate.

Week 12. Summarizing your case.

Week 13. Following and evaluating a debate

Week 14. The great debate 1

Week 15. The great debate 2

テキスト

There will be no textbook for this class. The teacher will provide all the material. Students will need to purchase a clear book or loose leaf folder to store the handouts.

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページ

homepage.mac.com/simacole/

その他

授業開講期間 前期

単位数 1

配当回生

担当教員 池端 千賀子

講義内容・テーマ

このコースでは、最近のアメリカ映画を題材にしたテキストを用いて総合的な英語力(特にリスニングとリーディング)を養うことを目標とする。又、それぞれの映画が取上げている現代のアメリカ社会が抱える様々な問題についても理解を深めることをめざす。毎回の授業では、1)英単語を易しい英語で言い換えること、2)映画のワンシーンのあらすじを要約すること、3)口語表現の聞き取り、4)各映画のトピックに関する読み物の内容理解、そして、5)トピックに関する自分の意見を短い英文で表現し、意見を交換すること等を繰り返し練習する。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

受講生は、テキストを購入して下さい。

評価方法・基準

* 日常点評価
2回のテストで評価します。

講義スケジュール

Week1 Introduction
Week2-7 Unit1-6
Week8 Mid-term Examination
Week9-14 Unit7-12
Week15 Final Examination

テキスト

Akimoto Hiromi and Hamada Mayumi. American Society in Focus. Tokyo:MacMillan Languagehouse, 2004.

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

授業開講期間 前期

単位数 1

配当回生

担当教員 坂本 利子

講義内容・テーマ

This course explores different aspects of our world from supermodels to the web. We watch a short video film each week and learn vocabulary, listening, speaking, writing and discussion.

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

- 1) Students are required to read the text and do the exercises in advance.
- 2) Students' active participation in the work of the course and contribution to classes are essential to make this course successful.

評価方法・基準

* 日常点評価

Based on active participation, exams and other assignments.

講義スケジュール

- 第1週 Introduction to the course & Unit 1
- 第2週 Units 2 & 3
- 第3週 Units 4 & 5
- 第4週 Units 6 & 7
- 第5週 Mid-term exam & Units 8
- 第6週 Units 9 & 10
- 第7週 Units 11 & 12
- 第8週 Final Exam

テキスト

John S. Lander, Discover: Exploring a Variety of Things (Seibido).

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

授業開講期間 前期

単位数 1

配当回生

担当教員 ALBIE SHARPE

講義内容・テーマ

This course will help you to improve your English listening and reading, as well as your speaking and writing. The course will use dialogues and topics from movies which are of interest to students.

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

This is essentially a self-study course, and should be done at your own pace. The test will involve listening, reading and writing sections based on topics that have been studied in class.

評価方法・基準

* 日常点評価

There will be two tests in the semester - attendance at both is required. The first test will be worth 40% of your grade, and the second will be worth 60% of your grade. As this is a supplementary course, attendance beyond those dates is not required, but strongly advised. A study guide and schedule will be handed out in the first class.

講義スケジュール

Topics:

Major League 2 - Baseball, America's National Pastime
You've Got Mail - the Trend of Cyberlove
John Q - Organ Transplant Today and Tomorrow.
Mrs Doubtfire - Who takes care of the children?
Stepmom - Meeting a New Family.
Air Force One - Fighting Against Terrorism.
Working Girl - Women in Business.
Philadelphia - AIDS and Discrimination.
Music of the Heart - Scenes from American Schools
The Rainmaker - Tough Business of Lawyers.
Space Cowboys - Nasa's Continued Challenges.
A Few Good Men - An Inside Look at the American Military.

テキスト

Macmillan Cinema English: American Society in Focus by Hiromi Akimoto and Mayumi Hamada
Supplementary Materials may also be given at the beginning of semester.

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

授業開講期間 後期

単位数 1

配当回生

担当教員 坂本 利子

講義内容・テーマ

This course is designed for learning English through the means of Video Listening. We watch a video excerpt each week on various aspects of the new age and learn about diverse topics as well as English vocabulary, listening, speaking, writing and discussion.

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

- 1) Students are required to read the text and do the exercises in advance.
- 2) Students' active participation in the work of the course and contribution to classes are essential to make this course successful.

評価方法・基準

* 日常点評価

Based on active participation, exams and other assignments.

講義スケジュール

- 第1週 Introduction to the course & Unit 1
- 第2週 Units 2 & 3
- 第3週 Units 4 & 5
- 第4週 Units 6 & 7
- 第5週 Mid-term exam & Units 8
- 第6週 Units 9 & 10
- 第7週 Units 11 & 12
- 第8週 Final Exam

テキスト

John S Lander, "Century: Life in the New Age" (Asahi Press).

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

授業開講期間 後期

単位数 1

配当回生

担当教員 山本 岩夫

講義内容・テーマ

リスニングを含むいろいろな練習問題を解くことによって、英語の基本的なルールを身につける。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

十分な予習と授業における積極的な発言を期待している。

評価方法・基準

* 日常点評価

2回の試験によって評価する

講義スケジュール

スケジュールは以下を予定しているが、学習状況を見て進捗調整を行うことがある。

1. 授業の説明。1・2課
2. 3・4課
3. 5・6課
4. 試験
5. 7・8課
6. 9・10課
7. 試験

テキスト

英語学習支援研究グループPrimary English Grammar for Better Understanding (北星堂書店)

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

授業開講期間 後期

単位数 1

配当回生

担当教員 蛇持 純子

講義内容・テーマ

CNNニュースを題材としたビデオスクリプトになっている教科書を用いる。教室では付属教材のビデオを見せて、テキスト本文中にある下線部補充の聴き取り練習も行う。テキストの英文の難易度は中級程度だが、語彙数はかなり要求されるので、継続的に単語・熟語数を増やしていくよう自主的に学習する習慣を身につけることは単位を取るためにも必須である。本文で扱われているのは、近年に起こった出来事や話題の人物であり、時事的話題を読み聴きたい人向きである。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

出席を要件としない単位回復科目であるが、下線部穴埋めを中心とする練習問題の解答や、2回の試験に関する情報などは受講する学生各自の責任で確認すること。試験の程度は、家庭学習なしでは対応できない程度にはなる。

評価方法・基準

* 日常点評価
2回の試験を受験することが単位獲得に必須。

講義スケジュール

第1回 オリエンテーション、ユニット1
第2回 ユニット2
第3回 ユニット3
第4回 ユニット4
第5回 ユニット5
第6回 ユニット6
第7回 ユニット7
第8回 試験第1回
第9回 ユニット8
第10回 ユニット9
第11回 ユニット10
第12回 ユニット11
第13回 ユニット12
第14回 プリント教材
第15回 試験第2回

テキスト

関西大学英语教育研究会 編著、CNNビデオで見る世界のニュース(5)、朝日出版社
生協書籍部で受講者が購入すること

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

授業開講期間 前期

単位数 2

配当回生

担当教員 海竈 康臣

講義内容・テーマ

必要な情報を迅速かつ正確に読み取る力を養うとともに、聴く力の向上、語彙力および文法に関する知識の増強を目指します。テキストで扱われているトピックは次の通りです。Lesson 1-4: 演劇・映画と文化 Lesson 5-8: 自然・科学 Lesson 9-11: 飲み物の世界 Lesson 12-16: 世界の情報 Lesson 17-21: 社会の動き Lesson 22-24: 日本人と世界

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

受講上の注意に関しては、最初の授業で説明します。

評価方法・基準

* 日常点評価

2回の試験の成績で評価します。

講義スケジュール

- 第1回 オリエンテーション & Lesson 1
- 第2回 Lesson 2, 3
- 第3回 Lesson 4, 5
- 第4回 Lesson 6, 7
- 第5回 Lesson 8, 9
- 第6回 Lesson 10, 11
- 第7回 Lesson 12, 13
- 第8回 試験(1)
- 第9回 Lesson 14, 15
- 第10回 Lesson 16, 17
- 第11回 Lesson 18, 19
- 第12回 Lesson 20, 21
- 第13回 Lesson 22, 23
- 第14回 Lesson 24 & 復習
- 第15回 試験(2)

テキスト

清水義和他著 Exploring Cultural Issues 成美堂

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

授業開講期間 前期

単位数 2

配当回生

担当教員 佐々木 敏二

講義内容・テーマ

この講座を担当するのは初めてである。今年度のテキストは成美堂刊行の「民族から見たアメリカ社会」を使用する。テキストでは全部で20章からなるが、その中から10章程度を採用して使用する予定である。

予定では1、日系アメリカ人(もう一人のイチローとは誰か)、11、日系アメリカ人(戦争花嫁という存在)、3、中国系アメリカ人(チャンスをつかむ)、5、ネイティブアメリカンの知恵と「武器」、6、ドイツ系アメリカ人(不戦主義者としてのアメリカ人)、9、韓国系アメリカ人(マンハッタン商店主の苦悩)、などの中から10章程度を使う予定である。実際にどこを使うかは教室で諸君の希望を聞いて決めるつもりである。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

第2回の小テストは7月21日(水)に実施します。

評価方法・基準

* 日常点評価

第2回の小テストは7月21日(水)に実施します。

講義スケジュール

第2回の小テストは7月21日(水)に実施します。

テキスト

成美堂「民族から見たアメリカ社会」 Ethnic Minorities in the U.S.A.生協のテキスト販売店で購入のこと。

参考書

日系アメリカ人に関する本は図書館にたくさんあるので、ぜひ1冊は読んでほしい。感想文の提出も成績に評価するさ
s。

授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

授業開講期間 前期

単位数 2

配当回生

担当教員 山口 和夫

講義内容・テーマ

身近な話題を取り上げたテキストを用い、リスニングとリーディングを中心に英語の基礎力を養うことを目的とする。
既習の文法事項を確認しながら、文章の前後関係に留意しながらパラグラフ毎に文意を読み取って行く。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価
授業期間内の2回の試験によって評価する。

講義スケジュール

第1回 Unit 1
第2回 Unit 2
第3回 Unit 3
第4回 Unit 4
第5回 Unit 5
第6回 Unit 6
第7回 Unit 7
第8回 試験第1回
第9回 Unit 8
第10回 Unit 9
第11回 Unit 10
第12回 Unit 11
第13回 Unit 12
第14回 Review
第15回 試験第2回

テキスト

Science and Life Style 市川泰弘 編著 三修社

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

授業開講期間 後期

単位数 2

配当回生

担当教員 DAVID ALFRED SELL

講義内容・テーマ

This is a 4-skills course: you will have hear interviews and conversation material, extended into practices of speaking, reading and writing practice, and vocabulary exercises.

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

* 定期試験として実施

Two tests will be given for this course.

講義スケジュール

Tentative schedule, subject to adapting to the group:

1. Introduction
2. Interview: a young writer.
3. Interview: arranging an interview
4. Interview: a professional golfer
5. Interview: a librarian
6. Interview: a film director
7. Test
8. Interview: a basketball star
9. Interview: a letter
10. Interview: a homemaker
11. Interview: the foreign minister
12. A Seattle businessman
13. The latest model
14. An unexpected bonus
15. Test

テキスト

Easy Listening, Seido. Available at the University bookstore

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

授業開講期間 後期

単位数 2

配当回生

担当教員 田口 達也

講義内容・テーマ

時事英語学習の初心者に最適な新聞であるThe Japan Times Weeklyからの記事を抜粋したテキストを用いて、時事英語のための読解力養成と語彙増強に焦点を当てる。また、ニュース英語に慣れていくための聴解力養成も平行して行っていく。トピックは文化、スポーツ、芸術などから環境問題、経済と多岐にわたり、広い範囲の時事問題への理解を深めていく。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

授業内容の性質上、予習が必要となる。また様々な時事問題に対して興味を持ち探求していく姿勢が必要となる。

評価方法・基準

* 日常点評価

主として第8回目と最終講義日の2回の試験によって評価する。

講義スケジュール

第1回: オリエンテーション + Unit1

第2回: Unit1

第3回: Unit2

第4回: Unit3

第5回: Unit4

第6回: Unit5

第7回: Unit6

第8回: 第1回目試験

第9回: Unit7

第10回: Unit8

第11回: Unit9

第12回: Unit10

第13回: Unit11

第14回: Unit12

第15回: 第2回目試験

テキスト

Jackson, A. E. & Uchida, H., More News and Views from The Japan Times Weekly. (MACMILLAN LANGUAGE HOUSE)

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

授業開講期間 後期

単位数 2

配当回生

担当教員 海寶 康臣

講義内容・テーマ

比較的平易な英文を題材に、スキミングやスキニング等の基本的なリーディングスキルの習得、語彙力の増強、聴く力の向上を目指します。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

受講上の注意事項に関しては、最初の授業で説明します。

評価方法・基準

* 日常点評価
2回の試験の成績で評価します。

講義スケジュール

- 第1回 オリエンテーション & Unit 1
- 第2回 Unit 1, 2
- 第3回 Unit 2, 3
- 第4回 Unit 3, 4
- 第5回 Unit 4, 5
- 第6回 Unit 5, 6
- 第7回 Unit 6, 7
- 第8回 試験(1)
- 第9回 Unit 8, 9
- 第10回 Unit 10, 11
- 第11回 Unit 12, 13
- 第12回 Unit 14, 15
- 第13回 Unit 16, 17,
- 第14回 Unit 18, 19, 20
- 第15回 試験(2)

テキスト

Neil J. Anderson、川又正之著 Basic Skills for Reading 成美堂

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

授業開講期間 後期

単位数 2

配当回生

担当教員 海寶 康臣

講義内容・テーマ

英文を正確に読み取る力の養成、聴く力の向上、語彙力および文法に関する知識の増強を目指します。テキストの各章のタイトルは次の通りです。第1章:Phone Call 第2章:Classroomtalk 第3章:Leisure 第4章:Consulting a Doctor 第5章:Correspondence 第6章:Restaurant 第7章:Technology 第8章:Travelling 第9章:Japanese Culture and Language 第10章:Politics and Economy

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

受講上の注意事項に関しては、最初の授業で説明します。

評価方法・基準

* 日常点評価

2回の試験の成績で評価します。

講義スケジュール

第1回 オリエンテーション & Ch. 1

第2回 Ch. 1

第3回 Ch. 2

第4回 Ch. 2

第5回 Ch. 3

第6回 Ch. 3

第7回 Ch. 4

第8回 試験(1)

第9回 Ch. 5

第10回 Ch. 6

第11回 Ch. 7

第12回 Ch. 8

第13回 Ch. 9

第14回 Ch. 10

第15回 試験(2)

テキスト

石崎一樹他著 English for Your Future 2 マクミラン ランゲージハウス

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

授業開講期間 後期

単位数 2

配当回生

担当教員 酒井 玲子

講義内容・テーマ

英語の辞書を手にすると、こんなに莫大な量の英単語を知ることが到底できないと思うのが普通ではないでしょうか？ 英語の語の世界ははるかかなたに聳え立つ高い山のように思えるかもしれません。しかしそうではないのです。英語の語の世界は登れない山ではなく、隅々まで明かりを照らして見ることのできる世界なのです。英語の語について正しい知識をもつと、母国語話者と同じ感覚で英語の語が見えるようになり、英語が借り物でなく、自分のものとなります。このコースではいろいろな話やクイズをもって、楽しみながら英語の語について教えたいと思います。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

テキストは毎回配布しますので、できるだけレギュラーに出席することを勧めます。すべて一回で使い切りのテキストでそれがすめばクラスを終えますので、ただらした授業はしません。テキストをファイルすることを勧めます。

評価方法・基準

* 日常点評価

講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

ドイツ語・基礎 4A

15724

授業開講期間 後期集中単位数 2配当回生 1担当教員 長崎 孝講義内容・テーマ

この講義は、後期に開講される、同一担当者による週2回2単位の科目である。ドイツ語の基礎を教えながら、ドイツ文化に触れてもらうことをめざす。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

出席が重視されるうえ、予習・復習が重要であるので、十分留意されたい。

評価方法・基準

* 日常点評価
期末試験ならびに平常点

講義スケジュールテキスト

「ドイツ16州ものがたり」(朝日出版社)

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

ドイツ語・基礎 4B

15725

授業開講期間 後期集中単位数 2配当回生 1担当教員 大西 光弘講義内容・テーマ

この講義は、後期に開講される、同一担当者による週2回2単位の科目である。ドイツ語の基礎を教えながら、ドイツ文化に触れてもらうことをめざす。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

出席が重視されるうえ、予習・復習が重要であるので、十分留意されたい。

評価方法・基準

* 日常点評価
期末試験ならびに平常点

講義スケジュールテキスト

「ドイツ16州ものがたり」(朝日出版社)

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

ドイツ語・基礎 8A

15706

授業開講期間 後期集中単位数 2配当回生 1担当教員 長崎 孝講義内容・テーマ

この講義は、後期に開講される、同一担当者による週2回2単位の科目である。ドイツ語の基礎を教えながら、ドイツ文化に触れてもらうことをめざす。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

出席が重視されるうえ、予習・復習が重要であるので、十分留意されたい。

評価方法・基準

* 日常点評価
期末試験ならびに平常点

講義スケジュールテキスト

「ドイツ16州ものがたり」(朝日出版社)

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

ドイツ語・基礎 8B

15710

授業開講期間 後期集中単位数 2配当回生 1担当教員 大西 光弘講義内容・テーマ

この講義は、後期に開講される、同一担当者による週2回2単位の科目である。ドイツ語の基礎を教えながら、ドイツ文化に触れてもらうことをめざす。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

出席が重視されるうえ、予習・復習が重要であるので、十分留意されたい。

評価方法・基準

* 日常点評価
期末試験ならびに平常点

講義スケジュールテキスト

「ドイツ16州ものがたり」(朝日出版社)

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

ドイツ語・総合1 8A

14950

授業開講期間 後期単位数 1配当回生 1担当教員 長崎 孝講義内容・テーマ

この講義は、後期金曜日に開講される1単位の科目である。ビデオを使用しながら、ドイツ語の、読み・書き・聞き・話すという4技能の向上をめざす。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

出席が重視されるうえ、予習・復習が重要であるので、十分留意されたい。

評価方法・基準

* 日常点評価
期末試験ならびに平常点

講義スケジュールテキスト

「ALLES GUTE!」

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

ドイツ語・総合1 8B

14951

授業開講期間 後期単位数 1配当回生 1担当教員 長崎 孝講義内容・テーマ

この講義は、後期金曜日に開講される1単位の科目である。ビデオを使用しながら、ドイツ語の、読み・書き・聞き・話すという4技能の向上をめざす。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

出席が重視されるうえ、予習・復習が重要であるので、十分留意されたい。

評価方法・基準

* 日常点評価
期末試験ならびに平常点

講義スケジュールテキスト

「ALLES GUTE!」

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

ドイツ語・総合2 8A

12515

授業開講期間 前期単位数 1配当回生 2担当教員 長崎 孝講義内容・テーマ

この講義は、前期金曜日に開講される1単位の科目である。ドイツ語・総合1につづく授業となる。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

出席が重視されるうえ、予習・復習が重要であるので、十分留意されたい。

評価方法・基準

* 日常点評価
期末試験ならびに平常点

講義スケジュールテキスト

「ALLES GUTE!」

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

ドイツ語・総合2 8B

12516

授業開講期間 前期単位数 1配当回生 2担当教員 長崎 孝講義内容・テーマ

この講義は、前期金曜日に開講される1単位の科目である。ドイツ語・総合1につづく授業となる。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

出席が重視されるうえ、予習・復習が重要であるので、十分留意されたい。

評価方法・基準

* 日常点評価
期末試験ならびに平常点

講義スケジュールテキスト

「ALLES GUTE!」

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

授業開講期間 前期集中

単位数 2

配当回生 2

担当教員 長崎 孝

講義内容・テーマ

この講義は、前期月曜日第2時限目と水曜日第2時限目に開講される、同一担当者による週2回2単位の科目である。ドイツ語・基礎につづく、基本的な文章、語彙、文法知識などをさらに発展させることをめざす。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

出席が重視されるうえ、予習・復習が重要であるので、十分留意されたい。

評価方法・基準

* 日常点評価
期末試験ならびに平常点

講義スケジュールテキスト

「行ってらっしゃい！」(朝日出版社)の残りの部分ならびに「常木 新ドイツ文法(新訂版)」(郁文堂)

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

授業開講期間 前期集中

単位数 2

配当回生 2

担当教員 大西 光弘

講義内容・テーマ

この講義は、前期月曜日第2時限目と水曜日第2時限目に開講される、同一担当者による週2回2単位の科目である。ドイツ語・基礎につづく、基本的な文章、語彙、文法知識などをさらに発展させることをめざす。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

出席が重視されるうえ、予習・復習が重要であるので、十分留意されたい。

評価方法・基準

* 日常点評価
期末試験ならびに平常点

講義スケジュールテキスト

「行ってらっしゃい！」(朝日出版社)の残りの部分ならびに「常木 新ドイツ文法(新訂版)」(郁文堂)

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

ドイツ語・表現1 4A

14813

授業開講期間 後期

単位数 1

配当回生 1

担当教員 MANFRED ROER

講義内容・テーマ

ドイツ語の基礎を練習しながら、"話す、聞く、書く、読む"といった4技能を養成する。
ビデオで練習の用法とドイツの文化を分かりやすく説明する。ロールプレイングおよびペアワーク等により実用的な会話を身につける。また基本的な文法を紹介する。後期から開始。ドイツ人担当。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価
平常点(出席、授業参加への積極的態、小テスト)

講義スケジュールテキスト

「Szenen 1」(三修社)の前半部

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

ドイツ語・表現1 4B

14814

授業開講期間 後期単位数 1配当回生 1担当教員 DETLEF KOHN講義内容・テーマ

ドイツ語の基礎を練習しながら、"話す、聞く、書く、読む"といった4技能を養成する。
ビデオで練習の用法とドイツの文化を分かりやすく説明する。ロールプレイングおよびペアワーク等により実用的な会話力を身につける。また基本的な文法を紹介する。後期から開始。ドイツ人担当。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価
平常点(出席、授業参加への積極的態、小テスト)

講義スケジュールテキスト

「Szenen 1」(三修社)の前半部

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

ドイツ語・表現1 8A

14795

授業開講期間 後期単位数 1配当回生 1担当教員 DETLEF KOHN講義内容・テーマ

ドイツ語の基礎を練習しながら、"話す、聞く、書く、読む"といった4技能を養成する。
ビデオで練習の用法とドイツの文化を分かりやすく説明する。ロールプレイングおよびペアワーク等により実用的な会話を身につける。また基本的な文法を紹介する。後期から開始。ドイツ人担当。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価
平常点(出席、授業参加への積極的態、小テスト)

講義スケジュールテキスト

「Szenen 1」(三修社)の前半部

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

ドイツ語・表現1 8B

14796

授業開講期間 後期

単位数 1

配当回生 1

担当教員 MANFRED ROER

講義内容・テーマ

ドイツ語の基礎を練習しながら、"話す、聞く、書く、読む"といった4技能を養成する。
ビデオで練習の用法とドイツの文化を分かりやすく説明する。ロールプレイングおよびペアワーク等により実用的な会話を身につける。また基本的な文法を紹介する。後期から開始。ドイツ人担当。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価
平常点(出席、授業参加への積極的態、小テスト)

講義スケジュールテキスト

「Szenen 1」(三修社)の前半部

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

ドイツ語・表現2 4A

12444

授業開講期間 前期

単位数 1

配当回生 2

担当教員 MANFRED ROER

講義内容・テーマ

ドイツ語の基礎を練習しながら、"話す、聞く、書く、読む"といった4技能を養成する。
ビデオで練習の用法とドイツの文化を分かりやすく説明する。ロールプレイングおよびペアワーク等により実用的な会話力を身につける。また基本的な文法を紹介する。前期に開講。ドイツ人担当。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価
平常点(出席、授業参加への積極的態、小テスト)

講義スケジュールテキスト

「Szenen 1」(三修社)の後半部

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

ドイツ語・表現2 4B

12445

授業開講期間 前期

単位数 1

配当回生 2

担当教員 DETLEF KOHN

講義内容・テーマ

ドイツ語の基礎を練習しながら、"話す、聞く、書く、読む"といった4技能を養成する。
ビデオで練習の用法とドイツの文化を分かりやすく説明する。ロールプレイングおよびペアワーク等により実用的な会話力を身につける。また基本的な文法を紹介する。前期に開講。ドイツ人担当。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価
平常点(出席、授業参加への積極的態、小テスト)

講義スケジュールテキスト

「Szenen 1」(三修社)の後半部

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

ドイツ語・表現2 8A
ドイツ語 A1

12427

授業開講期間 前期

単位数 1

配当回生 2

担当教員 BEATE MUELLER

講義内容・テーマ

ドイツ語の基礎を練習しながら、"話す、聞く、書く、読む"といった4技能を養成する。
ビデオで練習の用法とドイツの文化を分かりやすく説明する。ロールプレイングおよびペアワーク等により実用的な会話を身につける。また基本的な文法を紹介する。前期に開講。ドイツ人担当。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

* 日常点評価
平常点(出席、授業参加への積極的態、小テスト)

講義スケジュール

テキスト

「Szenen 1」(三修社)の後半部

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

ドイツ語・表現2 8B

12434

授業開講期間 前期

単位数 1

配当回生 2

担当教員 DETLEF KOHN

講義内容・テーマ

ドイツ語の基礎を練習しながら、"話す、聞く、書く、読む"といった4技能を養成する。
ビデオで練習の用法とドイツの文化を分かりやすく説明する。ロールプレイングおよびペアワーク等により実用的な会話力を身につける。また基本的な文法を紹介する。前期に開講。ドイツ人担当。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価
平常点(出席、授業参加への積極的態、小テスト)

講義スケジュールテキスト

「Szenen 1」(三修社)の後半部

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

フランス語・基礎 4A

15726

授業開講期間 後期集中単位数 2配当回生 1担当教員 久津内 一雄講義内容・テーマ

フランス語初級文法と習得単語数1000語の初級フランス語の語学力を育成する。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準* 定期試験として実施
定期試験講義スケジュールテキスト

エメ・ヴー・ラ・フランス、コーセイ・オグラ他、第三書房、生協書籍部で販売

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

フランス語・基礎 4B

15734

授業開講期間 後期集中単位数 2配当回生 1担当教員 宇野木 めぐみ講義内容・テーマ

フランス語初級文法と習得単語数1000語の初級フランス語の語学力を育成する。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 定期試験として実施

定期試験

講義スケジュールテキスト

エメ・ヴー・ラ・フランス、コーセイ・オグラ他、第三書房、生協書籍部で販売

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

フランス語・基礎 8A

15711

授業開講期間 後期集中単位数 2配当回生 1担当教員 久津内 一雄講義内容・テーマ

フランス語初級文法と習得単語数1000語の初級フランス語の語学力を育成する。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準* 定期試験として実施
定期試験講義スケジュールテキスト

エメ・ヴー・ラ・フランス、コーセイ・オグラ他、第三書房、生協書籍部で販売

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

フランス語・基礎 8B

15712

授業開講期間 後期集中単位数 2配当回生 1担当教員 宇野木 めぐみ講義内容・テーマ

フランス語初級文法と習得単語数1000語の初級フランス語の語学力を育成する。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準* 定期試験として実施
定期試験講義スケジュールテキスト

エメ・ヴー・ラ・フランス、コーセイ・オグラ他、第三書房、生協書籍部で販売

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

フランス語・総合1 8A

14952

授業開講期間 後期単位数 1配当回生 1担当教員 久津内 一雄講義内容・テーマ

フランス語初級文法と習得単語数1000語のフランス語初級の語学力を育成する。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準* 定期試験として実施
定期試験講義スケジュールテキスト

ミニ・デュ・conseil、シルヴィ・フジワラ他、朝日出版、生協書籍部で販売。

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

フランス語・総合1 8B

14968

授業開講期間 後期単位数 1配当回生 1担当教員 久津内 一雄講義内容・テーマ

フランス語初級文法と習得単語数1000語のフランス語初級の語学力を育成する。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準* 定期試験として実施
定期試験講義スケジュールテキスト

ミニ・デュ・conseil、シルヴィ・フジワラ他、朝日出版、生協書籍部で販売。

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

フランス語・総合2 8A

12503

授業開講期間 前期単位数 1配当回生 2担当教員 久津内 一雄講義内容・テーマ

フランス語初級文法の完成と習得単語数2000語のフランス語中級の語学力を育成する。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準* 定期試験として実施
定期試験講義スケジュールテキスト

フランス語総合1で使用したミニ・デュ・conseilを使用する。

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

フランス語・総合2 8B

12521

授業開講期間 前期単位数 1配当回生 2担当教員 久津内 一雄講義内容・テーマ

フランス語初級文法の完成と習得単語数2000語のフランス語中級の語学力を育成する。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準* 定期試験として実施
定期試験講義スケジュールテキスト

フランス語総合1で使用したミニ・デュ・conseilを使用する。

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

フランス語・展開 8A

13300

授業開講期間 前期集中単位数 2配当回生 2担当教員 久津内 一雄講義内容・テーマ

フランス語中級文法と習得単語数2000語のフランス語中級の語学力を育成する。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 定期試験として実施

定期試験

講義スケジュールテキスト

ミニ・ボンジュール・パリ、マサヒコ・ナカヤマ他、白水社、生協書籍部で販売

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

フランス語・展開 8B

13323

授業開講期間 前期集中単位数 2配当回生 2担当教員 久津内 一雄講義内容・テーマ

フランス語中級文法と習得単語数2000語のフランス語中級の語学力を育成する。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 定期試験として実施

定期試験

講義スケジュールテキスト

ミニ・ボンジュール・パリ、マサヒコ・ナカヤマ他、白水社、生協書籍部で販売

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

授業開講期間 後期

単位数 1

配当回生 1

担当教員 FRANCK DELBARRE

講義内容・テーマ

基本的な語彙を定着させる。

フランスに旅行したり又は長期滞在した場合に、フランスの日常生活で起こりうる様々な問題に対処できるようにする。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 定期試験として実施

* 日常点評価

平常点(授業中に行われる様々な練習の理解度、参加度などから総合的に判断する。): 50%

定期試験は最終講義で行なわれます: 50%

講義スケジュール

1 - 2週間目: 紹介(国籍・職業・形容詞の女性形)

3 - 4週間目: 動詞の現在形(je, tu, il, vous)

5 - 6週間目: 趣味の表し方

7 - 8週間目: 時間の表し方・簡単なメッセージの書き方

9 - 10週間目: 質問の表し方・人の描写(人の性格と姿をあらわす形容詞)

11 - 12週間目: アパートか家の描写をする・物を位置づける(前置詞・指示形容詞)

13 - 14週間目: 料理のレシピを読む・書く(部分冠詞・命令形)

15週間目: 定期試験

テキスト参考書

Nouveau sans Frontiere 1 / Philippe Dominique, Jacky Girardet, Michel Verdelhan / CLE international

ISBN: 2090334495

授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

授業開講期間 後期

単位数 1

配当回生 1

担当教員 MARIE-CLAIRE LAVELLE

講義内容・テーマ

基本的な語彙を定着させる。

フランスに旅行したり又は長期滞在した場合に、フランスの日常生活で起こりうる様々な問題に対処できるようにする。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 定期試験として実施

* 日常点評価

平常点(授業中に行われる様々な練習の理解度、参加度などから総合的に判断する。) : 50%

定期試験は最終講義で行なわれます : 50%

講義スケジュール

1 - 2週間目: 紹介(国籍・職業・形容詞の女性形)

3 - 4週間目: 動詞の現在形(je, tu, il, vous)

5 - 6週間目: 趣味の表し方

7 - 8週間目: 時間の表し方・簡単なメッセージの書き方

9 - 10週間目: 質問の表し方・人の描写(人の性格と姿をあらわす形容詞)

11 - 12週間目: アパートか家の描写をする・物を位置づける(前置詞・指示形容詞)

13 - 14週間目: 料理のレシピを読む・書く(部分冠詞・命令形)

15週間目: 定期試験

テキスト参考書

Nouveau sans Frontiere 1 / Philippe Dominique, Jacky Girardet, Michel Verdelhan / CLE international

ISBN: 2090334495

授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

授業開講期間 後期

単位数 1

配当回生 1

担当教員 FRANCK DELBARRE

講義内容・テーマ

基本的な語彙を定着させる。

フランスに旅行したり又は長期滞在した場合に、フランスの日常生活で起こりうる様々な問題に対処できるようにする。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 定期試験として実施

* 日常点評価

平常点(授業中に行われる様々な練習の理解度、参加度などから総合的に判断する。): 50%

定期試験は最終講義で行なわれます: 50%

講義スケジュール

1 - 2週間目: 紹介(国籍・職業・形容詞の女性形)

3 - 4週間目: 動詞の現在形(je, tu, il, vous)

5 - 6週間目: 趣味の表し方

7 - 8週間目: 時間の表し方・簡単なメッセージの書き方

9 - 10週間目: 質問の表し方・人の描写(人の性格と姿をあらわす形容詞)

11 - 12週間目: アパートか家の描写をする・物を位置づける(前置詞・指示形容詞)

13 - 14週間目: 料理のレシピを読む・書く(部分冠詞・命令形)

15週間目: 定期試験

テキスト参考書

Nouveau sans Frontiere 1 / Philippe Dominique, Jacky Girardet, Michel Verdelhan / CLE international

ISBN: 2090334495

授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

授業開講期間 後期 単位数 1 配当回生 1
担当教員 MARIE-CLAIRE LAVELLE

講義内容・テーマ

基本的な語彙を定着させる。
フランスに旅行したり又は長期滞在した場合に、フランスの日常生活で起こりうる様々な問題に対処できるようにする。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

* 定期試験として実施
* 日常点評価
平常点(授業中に行われる様々な練習の理解度、参加度などから総合的に判断する。) : 50%
定期試験は最終講義で行なわれます : 50%

講義スケジュール

1 - 2週間目: 紹介(国籍・職業・形容詞の女性形)
3 - 4週間目: 動詞の現在形(je, tu, il, vous)
5 - 6週間目: 趣味の表し方
7 - 8週間目: 時間の表し方・簡単なメッセージの書き方
9 - 10週間目: 質問の表し方・人の描写(人の性格と姿をあらわす形容詞)
11 - 12週間目: アパートか家の描写をする・物を位置づける(前置詞・指示形容詞)
13 - 14週間目: 料理のレシピを読む・書く(部分冠詞・命令形)
15週間目: 定期試験

テキスト

参考書

Nouveau sans Frontiere 1 / Philippe Dominique, Jacky Girardet, Michel Verdelhan / CLE international
ISBN: 2090334495

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

授業開講期間 前期

単位数 1

配当回生 2

担当教員 FRANCK DELBARRE

講義内容・テーマ

基本的な語彙を定着させる。

フランスに旅行したり又は長期滞在した場合に、フランスの日常生活で起こりうる様々な問題に対処できるようにする。

対立しあう意見を生んでいる諸々の討論の分析を通じて、フランス社会について考察する。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 定期試験として実施

* 日常点評価

平常点(授業中に行われる様々な練習の理解度、参加度などから総合的に判断する。) : 50%

定期試験は最終講義で行なわれます : 50%

講義スケジュール

1 - 2週間目: 紹介(国籍・職業・女性形)

3 - 4週間目: 動詞の現在形(je, tu, il, vous)

5 - 6週間目: 趣味の表し方

7 - 8週間目: 時間の表し方・メッセージの書き方

9 - 10週間目: 質問の表し方・人の描写(人の性格と姿をあらわす形容詞)

11 - 12週間目: アパートか家の描写をする・物を位置づける(前置詞・指示形容詞)

13 - 14週間目: 料理のレシピを読む・書く(部分冠詞・命令形)

15週間目: 定期試験

テキスト参考書

Nouveau sans Frontiere 1 / Philippe Girardet, Jacky Girardet, Michel Verdelhan / CLE international

ISBN: 2090334495

授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

授業開講期間 前期

単位数 1

配当回生 2

担当教員 MARIE-CLAIRE LAVELLE

講義内容・テーマ

基本的な語彙を定着させる。

フランスに旅行したり又は長期滞在した場合に、フランスの日常生活で起こりうる様々な問題に対処できるようにする。

対立しあう意見を生んでいる諸々の討論の分析を通じて、フランス社会について考察する。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 定期試験として実施

* 日常点評価

平常点(授業中に行われる様々な練習の理解度、参加度などから総合的に判断する。) : 50%

定期試験は最終講義で行なわれます : 50%

講義スケジュール

1 - 2週間目: 紹介(国籍・職業・女性形)

3 - 4週間目: 動詞の現在形(je, tu, il, vous)

5 - 6週間目: 趣味の表し方

7 - 8週間目: 時間の表し方・メッセージの書き方

9 - 10週間目: 質問の表し方・人の描写(人の性格と姿をあらわす形容詞)

11 - 12週間目: アパートか家の描写をする・物を位置づける(前置詞・指示形容詞)

13 - 14週間目: 料理のレシピを読む・書く(部分冠詞・命令形)

15週間目: 定期試験

テキスト参考書

Nouveau sans Frontiere 1 / Philippe Girardet, Jacky Girardet, Michel Verdelhan / CLE international

ISBN: 2090334495

授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

授業開講期間 前期

単位数 1

配当回生 2

担当教員 FRANCK DELBARRE

講義内容・テーマ

基本的な語彙を定着させる。

フランスに旅行したり又は長期滞在した場合に、フランスの日常生活で起こりうる様々な問題に対処できるようにする。

対立しあう意見を生んでいる諸々の討論の分析を通じて、フランス社会について考察する。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 定期試験として実施

* 日常点評価

平常点(授業中に行われる様々な練習の理解度、参加度などから総合的に判断する。) : 50%

定期試験は最終講義で行なわれます : 50%

講義スケジュール

1 - 2週間目: 紹介(国籍・職業・女性形)

3 - 4週間目: 動詞の現在形(je, tu, il, vous)

5 - 6週間目: 趣味の表し方

7 - 8週間目: 時間の表し方・メッセージの書き方

9 - 10週間目: 質問の表し方・人の描写(人の性格と姿をあらわす形容詞)

11 - 12週間目: アパートか家の描写をする・物を位置づける(前置詞・指示形容詞)

13 - 14週間目: 料理のレシピを読む・書く(部分冠詞・命令形)

15週間目: 定期試験

テキスト参考書

Nouveau sans Frontiere 1 / Philippe Girardet, Jacky Girardet, Michel Verdelhan / CLE international

ISBN: 2090334495

授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

授業開講期間 前期

単位数 1

配当回生 2

担当教員 MARIE-CLAIRE LAVELLE

講義内容・テーマ

基本的な語彙を定着させる。

フランスに旅行したり又は長期滞在した場合に、フランスの日常生活で起こりうる様々な問題に対処できるようにする。

対立しあう意見を生んでいる諸々の討論の分析を通じて、フランス社会について考察する。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 定期試験として実施

* 日常点評価

平常点(授業中に行われる様々な練習の理解度、参加度などから総合的に判断する。) : 50%

定期試験は最終講義で行なわれます : 50%

講義スケジュール

1 - 2週間目: 紹介(国籍・職業・女性形)

3 - 4週間目: 動詞の現在形(je, tu, il, vous)

5 - 6週間目: 趣味の表し方

7 - 8週間目: 時間の表し方・メッセージの書き方

9 - 10週間目: 質問の表し方・人の描写(人の性格と姿をあらわす形容詞)

11 - 12週間目: アパートか家の描写をする・物を位置づける(前置詞・指示形容詞)

13 - 14週間目: 料理のレシピを読む・書く(部分冠詞・命令形)

15週間目: 定期試験

テキスト参考書

Nouveau sans Frontiere 1 / Philippe Girardet, Jacky Girardet, Michel Verdelhan / CLE international

iSN: 2090334495

授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

授業開講期間 後期集中

単位数 2

配当回生 1

担当教員 石黒 やすえ

講義内容・テーマ

この授業は、一回生の初修重視コース(8単位コース)及び英語重視コース(4単位コース)クラスの、発音や基礎文法などを学習する授業で、週2回行う。正しい中国語の発音や声調、基本語彙、基本文形、基礎文法などを習得することを目標とする。授業は発音からスタートし、特に中国語の特徴と言われている巻き舌音や四声、存在文や補語構文などの基本項目に重点を置きながら授業展開を行っていく。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

週4回又は週3回連携授業の内の2回分に当たる。主として文法事項を学習する。

評価方法・基準

- * 定期試験として実施
 - * 日常点評価
- 平常点と統一筆記試験を総合して判断する。

講義スケジュールテキスト

(コミュニケーション中国語)立命館大学中国語部会編

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

授業開講期間 後期集中

単位数 2

配当回生 1

担当教員 塚田 亮太

講義内容・テーマ

この授業は、一回生の初修重視コース(8単位コース)及び英語重視コース(4単位コース)クラスの、発音や基礎文法などを学習する授業で、週2回行う。正しい中国語の発音や声調、基本語彙、基本文形、基礎文法などを習得することを目標とする。授業は発音からスタートし、特に中国語の特徴と言われている巻き舌音や四声、存在文や補語構文などの基本項目に重点を置きながら授業展開を行っていく。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

週4回又は週3回連携授業の内の2回分に当たる。主として文法事項を学習する。

評価方法・基準

- * 定期試験として実施
 - * 日常点評価
- 平常点と統一筆記試験を総合して判断する。

講義スケジュールテキスト

(コミュニケーション中国語)立命館大学中国語部会編

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

授業開講期間 後期集中

単位数 2

配当回生 1

担当教員 今場 正美

講義内容・テーマ

この授業は、一回生の初修重視コース(8単位コース)及び英語重視コース(4単位コース)クラスの、発音や基礎文法などを学習する授業で、週2回行う。正しい中国語の発音や声調、基本語彙、基本文形、基礎文法などを習得することを目標とする。授業は発音からスタートし、特に中国語の特徴と言われている巻き舌音や四声、存在文や補語構文などの基本項目に重点を置きながら授業展開を行っていく。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

週4回又は週3回連携授業の内の2回分に当たる。主として文法事項を学習する。

評価方法・基準

- * 定期試験として実施
 - * 日常点評価
- 平常点と統一筆記試験を総合して判断する。

講義スケジュールテキスト

(コミュニケーション中国語)立命館大学中国語部会編

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

授業開講期間 後期集中

単位数 2

配当回生 1

担当教員 文 楚雄

講義内容・テーマ

この授業は、一回生の初修重視コース(8単位コース)及び英語重視コース(4単位コース)クラスの、発音や基礎文法などを学習する授業で、週2回行う。正しい中国語の発音や声調、基本語彙、基本文形、基礎文法などを習得することを目標とする。授業は発音からスタートし、特に中国語の特徴と言われている巻き舌音や四声、存在文や補語構文などの基本項目に重点を置きながら授業展開を行っていく。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

週4回又は週3回連携授業の内の2回分に当たる。主として文法事項を学習する。

評価方法・基準

- * 定期試験として実施
 - * 日常点評価
- 平常点と統一筆記試験を総合して判断する。

講義スケジュールテキスト

(コミュニケーション中国語)立命館大学中国語部会編

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

中国語・基礎 4E

15747

授業開講期間 後期集中 単位数 2 配当回生 1
担当教員 永井 英美、松尾 洋二

講義内容・テーマ

この授業は、一回生の初修重視コース(8単位コース)及び英語重視コース(4単位コース)クラスの、発音や基礎文法などを学習する授業で、週2回行う。正しい中国語の発音や声調、基本語彙、基本文形、基礎文法などを習得することを目標とする。授業は発音からスタートし、特に中国語の特徴と言われている巻き舌音や四声、存在文や補語構文などの基本項目に重点を置きながら授業展開を行っていく。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

週4回又は週3回連携授業の内の2回分に当たる。主として文法事項を学習する。

評価方法・基準

- * 定期試験として実施
 - * 日常点評価
- 平常点と統一筆記試験を総合して判断する。

講義スケジュール

テキスト

(コミュニケーション中国語)立命館大学中国語部会編

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

中国語・基礎 8A

15717

授業開講期間 後期集中

単位数 2

配当回生 1

担当教員 石黒 やすえ

講義内容・テーマ

この授業は、一回生の初修重視コース(8単位コース)及び英語重視コース(4単位コース)クラスの、発音や基礎文法などを学習する授業で、週2回行う。正しい中国語の発音や声調、基本語彙、基本文形、基礎文法などを習得することを目標とする。授業は発音からスタートし、特に中国語の特徴と言われている巻き舌音や四声、存在文や補語構文などの基本項目に重点を置きながら授業展開を行っていく。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

週4回又は週3回連携授業の内の2回分に当たる。主として文法事項を学習する。

評価方法・基準

- * 定期試験として実施
 - * 日常点評価
- 平常点と統一筆記試験を総合して判断する。

講義スケジュールテキスト

(コミュニケーション中国語)立命館大学中国語部会編

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

中国語・基礎 8B

15713

授業開講期間 後期集中

単位数 2

配当回生 1

担当教員 大嶋 伸尚

講義内容・テーマ

この授業は、一回生の初修重視コース(8単位コース)及び英語重視コース(4単位コース)クラスの、発音や基礎文法などを学習する授業で、週2回行う。正しい中国語の発音や声調、基本語彙、基本文形、基礎文法などを習得することを目標とする。授業は発音からスタートし、特に中国語の特徴と言われている巻き舌音や四声、存在文や補語構文などの基本項目に重点を置きながら授業展開を行っていく。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

週4回又は週3回連携授業の内の2回分に当たる。主として文法事項を学習する。

評価方法・基準

- * 定期試験として実施
 - * 日常点評価
- 平常点と統一筆記試験を総合して判断する。

講義スケジュールテキスト

(コミュニケーション中国語)立命館大学中国語部会編

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

授業開講期間 後期集中

単位数 2

配当回生 1

担当教員 今場 正美

講義内容・テーマ

この授業は、一回生の初修重視コース(8単位コース)及び英語重視コース(4単位コース)クラスの、発音や基礎文法などを学習する授業で、週2回行う。正しい中国語の発音や声調、基本語彙、基本文形、基礎文法などを習得することを目標とする。授業は発音からスタートし、特に中国語の特徴と言われている巻き舌音や四声、存在文や補語構文などの基本項目に重点を置きながら授業展開を行っていく。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

週4回又は週3回連携授業の内の2回分に当たる。主として文法事項を学習する。

評価方法・基準

- * 定期試験として実施
 - * 日常点評価
- 平常点と統一筆記試験を総合して判断する。

講義スケジュールテキスト

(コミュニケーション中国語)立命館大学中国語部会編

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

授業開講期間 後期集中

単位数 2

配当回生 1

担当教員 松尾 洋二

講義内容・テーマ

この授業は、一回生の初修重視コース(8単位コース)及び英語重視コース(4単位コース)クラスの、発音や基礎文法などを学習する授業で、週2回行う。正しい中国語の発音や声調、基本語彙、基本文形、基礎文法などを習得することを目標とする。授業は発音からスタートし、特に中国語の特徴と言われている巻き舌音や四声、存在文や補語構文などの基本項目に重点を置きながら授業展開を行っていく。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

週4回又は週3回連携授業の内の2回分に当たる。主として文法事項を学習する。

評価方法・基準

- * 定期試験として実施
 - * 日常点評価
- 平常点と統一筆記試験を総合して判断する。

講義スケジュールテキスト

(コミュニケーション中国語)立命館大学中国語部会編

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

中国語・基礎 8E

15716

授業開講期間 後期集中単位数 2配当回生 1担当教員 塚田 亮太講義内容・テーマ

この授業は、一回生の初修重視コース(8単位コース)及び英語重視コース(4単位コース)クラスの、発音や基礎文法などを学習する授業で、週2回行う。正しい中国語の発音や声調、基本語彙、基本文形、基礎文法などを習得することを目標とする。授業は発音からスタートし、特に中国語の特徴と言われている巻き舌音や四声、存在文や補語構文などの基本項目に重点を置きながら授業展開を行っていく。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

週4回又は週3回連携授業の内の2回分に当たる。主として文法事項を学習する。

評価方法・基準

- * 定期試験として実施
 - * 日常点評価
- 平常点と統一筆記試験を総合して判断する。

講義スケジュールテキスト

(コミュニケーション中国語)立命館大学中国語部会編

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

中国語・総合1 8A

14947

授業開講期間 後期

単位数 1

配当回生 1

担当教員 山崎 俊鋭

講義内容・テーマ

この授業は、一回生の初修重視コース(8単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・基礎」や「中国語・表現1」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、日常会話やコミュニケーションに必要な基本会話やリスニングに重点を置きながら、総合的な運用能力を高めていく。週1回行う。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

週4回連携授業の内の1回分に当たる。主として日常会話やリスニングの練習を行う。

評価方法・基準

* 日常点評価

平常点と最終講義日リスニング試験を総合して判断する。

講義スケジュールテキスト

(中国語10課) 白水社

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

中国語・総合1 8B

14948

授業開講期間 後期

単位数 1

配当回生 1

担当教員 浦元 里花

講義内容・テーマ

この授業は、一回生の初修重視コース(8単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・基礎」や「中国語・表現1」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、日常会話やコミュニケーションに必要な基本会話やリスニングに重点を置きながら、総合的な運用能力を高めていく。週1回行う。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

週4回連携授業の内の1回分に当たる。主として日常会話やリスニングの練習を行う。

評価方法・基準

* 日常点評価

平常点と最終講義日リスニング試験を総合して判断する。

講義スケジュールテキスト

(中国語10課) 白水社

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

中国語・総合1 8C

14953

授業開講期間 後期

単位数 1

配当回生 1

担当教員 鷲尾 祐子

講義内容・テーマ

この授業は、一回生の初修重視コース(8単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・基礎」や「中国語・表現1」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、日常会話やコミュニケーションに必要な基本会話やリスニングに重点を置きながら、総合的な運用能力を高めていく。週1回行う。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

週4回連携授業の内の1回分に当たる。主として日常会話やリスニングの練習を行う。

評価方法・基準

* 日常点評価

平常点と最終講義日リスニング試験を総合して判断する。

講義スケジュールテキスト

(中国語10課) 白水社

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

中国語・総合1 8D

14949

授業開講期間 後期

単位数 1

配当回生 1

担当教員 尾崎 和子

講義内容・テーマ

この授業は、一回生の初修重視コース(8単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・基礎」や「中国語・表現1」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、日常会話やコミュニケーションに必要な基本会話やリスニングに重点を置きながら、総合的な運用能力を高めていく。週1回行う。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

週4回連携授業の内の1回分に当たる。主として日常会話やリスニングの練習を行う。

評価方法・基準

* 日常点評価

平常点と最終講義日リスニング試験を総合して判断する。

講義スケジュールテキスト

(中国語10課) 白水社

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

中国語・総合1 8E

14954

授業開講期間 後期

単位数 1

配当回生 1

担当教員 嶋田 恭子

講義内容・テーマ

この授業は、一回生の初修重視コース(8単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・基礎」や「中国語・表現1」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、日常会話やコミュニケーションに必要な基本会話やリスニングに重点を置きながら、総合的な運用能力を高めていく。週1回行う。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

週4回連携授業の内の1回分に当たる。主として日常会話やリスニングの練習を行う。

評価方法・基準

* 日常点評価

平常点と最終講義日リスニング試験を総合して判断する。

講義スケジュールテキスト

(中国語10課) 白水社

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

中国語・総合2 8A

12517

授業開講期間 前期

単位数 1

配当回生 2

担当教員 山崎 俊鋭

講義内容・テーマ

この授業は、初修重視コース(8単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・基礎」、「中国語・表現1」、「中国語・総合1」を終了した2回生の学生を対象とする。「中国語・展開」などの授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、日常会話やコミュニケーションに必要な会話やリスニングに重点を置きながら、総合的な運用能力を高めていく。週1回行う。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

週4回連携授業の内の1回分に当たる。主として日常会話やリスニングの練習を行う。

評価方法・基準

* 日常点評価

平常点と最終講義日リスニング試験を総合して判断する。

講義スケジュールテキスト

(話す中国語 北京編1)朝日出版社

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

中国語・総合2 8B

12518

授業開講期間 前期

単位数 1

配当回生 2

担当教員 浦元 里花

講義内容・テーマ

この授業は、初修重視コース(8単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・基礎」、「中国語・表現1」、「中国語・総合1」を終了した2回生の学生を対象とする。「中国語・展開」などの授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、日常会話やコミュニケーションに必要な会話やリスニングに重点を置きながら、総合的な運用能力を高めていく。週1回行う。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

週4回連携授業の内の1回分に当たる。主として日常会話やリスニングの練習を行う。

評価方法・基準

* 日常点評価

平常点と最終講義日リスニング試験を総合して判断する。

講義スケジュールテキスト

(話す中国語 北京編1)朝日出版社

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

中国語・総合2 8C

12519

授業開講期間 前期

単位数 1

配当回生 2

担当教員 鷲尾 祐子

講義内容・テーマ

この授業は、初修重視コース(8単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・基礎」、「中国語・表現1」、「中国語・総合1」を終了した2回生の学生を対象とする。「中国語・展開」などの授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、日常会話やコミュニケーションに必要な会話やリスニングに重点を置きながら、総合的な運用能力を高めていく。週1回行う。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

週4回連携授業の内の1回分に当たる。主として日常会話やリスニングの練習を行う。

評価方法・基準

* 日常点評価

平常点と最終講義日リスニング試験を総合して判断する。

講義スケジュールテキスト

(話す中国語 北京編1)朝日出版社

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

中国語・総合2 8D

12520

授業開講期間 前期

単位数 1

配当回生 2

担当教員 竹中島 厚子

講義内容・テーマ

この授業は、初修重視コース(8単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・基礎」、「中国語・表現1」、「中国語・総合1」を終了した2回生の学生を対象とする。「中国語・展開」などの授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、日常会話やコミュニケーションに必要な会話やリスニングに重点を置きながら、総合的な運用能力を高めていく。週1回行う。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

週4回連携授業の内の1回分に当たる。主として日常会話やリスニングの練習を行う。

評価方法・基準

* 日常点評価

平常点と最終講義日リスニング試験を総合して判断する。

講義スケジュールテキスト

(話す中国語 北京編1)朝日出版社

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

中国語・総合2 8D

12520

授業開講期間 前期単位数 1配当回生 2担当教員 竹中島 厚子講義内容・テーマ

この授業は、初修重視コース(8単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・基礎」、「中国語・表現1」、「中国語・総合1」を終了した2回生の学生を対象とする。「中国語・展開」などの授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、日常会話やコミュニケーションに必要な会話やリスニングに重点を置きながら、総合的な運用能力を高めていく。週1回行う。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

週4回連携授業の内の1回分に当たる。主として日常会話やリスニングの練習を行う。

評価方法・基準

* 日常点評価

平常点と最終講義日リスニング試験を総合して判断する。

講義スケジュールテキスト

(話す中国語 北京編1)朝日出版社

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

中国語・総合2 8E

12522

授業開講期間 前期

単位数 1

配当回生 2

担当教員 嶋田 恭子

講義内容・テーマ

この授業は、初修重視コース(8単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・基礎」、「中国語・表現1」、「中国語・総合1」を終了した2回生の学生を対象とする。「中国語・展開」などの授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、日常会話やコミュニケーションに必要な会話やリスニングに重点を置きながら、総合的な運用能力を高めていく。週1回行う。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

週4回連携授業の内の1回分に当たる。主として日常会話やリスニングの練習を行う。

評価方法・基準

* 日常点評価

平常点と最終講義日リスニング試験を総合して判断する。

講義スケジュールテキスト

(話す中国語 北京編1)朝日出版社

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

中国語・展開 8A

13294

授業開講期間 前期集中

単位数 2

配当回生 2

担当教員 石黒 やすえ

講義内容・テーマ

この授業は、初修重視コース(8単位コース)の「中国語・基礎」を終了した2回生の学生を対象とし、「中国語・基礎」などの授業で習得した知識を生かしながら、発音や声調を更に上達させ、語彙を増やし、文法事項や文型などの学習を深めていく。週2回行う。中国語検定試験で言えば、4級程度のレベルを目指すことを目標とする。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

週4回連携授業の内の2回分に当たる。主として文法事項を学習する。

評価方法・基準

- * 定期試験として実施
 - * 日常点評価
- 平常点と統一筆記試験を総合して判断する。

講義スケジュールテキスト

(コミュニケーション中国語)立命館大学中国語部会編

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

中国語・展開 8B

13295

授業開講期間 前期集中

単位数 2

配当回生 2

担当教員 大嶋 伸尚

講義内容・テーマ

この授業は、初修重視コース(8単位コース)の「中国語・基礎」を終了した2回生の学生を対象とし、「中国語・基礎」などの授業で習得した知識を生かしながら、発音や声調を更に上達させ、語彙を増やし、文法事項や文型などの学習を深めていく。週2回行う。中国語検定試験で言えば、4級程度のレベルを目指すことを目標とする。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

週4回連携授業の内の2回分に当たる。主として文法事項を学習する。

評価方法・基準

- * 定期試験として実施
 - * 日常点評価
- 平常点と統一筆記試験を総合して判断する。

講義スケジュールテキスト

(コミュニケーション中国語)立命館大学中国語部会編

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

中国語・展開 8C

13296

授業開講期間 前期集中

単位数 2

配当回生 2

担当教員 今場 正美

講義内容・テーマ

この授業は、初修重視コース(8単位コース)の「中国語・基礎」を終了した2回生の学生を対象とし、「中国語・基礎」などの授業で習得した知識を生かしながら、発音や声調を更に上達させ、語彙を増やし、文法事項や文型などの学習を深めていく。週2回行う。中国語検定試験で言えば、4級程度のレベルを目指すことを目標とする。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

週4回連携授業の内の2回分に当たる。主として文法事項を学習する。

評価方法・基準

- * 定期試験として実施
 - * 日常点評価
- 平常点と統一筆記試験を総合して判断する。

講義スケジュールテキスト

(コミュニケーション中国語)立命館大学中国語部会編

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

中国語・展開 8D

13297

授業開講期間 前期集中

単位数 2

配当回生 2

担当教員 松尾 洋二

講義内容・テーマ

この授業は、初修重視コース(8単位コース)の「中国語・基礎」を終了した2回生の学生を対象とし、「中国語・基礎」などの授業で習得した知識を生かしながら、発音や声調を更に上達させ、語彙を増やし、文法事項や文型などの学習を深めていく。週2回行う。中国語検定試験で言えば、4級程度のレベルを目指すことを目標とする。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

週4回連携授業の内の2回分に当たる。主として文法事項を学習する。

評価方法・基準

- * 定期試験として実施
 - * 日常点評価
- 平常点と統一筆記試験を総合して判断する。

講義スケジュールテキスト

(コミュニケーション中国語)立命館大学中国語部会編

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

中国語・展開 8E

13298

授業開講期間 前期集中

単位数 2

配当回生 2

担当教員 塚田 亮太

講義内容・テーマ

この授業は、初修重視コース(8単位コース)の「中国語・基礎」を終了した2回生の学生を対象とし、「中国語・基礎」などの授業で習得した知識を生かしながら、発音や声調を更に上達させ、語彙を増やし、文法事項や文型などの学習を深めていく。週2回行う。中国語検定試験で言えば、4級程度のレベルを目指すことを目標とする。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

週4回連携授業の内の2回分に当たる。主として文法事項を学習する。

評価方法・基準

- * 定期試験として実施
 - * 日常点評価
- 平常点と統一筆記試験を総合して判断する。

講義スケジュールテキスト

(コミュニケーション中国語)立命館大学中国語部会編

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

中国語・表現1 4A

14815

授業開講期間 後期

単位数 1

配当回生 1

担当教員 郭 偉

講義内容・テーマ

この授業は、一回生の初修重視コース(8単位)及び英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業で、週1回行う。「中国語・基礎」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、日常生活やコミュニケーションに必要な基本会話を学習していく。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

週4回又は週3回連携授業の内の1回分に当たる。主として日常会話を学習する。

評価方法・基準

* 日常点評価

平常点と最終講義日口頭試験を総合して判断する。

講義スケジュールテキスト

(コミュニカティブ中国語)立命館大学中国語部会編

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

中国語・表現1 4B

14816

授業開講期間 後期

単位数 1

配当回生 1

担当教員 趙 ニーナ

講義内容・テーマ

この授業は、一回生の初修重視コース(8単位)及び英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業で、週1回行う。「中国語・基礎」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、日常生活やコミュニケーションに必要な基本会話を学習していく。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

週4回又は週3回連携授業の内の1回分に当たる。主として日常会話を学習する。

評価方法・基準

* 日常点評価

平常点と最終講義日口頭試験を総合して判断する。

講義スケジュールテキスト

(コミュニカティブ中国語)立命館大学中国語部会編

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

中国語・表現1 4C

14817

授業開講期間 後期

単位数 1

配当回生 1

担当教員 黄 麗華

講義内容・テーマ

この授業は、一回生の初修重視コース(8単位)及び英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業で、週1回行う。「中国語・基礎」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、日常生活やコミュニケーションに必要な基本会話を学習していく。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

週4回又は週3回連携授業の内の1回分に当たる。主として日常会話を学習する。

評価方法・基準

* 日常点評価

平常点と最終講義日口頭試験を総合して判断する。

講義スケジュールテキスト

(コミュニカティブ中国語)立命館大学中国語部会編

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

中国語・表現1 4D

14818

授業開講期間 後期

単位数 1

配当回生 1

担当教員 周 宝玲

講義内容・テーマ

この授業は、一回生の初修重視コース(8単位)及び英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業で、週1回行う。「中国語・基礎」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、日常生活やコミュニケーションに必要な基本会話を学習していく。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

週4回又は週3回連携授業の内の1回分に当たる。主として日常会話を学習する。

評価方法・基準

* 日常点評価

平常点と最終講義日口頭試験を総合して判断する。

講義スケジュールテキスト

(コミュニカティブ中国語)立命館大学中国語部会編

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

中国語・表現1 4E

15007

授業開講期間 後期

単位数 1

配当回生 1

担当教員 陳 敏

講義内容・テーマ

この授業は、一回生の初修重視コース(8単位)及び英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業で、週1回行う。「中国語・基礎」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、日常生活やコミュニケーションに必要な基本会話を学習していく。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

週4回又は週3回連携授業の内の1回分に当たる。主として日常会話を学習する。

評価方法・基準

* 日常点評価

平常点と最終講義日口頭試験を総合して判断する。

講義スケジュールテキスト

(コミュニカティブ中国語)立命館大学中国語部会編

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

中国語・表現1 8A

14790

授業開講期間 後期

単位数 1

配当回生 1

担当教員 郭 偉

講義内容・テーマ

この授業は、一回生の初修重視コース(8単位)及び英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業で、週1回行う。「中国語・基礎」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、日常生活やコミュニケーションに必要な基本会話を学習していく。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

週4回又は週3回連携授業の内の1回分に当たる。主として日常会話を学習する。

評価方法・基準

* 日常点評価

平常点と最終講義日口頭試験を総合して判断する。

講義スケジュールテキスト

(コミュニカティブ中国語)立命館大学中国語部会編

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

中国語・表現1 8B

14791

授業開講期間 後期

単位数 1

配当回生 1

担当教員 趙 ニーナ

講義内容・テーマ

この授業は、一回生の初修重視コース(8単位)及び英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業で、週1回行う。「中国語・基礎」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、日常生活やコミュニケーションに必要な基本会話を学習していく。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

週4回又は週3回連携授業の内の1回分に当たる。主として日常会話を学習する。

評価方法・基準

* 日常点評価

平常点と最終講義日口頭試験を総合して判断する。

講義スケジュールテキスト

(コミュニカティブ中国語)立命館大学中国語部会編

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

中国語・表現1 8C

14792

授業開講期間 後期

単位数 1

配当回生 1

担当教員 黄麗華

講義内容・テーマ

この授業は、一回生の初修重視コース(8単位)及び英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業で、週1回行う。「中国語・基礎」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、日常生活やコミュニケーションに必要な基本会話を学習していく。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

週4回又は週3回連携授業の内の1回分に当たる。主として日常会話を学習する。

評価方法・基準

* 日常点評価

平常点と最終講義日口頭試験を総合して判断する。

講義スケジュールテキスト

(コミュニカティブ中国語)立命館大学中国語部会編

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

中国語・表現1 8D

14793

授業開講期間 後期

単位数 1

配当回生 1

担当教員 周 宝玲

講義内容・テーマ

この授業は、一回生の初修重視コース(8単位)及び英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業で、週1回行う。「中国語・基礎」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、日常生活やコミュニケーションに必要な基本会話を学習していく。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

週4回又は週3回連携授業の内の1回分に当たる。主として日常会話を学習する。

評価方法・基準

* 日常点評価

平常点と最終講義日口頭試験を総合して判断する。

講義スケジュールテキスト

(コミュニカティブ中国語)立命館大学中国語部会編

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

中国語・表現1 8E

14794

授業開講期間 後期

単位数 1

配当回生 1

担当教員 陳 敏

講義内容・テーマ

この授業は、一回生の初修重視コース(8単位)及び英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業で、週1回行う。「中国語・基礎」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、日常生活やコミュニケーションに必要な基本会話を学習していく。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

週4回又は週3回連携授業の内の1回分に当たる。主として日常会話を学習する。

評価方法・基準

* 日常点評価

平常点と最終講義日口頭試験を総合して判断する。

講義スケジュールテキスト

(コミュニカティブ中国語)立命館大学中国語部会編

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

授業開講期間 前期

単位数 1

配当回生 2

担当教員 郭 偉

講義内容・テーマ

(初修重視コース)この授業は、初修重視コース(8単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・基礎」や「中国語・表現1」を終了した2回生の学生を対象とする。「中国語・展開」の授業で学習した語彙・句型・文法などの知識を生かして、日常生活やコミュニケーションに必要な会話を学習していく。週1回行う。

(英語重視コース)この授業は、英語重視コース(4単位コース)クラスの授業で、「中国語・表現1」を終了した2回生の学生を対象とする。「中国語・基礎」と「中国語・表現1」の授業で学習した語彙・句型・文法などの知識を生かして、日常生活やコミュニケーションに必要な基本会話を学習していく。週1回行う。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

(初修重視コース)

週4回連携授業の内の1回分に当たる。主として日常会話を学習する。

(英語重視コース)

英語重視コース(4単位コース)2回生のクラスではこの授業だけである。

評価方法・基準

* 日常点評価

平常点と最終講義日口頭試験を総合して判断する。

講義スケジュールテキスト

(初修重視コース)

(コミュニケーション中国語)立命館大学中国語部会編

(英語重視コース)

(中国語スピーキング倶楽部) 朝日出版社

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

授業開講期間 前期

単位数 1

配当回生 2

担当教員 趙 ニーナ

講義内容・テーマ

(初修重視コース)この授業は、初修重視コース(8単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・基礎」や「中国語・表現1」を終了した2回生の学生を対象とする。「中国語・展開」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、日常生活やコミュニケーションに必要な会話を学習していく。週1回行う。

(英語重視コース)この授業は、英語重視コース(4単位コース)クラスの授業で、「中国語・表現1」を終了した2回生の学生を対象とする。「中国語・基礎」と「中国語・表現1」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、日常生活やコミュニケーションに必要な基本会話を学習していく。週1回行う。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

(初修重視コース)

週4回連携授業の内の1回分に当たる。主として日常会話を学習する。

(英語重視コース)

英語重視コース(4単位コース)2回生のクラスではこの授業だけである。

評価方法・基準

* 日常点評価

平常点と最終講義日口頭試験を総合して判断する。

講義スケジュールテキスト

(初修重視コース)

(コミュニケーション中国語)立命館大学中国語部会編

(英語重視コース)

(中国語スピーキング倶楽部) 朝日出版社

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

授業開講期間 前期

単位数 1

配当回生 2

担当教員 黄麗華

講義内容・テーマ

(初修重視コース)この授業は、初修重視コース(8単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・基礎」や「中国語・表現1」を終了した2回生の学生を対象とする。「中国語・展開」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、日常生活やコミュニケーションに必要な会話を学習していく。週1回行う。

(英語重視コース)この授業は、英語重視コース(4単位コース)クラスの授業で、「中国語・表現1」を終了した2回生の学生を対象とする。「中国語・基礎」と「中国語・表現1」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、日常生活やコミュニケーションに必要な基本会話を学習していく。週1回行う。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

(初修重視コース)

週4回連携授業の内の1回分に当たる。主として日常会話を学習する。

(英語重視コース)

英語重視コース(4単位コース)2回生のクラスではこの授業だけである。

評価方法・基準

* 日常点評価

平常点と最終講義日口頭試験を総合して判断する。

講義スケジュールテキスト

(初修重視コース)

(コミュニケーション中国語)立命館大学中国語部会編

(英語重視コース)

(中国語スピーキング倶楽部) 朝日出版社

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

授業開講期間 前期

単位数 1

配当回生 2

担当教員 周 宝玲

講義内容・テーマ

(初修重視コース)この授業は、初修重視コース(8単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・基礎」や「中国語・表現1」を終了した2回生の学生を対象とする。「中国語・展開」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、日常生活やコミュニケーションに必要な会話を学習していく。週1回行う。

(英語重視コース)この授業は、英語重視コース(4単位コース)クラスの授業で、「中国語・表現1」を終了した2回生の学生を対象とする。「中国語・基礎」と「中国語・表現1」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、日常生活やコミュニケーションに必要な基本会話を学習していく。週1回行う。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

(初修重視コース)

週4回連携授業の内の1回分に当たる。主として日常会話を学習する。

(英語重視コース)

英語重視コース(4単位コース)2回生のクラスではこの授業だけである。

評価方法・基準

* 日常点評価

平常点と最終講義日口頭試験を総合して判断する。

講義スケジュールテキスト

(初修重視コース)

(コミュニケーション中国語)立命館大学中国語部会編

(英語重視コース)

(中国語スピーキング倶楽部) 朝日出版社

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

授業開講期間 前期

単位数 1

配当回生 2

担当教員 陳 敏

講義内容・テーマ

(初修重視コース)この授業は、初修重視コース(8単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・基礎」や「中国語・表現1」を終了した2回生の学生を対象とする。「中国語・展開」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、日常生活やコミュニケーションに必要な会話を学習していく。週1回行う。

(英語重視コース)この授業は、英語重視コース(4単位コース)クラスの授業で、「中国語・表現1」を終了した2回生の学生を対象とする。「中国語・基礎」と「中国語・表現1」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、日常生活やコミュニケーションに必要な基本会話を学習していく。週1回行う。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

(初修重視コース)

週4回連携授業の内の1回分に当たる。主として日常会話を学習する。

(英語重視コース)

英語重視コース(4単位コース)2回生のクラスではこの授業だけである。

評価方法・基準

* 日常点評価

平常点と最終講義日口頭試験を総合して判断する。

講義スケジュールテキスト

(初修重視コース)

(コミュニケーション中国語)立命館大学中国語部会編

(英語重視コース)

(中国語スピーキング倶楽部) 朝日出版社

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

授業開講期間 前期

単位数 1

配当回生 2

担当教員 田 星

講義内容・テーマ

(初修重視コース)この授業は、初修重視コース(8単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・基礎」や「中国語・表現1」を終了した2回生の学生を対象とする。「中国語・展開」の授業で学習した語彙・句型・文法などの知識を生かして、日常生活やコミュニケーションに必要な会話を学習していく。週1回行う。

(英語重視コース)この授業は、英語重視コース(4単位コース)クラスの授業で、「中国語・表現1」を終了した2回生の学生を対象とする。「中国語・基礎」と「中国語・表現1」の授業で学習した語彙・句型・文法などの知識を生かして、日常生活やコミュニケーションに必要な基本会話を学習していく。週1回行う。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

(初修重視コース)

週4回連携授業の内の1回分に当たる。主として日常会話を学習する。

(英語重視コース)

英語重視コース(4単位コース)2回生のクラスではこの授業だけである。

評価方法・基準

* 日常点評価

平常点と最終講義日口頭試験を総合して判断する。

講義スケジュールテキスト

(初修重視コース)

(コミュニケーション中国語)立命館大学中国語部会編

(英語重視コース)

(中国語スピーキング倶楽部) 朝日出版社

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

授業開講期間 前期

単位数 1

配当回生 2

担当教員 郭 偉

講義内容・テーマ

(初修重視コース)この授業は、初修重視コース(8単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・基礎」や「中国語・表現1」を終了した2回生の学生を対象とする。「中国語・展開」の授業で学習した語彙・句型・文法などの知識を生かして、日常生活やコミュニケーションに必要な会話を学習していく。週1回行う。

(英語重視コース)この授業は、英語重視コース(4単位コース)クラスの授業で、「中国語・表現1」を終了した2回生の学生を対象とする。「中国語・基礎」と「中国語・表現1」の授業で学習した語彙・句型・文法などの知識を生かして、日常生活やコミュニケーションに必要な基本会話を学習していく。週1回行う。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

(初修重視コース)

週4回連携授業の内の1回分に当たる。主として日常会話を学習する。

(英語重視コース)

英語重視コース(4単位コース)2回生のクラスではこの授業だけである。

評価方法・基準

* 日常点評価

平常点と最終講義日口頭試験を総合して判断する。

講義スケジュールテキスト

(初修重視コース)

(コミュニケーション中国語)立命館大学中国語部会編

(英語重視コース)

(中国語スピーキング倶楽部) 朝日出版社

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

授業開講期間 前期

単位数 1

配当回生 2

担当教員 趙 ニーナ

講義内容・テーマ

(初修重視コース)この授業は、初修重視コース(8単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・基礎」や「中国語・表現1」を終了した2回生の学生を対象とする。「中国語・展開」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、日常生活やコミュニケーションに必要な会話を学習していく。週1回行う。

(英語重視コース)この授業は、英語重視コース(4単位コース)クラスの授業で、「中国語・表現1」を終了した2回生の学生を対象とする。「中国語・基礎」と「中国語・表現1」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、日常生活やコミュニケーションに必要な基本会話を学習していく。週1回行う。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

(初修重視コース)

週4回連携授業の内の1回分に当たる。主として日常会話を学習する。

(英語重視コース)

英語重視コース(4単位コース)2回生のクラスではこの授業だけである。

評価方法・基準

* 日常点評価

平常点と最終講義日口頭試験を総合して判断する。

講義スケジュールテキスト

(初修重視コース)

(コミュニケーション中国語)立命館大学中国語部会編

(英語重視コース)

(中国語スピーキング倶楽部) 朝日出版社

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

授業開講期間 前期

単位数 1

配当回生 2

担当教員 黄麗華

講義内容・テーマ

(初修重視コース)この授業は、初修重視コース(8単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・基礎」や「中国語・表現1」を終了した2回生の学生を対象とする。「中国語・展開」の授業で学習した語彙・句型・文法などの知識を生かして、日常生活やコミュニケーションに必要な会話を学習していく。週1回行う。

(英語重視コース)この授業は、英語重視コース(4単位コース)クラスの授業で、「中国語・表現1」を終了した2回生の学生を対象とする。「中国語・基礎」と「中国語・表現1」の授業で学習した語彙・句型・文法などの知識を生かして、日常生活やコミュニケーションに必要な基本会話を学習していく。週1回行う。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

(初修重視コース)

週4回連携授業の内の1回分に当たる。主として日常会話を学習する。

(英語重視コース)

英語重視コース(4単位コース)2回生のクラスではこの授業だけである。

評価方法・基準

* 日常点評価

平常点と最終講義日口頭試験を総合して判断する。

講義スケジュールテキスト

(初修重視コース)

(コミュニケーション中国語)立命館大学中国語部会編

(英語重視コース)

(中国語スピーキング倶楽部) 朝日出版社

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

授業開講期間 前期

単位数 1

配当回生 2

担当教員 周 宝玲

講義内容・テーマ

(初修重視コース)この授業は、初修重視コース(8単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・基礎」や「中国語・表現1」を終了した2回生の学生を対象とする。「中国語・展開」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、日常生活やコミュニケーションに必要な会話を学習していく。週1回行う。

(英語重視コース)この授業は、英語重視コース(4単位コース)クラスの授業で、「中国語・表現1」を終了した2回生の学生を対象とする。「中国語・基礎」と「中国語・表現1」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、日常生活やコミュニケーションに必要な基本会話を学習していく。週1回行う。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

(初修重視コース)

週4回連携授業の内の1回分に当たる。主として日常会話を学習する。

(英語重視コース)

英語重視コース(4単位コース)2回生のクラスではこの授業だけである。

評価方法・基準

* 日常点評価

平常点と最終講義日口頭試験を総合して判断する。

講義スケジュールテキスト

(初修重視コース)

(コミュニケーション中国語)立命館大学中国語部会編

(英語重視コース)

(中国語スピーキング倶楽部) 朝日出版社

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

授業開講期間 前期

単位数 1

配当回生 2

担当教員 陳 敏

講義内容・テーマ

(初修重視コース)この授業は、初修重視コース(8単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・基礎」や「中国語・表現1」を終了した2回生の学生を対象とする。「中国語・展開」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、日常生活やコミュニケーションに必要な会話を学習していく。週1回行う。

(英語重視コース)この授業は、英語重視コース(4単位コース)クラスの授業で、「中国語・表現1」を終了した2回生の学生を対象とする。「中国語・基礎」と「中国語・表現1」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、日常生活やコミュニケーションに必要な基本会話を学習していく。週1回行う。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

(初修重視コース)

週4回連携授業の内の1回分に当たる。主として日常会話を学習する。

(英語重視コース)

英語重視コース(4単位コース)2回生のクラスではこの授業だけである。

評価方法・基準

* 日常点評価

平常点と最終講義日口頭試験を総合して判断する。

講義スケジュールテキスト

(初修重視コース)

(コミュニケーション中国語)立命館大学中国語部会編

(英語重視コース)

(中国語スピーキング倶楽部) 朝日出版社

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

スペイン語・基礎 4A

15731

授業開講期間 後期集中

単位数 2

配当回生 1

担当教員 井上 幸孝

講義内容・テーマ

スペイン語の基本的な文法を習得することを目標とする。また、発音、アクセント、綴り、基本的な語彙と簡単な表現を覚える。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

「世界の言語と文化」を受講し、基礎知識を得ること。

評価方法・基準

* 日常点評価

日常点評価(最終講義日試験を含む)

講義スケジュール

テキストに沿って進めるが、コピー等も適宜配布し、補足する。テキストの前半を終わる予定。

テキスト

初修重視コース: 西川喬『やさしくわしいスペイン語の基礎』第三書房

英語重視コース: 山崎信三『スペイン語玉手箱』同学社

参考書

瓜谷良平『改訂スペイン語の入門』白水社

辞書:

(a) 小学館『西和中辞典』

(b) 白水社『現代スペイン語辞典(改訂版)』

(c) 小学館『プログレッシブスペイン語辞典』

上記(a)か(b)いずれか。英語重視コースなら(c)でも可。

授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

スペイン語・基礎 4B

15732

授業開講期間 後期集中

単位数 2

配当回生 1

担当教員 田中 由美

講義内容・テーマ

スペイン語の基本的な文法を習得することを目標とする。また、発音、アクセント、綴り、基本的な語彙と簡単な表現を覚える。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

「世界の言語と文化」を受講し、基礎知識を得ること。

評価方法・基準

* 日常点評価

日常点評価(最終講義日試験を含む)

講義スケジュール

テキストに沿って進めるが、コピー等も適宜配布し、補足する。テキストの前半を終わる予定。

テキスト

初修重視コース: 西川喬『やさしくわかるスペイン語の基礎』第三書房

英語重視コース: 山崎信三『スペイン語玉手箱』同学社

参考書

瓜谷良平『改訂スペイン語の入門』白水社

辞書:

(a) 小学館『西和中辞典』

(b) 白水社『現代スペイン語辞典(改訂版)』

(c) 小学館『プログレッシブスペイン語辞典』

上記(a)か(b)いずれか。英語重視コースなら(c)でも可。

授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

授業開講期間 後期集中

単位数 2

配当回生 1

担当教員 JORDI JUSTE GARRIGOS、村上 由利子

講義内容・テーマ

スペイン語の基本的な文法を習得することを目標とする。また、発音、アクセント、綴り、基本的な語彙と簡単な表現を覚える。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

「世界の言語と文化」を受講し、基礎知識を得ること。

評価方法・基準

* 日常点評価

日常点評価(最終講義日試験を含む)

講義スケジュール

テキストに沿って進めるが、コピー等も適宜配布し、補足する。テキストの前半を終わる予定。

テキスト

初修重視コース: 西川喬『やさしくわかるスペイン語の基礎』第三書房

英語重視コース: 山崎信三『スペイン語玉手箱』同学社

参考書

瓜谷良平『改訂スペイン語の入門』白水社

辞書:

(a) 小学館『西和中辞典』

(b) 白水社『現代スペイン語辞典(改訂版)』

(c) 小学館『プログレッシブスペイン語辞典』

上記(a)か(b)いずれか。英語重視コースなら(c)でも可。

授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

スペイン語・基礎 8A

15741

授業開講期間 後期集中

単位数 2

配当回生 1

担当教員 仲井 邦佳

講義内容・テーマ

スペイン語の基本的な文法を習得することを目標とする。また、発音、アクセント、綴り、基本的な語彙と簡単な表現を覚える。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

「世界の言語と文化」を受講し、基礎知識を得ること。

評価方法・基準

* 日常点評価

日常点評価(最終講義日試験を含む)

講義スケジュール

テキストに沿って進めるが、コピー等も適宜配布し、補足する。テキストの前半を終わる予定。

テキスト

初修重視コース: 西川喬『やさしくわかるスペイン語の基礎』第三書房

英語重視コース: 山崎信三『スペイン語玉手箱』同学社

参考書

瓜谷良平『改訂スペイン語の入門』白水社

辞書:

(a) 小学館『西和中辞典』

(b) 白水社『現代スペイン語辞典(改訂版)』

(c) 小学館『プログレッシブスペイン語辞典』

上記(a)か(b)いずれか。英語重視コースなら(c)でも可。

授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

スペイン語・基礎 8B

15720

授業開講期間 後期集中

単位数 2

配当回生 1

担当教員 井上 幸孝

講義内容・テーマ

スペイン語の基本的な文法を習得することを目標とする。また、発音、アクセント、綴り、基本的な語彙と簡単な表現を覚える。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

「世界の言語と文化」を受講し、基礎知識を得ること。

評価方法・基準

* 日常点評価

日常点評価(最終講義日試験を含む)

講義スケジュール

テキストに沿って進めるが、コピー等も適宜配布し、補足する。テキストの前半を終わる予定。

テキスト

初修重視コース: 西川喬『やさしくわしいスペイン語の基礎』第三書房

英語重視コース: 山崎信三『スペイン語玉手箱』同学社

参考書

瓜谷良平『改訂スペイン語の入門』白水社

辞書:

(a) 小学館『西和中辞典』

(b) 白水社『現代スペイン語辞典(改訂版)』

(c) 小学館『プログレッシブスペイン語辞典』

上記(a)か(b)いずれか。英語重視コースなら(c)でも可。

授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

スペイン語・基礎 8C

15719

授業開講期間 後期集中

単位数 2

配当回生 1

担当教員 藪中 暁、田中 由美

講義内容・テーマ

スペイン語の基本的な文法を習得することを目標とする。また、発音、アクセント、綴り、基本的な語彙と簡単な表現を覚える。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

「世界の言語と文化」を受講し、基礎知識を得ること。

評価方法・基準

* 日常点評価

日常点評価(最終講義日試験を含む)

講義スケジュール

テキストに沿って進めるが、コピー等も適宜配布し、補足する。テキストの前半を終わる予定。

テキスト

初修重視コース: 西川喬『やさしくわかるスペイン語の基礎』第三書房

英語重視コース: 山崎信三『スペイン語玉手箱』同学社

参考書

瓜谷良平『改訂スペイン語の入門』白水社

辞書:

(a) 小学館『西和中辞典』

(b) 白水社『現代スペイン語辞典(改訂版)』

(c) 小学館『プログレッシブスペイン語辞典』

上記(a)か(b)いずれか。英語重視コースなら(c)でも可。

授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

スペイン語・基礎 8D

15742

授業開講期間 後期集中

単位数 2

配当回生 1

担当教員 寺本 あけみ、平井 うらら

講義内容・テーマ

スペイン語の基本的な文法を習得することを目標とする。また、発音、アクセント、綴り、基本的な語彙と簡単な表現を覚える。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

「世界の言語と文化」を受講し、基礎知識を得ること。

評価方法・基準

* 日常点評価

日常点評価(最終講義日試験を含む)

講義スケジュール

テキストに沿って進めるが、コピー等も適宜配布し、補足する。テキストの前半を終わる予定。

テキスト

初修重視コース: 西川喬『やさしくわかるスペイン語の基礎』第三書房

英語重視コース: 山崎信三『スペイン語玉手箱』同学社

参考書

瓜谷良平『改訂スペイン語の入門』白水社

辞書:

(a) 小学館『西和中辞典』

(b) 白水社『現代スペイン語辞典(改訂版)』

(c) 小学館『プログレッシブスペイン語辞典』

上記(a)か(b)いずれか。英語重視コースなら(c)でも可。

授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

スペイン語・総合1 8A

14945

授業開講期間 後期単位数 1配当回生 1担当教員 ARTURO ESCANDON講義内容・テーマ

スペイン語の基本的なコミュニケーション能力を身に付ける。同時にスペイン語圏について理解を深めることも目標とする。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

初修重視コースの学生

評価方法・基準

* 日常点評価

日常点評価(最終講義日試験を含む)

講義スケジュール

担当者から指示する。

テキスト

担当者から指示する。

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

スペイン語・総合1 8B

14944

授業開講期間 後期単位数 1配当回生 1担当教員 ANALIA VITALE講義内容・テーマ

スペイン語の基本的なコミュニケーション能力を身に付ける。同時にスペイン語圏について理解を深めることも目標とする。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

初修重視コースの学生

評価方法・基準

* 日常点評価

日常点評価(最終講義日試験を含む)

講義スケジュール

担当者から指示する。

テキスト

担当者から指示する。

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

授業開講期間 後期 単位数 1 配当回生 1回生のみ
 担当教員 ARTURO ESCANDON

講義内容・テーマ

Es un curso de comunicacion y composicion (multimedia en los casos en que se trabaje en aulas con ordenadores). Los estudiantes deberan estudiar en parejas o grupos y, posteriormente, trabajar individualmente en un taller de composicion donde aplicaran lo aprendido.

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

Un cuaderno・Asistencia obligatoria (60%)

評価方法・基準

* 日常点評価

Dos informes (uno parcial y otro final) presentados en documento (Microsoft) Word o (Microsoft) PowerPoint.
 (Ver normas de presentacion de las evaluaciones.)Asistencia y participacion activa 30%

Evaluacion parcial 20%

Evaluacion final 50%

TOTAL 100%

講義スケジュール

1	Presentacion	L1 Presentacion personal/Ayudas pp. 8, 11.
2	Taller	
3	Presentacion	L3 Informacion personal pp. 20, 22, 26.
4	Taller	
5	Presentacion	L2 Nacionalidades/Numeros pp. 14, 15, 16, 18.
6	Taller	
7	Evaluacion	Presentacion personal (PowerPoint)
8	Revision	
9	Presentacion	L4 Mi familia pp. 32, 33, 42, 43.
10	Taller	
11	Presentacion	L5 Objetos pp. 42, 43.
12	Taller	
13	Presentacion	L6 Mi pueblo o ciudad pp. 48, 50, 52.
14	Taller	
15	Evaluacion	Mi pueblo o ciudad (PowerPoint)

テキスト

Impresos.

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページ

Pagina Web del curso <http://www.nakamachi.com/ritsumeikan/>

その他

スペイン語・総合1 8D

14622

授業開講期間 後期単位数 1配当回生 1担当教員 JORDI JUSTE GARRIGOS講義内容・テーマ

スペイン語の基本的なコミュニケーション能力を身に付ける。同時にスペイン語圏について理解を深めることも目標とする。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

初修重視コースの学生

評価方法・基準

* 日常点評価

日常点評価(最終講義日試験を含む)

講義スケジュール

担当者から指示する。

テキスト

担当者から指示する。

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

スペイン語・総合2 8A

12433

授業開講期間 前期単位数 1配当回生 2担当教員 VALLS CAMPA LLUIS講義内容・テーマ

スペイン語・総合1の継続である。より高度なコミュニケーション能力習得を目指す。スペイン語圏について理解を更に深めることも目標とする。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

初修重視コースの学生

評価方法・基準

* 日常点評価
平常点, 試験

講義スケジュール

担当者から指示する。

テキスト

担当者から指示する。

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

スペイン語・総合2 8B

12451

授業開講期間 前期単位数 1配当回生 2担当教員 JORDI JUSTE GARRIGOS講義内容・テーマ

スペイン語・総合1の継続である。より高度なコミュニケーション能力習得を目指す。スペイン語圏について理解を更に深めることも目標とする。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

初修重視コースの学生

評価方法・基準

* 日常点評価
平常点, 試験

講義スケジュール

担当者から指示する。

テキスト

担当者から指示する。

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

スペイン語・総合2 8C

12369

授業開講期間 前期単位数 1配当回生 2担当教員 JORDI JUSTE GARRIGOS講義内容・テーマ

スペイン語・総合1の継続である。より高度なコミュニケーション能力習得を目指す。スペイン語圏について理解を更に深めることも目標とする。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

初修重視コースの学生

評価方法・基準

* 日常点評価
平常点, 試験

講義スケジュール

担当者から指示する。

テキスト

担当者から指示する。

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

スペイン語・展開 8A

13355

授業開講期間 前期集中

単位数 2

配当回生 2

担当教員 仲井 邦佳

講義内容・テーマ

スペイン語基礎に引き続き、基礎文法を習得し、語彙、表現力を高める。スペイン語検定5級相当の言語運用能力を身につけることを目標とする。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価
日常点評価(最終講義日試験を含む)

講義スケジュール

テキストに沿って進めるが、コピー等も適宜配布し、補足する。テキストの後半を終わる予定。

テキスト

西川喬『新スペイン語ゼミナール』第三書房(2003年度スペイン語基礎で使用したテキストを継続使用する)

参考書

白水社『和西辞典(改訂版)』
瓜谷良平『改訂スペイン語の入門』白水社
立岩礼子他『スペイン語技能検定4・5・6級対策問題集』南雲堂フェニックス

授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

スペイン語・展開 8B

13320

授業開講期間 前期集中

単位数 2

配当回生 2

担当教員 井上 幸孝

講義内容・テーマ

スペイン語基礎に引き続き、基礎文法を習得し、語彙、表現力を高める。スペイン語検定5級相当の言語運用能力を身につけることを目標とする。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価
日常点評価(最終講義日試験を含む)

講義スケジュール

テキストに沿って進めるが、コピー等も適宜配布し、補足する。テキストの後半を終わる予定。

テキスト

西川喬『新スペイン語ゼミナール』第三書房(2003年度スペイン語基礎で使用したテキストを継続使用する)

参考書

白水社『和西辞典(改訂版)』
瓜谷良平『改訂スペイン語の入門』白水社
立岩礼子他『スペイン語技能検定4・5・6級対策問題集』南雲堂フェニックス

授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

スペイン語・展開 8C

13299

授業開講期間 前期集中

単位数 2

配当回生 2

担当教員 仲井 邦佳、井上 幸孝

講義内容・テーマ

スペイン語基礎に引き続き、基礎文法を習得し、語彙、表現力を高める。スペイン語検定5級相当の言語運用能力を身につけることを目標とする。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価
日常点評価(最終講義日試験を含む)

講義スケジュール

テキストに沿って進めるが、コピー等も適宜配布し、補足する。テキストの後半を終わる予定。

テキスト

西川喬『新スペイン語ゼミナール』第三書房(2003年度スペイン語基礎で使用したテキストを継続使用する)

参考書

白水社『和西辞典(改訂版)』
瓜谷良平『改訂スペイン語の入門』白水社
立岩礼子他『スペイン語技能検定4・5・6級対策問題集』南雲堂フェニックス

授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

スペイン語・表現1 4A

14755

授業開講期間 後期単位数 1配当回生 1担当教員 ARTURO ESCANDON講義内容・テーマ

スペイン語の基本的な語彙、表現を習得する。日常生活や旅行での様々な状況に対応できる会話能力を身に付けることを目標とする。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価
日常点評価(最終講義日試験を含む)

講義スケジュール

担当者から指示する。

テキスト

担当者から指示する。

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

スペイン語・表現1 4B

14811

授業開講期間 後期単位数 1配当回生 1担当教員 ARTURO ESCANDON講義内容・テーマ

スペイン語の基本的な語彙、表現を習得する。日常生活や旅行での様々な状況に対応できる会話能力を身に付けることを目標とする。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価
日常点評価(最終講義日試験を含む)

講義スケジュール

担当者から指示する。

テキスト

担当者から指示する。

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

スペイン語・表現1 4C

14759

授業開講期間 後期単位数 1配当回生 1担当教員 JORDI JUSTE GARRIGOS講義内容・テーマ

スペイン語の基本的な語彙、表現を習得する。日常生活や旅行での様々な状況に対応できる会話能力を身に付けることを目標とする。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価
日常点評価 (最終講義日試験を含む)

講義スケジュール

担当者から指示する。

テキスト

担当者から指示する。

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

スペイン語・表現1 8A

14621

授業開講期間 後期単位数 1配当回生 1担当教員 ARTURO ESCANDON講義内容・テーマ

スペイン語の基本的な語彙, 表現を習得する。日常生活や旅行での様々な状況に対応できる会話能力を身に付けることを目標とする。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価
日常点評価 (最終講義日試験を含む)

講義スケジュール

担当者から指示する。

テキスト

担当者から指示する。

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

スペイン語・表現1 8B

14739

授業開講期間 後期単位数 1配当回生 1担当教員 ANALIA VITALE講義内容・テーマ

スペイン語の基本的な語彙、表現を習得する。日常生活や旅行での様々な状況に対応できる会話能力を身に付けることを目標とする。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価
日常点評価(最終講義日試験を含む)

講義スケジュール

担当者から指示する。

テキスト

担当者から指示する。

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

スペイン語・表現1 8C

14738

授業開講期間 後期単位数 1配当回生 1担当教員 ARTURO ESCANDON講義内容・テーマ

スペイン語の基本的な語彙, 表現を習得する。日常生活や旅行での様々な状況に対応できる会話能力を身に付けることを目標とする。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価
日常点評価 (最終講義日試験を含む)

講義スケジュール

担当者から指示する。

テキスト

担当者から指示する。

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

スペイン語・表現1 8D

14786

授業開講期間 後期単位数 1配当回生 1担当教員 JORDI JUSTE GARRIGOS講義内容・テーマ

スペイン語の基本的な語彙、表現を習得する。日常生活や旅行での様々な状況に対応できる会話能力を身に付けることを目標とする。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価
日常点評価(最終講義日試験を含む)

講義スケジュール

担当者から指示する。

テキスト

担当者から指示する。

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

スペイン語・表現2 4A

12385

授業開講期間 前期単位数 1配当回生 2担当教員 ANALIA VITALE講義内容・テーマ

スペイン語・表現1の継続である。語彙力をいっそう強化し、より複雑な表現ができるように努める。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

日常点評価(最終講義日試験を含む)

講義スケジュール

担当者から指示する。

テキスト

担当者から指示する。

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

スペイン語・表現2 4B

12386

授業開講期間 前期

単位数 1

配当回生 2

担当教員 ARTURO ESCANDON

講義内容・テーマ

スペイン語・表現1の継続である。語彙力をいっそう強化し、より複雑な表現ができるように努める。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

日常点評価(最終講義日試験を含む)

講義スケジュール

担当者から指示する。

テキスト

担当者から指示する。

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

スペイン語・表現2 4C

12371

授業開講期間 前期単位数 1配当回生 2担当教員 ANALIA VITALE講義内容・テーマ

スペイン語・表現1の継続である。語彙力をいっそう強化し、より複雑な表現ができるように努める。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

日常点評価(最終講義日試験を含む)

講義スケジュール

担当者から指示する。

テキスト

担当者から指示する。

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

スペイン語・表現2 4D

12388

授業開講期間 前期単位数 1配当回生 2担当教員 ARTURO ESCANDON講義内容・テーマ

スペイン語・表現1の継続である。語彙力をいっそう強化し、より複雑な表現ができるように努める。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

日常点評価(最終講義日試験を含む)

講義スケジュール

担当者から指示する。

テキスト

担当者から指示する。

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

スペイン語・表現2 8A

12281

授業開講期間 前期単位数 1配当回生 2担当教員 ANALIA VITALE講義内容・テーマ

スペイン語・表現1の継続である。語彙力をいっそう強化し、より複雑な表現ができるように努める。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

日常点評価(最終講義日試験を含む)

講義スケジュール

担当者から指示する。

テキスト

担当者から指示する。

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

スペイン語・表現2 8B

12477

授業開講期間 前期単位数 1配当回生 2担当教員 JORDI JUSTE GARRIGOS講義内容・テーマ

スペイン語・表現1の継続である。語彙力をいっそう強化し、より複雑な表現ができるように努める。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

日常点評価(最終講義日試験を含む)

講義スケジュール

担当者から指示する。

テキスト

担当者から指示する。

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

スペイン語・表現2 8C

12495

授業開講期間 前期単位数 1配当回生 2担当教員 ARTURO ESCANDON講義内容・テーマ

スペイン語・表現1の継続である。語彙力をいっそう強化し、より複雑な表現ができるように努める。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

日常点評価(最終講義日試験を含む)

講義スケジュール

担当者から指示する。

テキスト

担当者から指示する。

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

朝鮮語・基礎 4A

15743

授業開講期間 後期集中

単位数 2

配当回生 1

担当教員 南 裕恵

講義内容・テーマ

ハングルを習い始めた初歩の段階。母音・子音の習得と発音の練習に始まり、ハングルのごく短い文を読み、書き、聞き取ることが出来るようにする。表現、総合の授業などとも連携しながらハングル検定5級の合格を目指す。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

出席を重視し、随時行う小テスト、期末テスト、授業態度など総合的に評価する。

講義スケジュールテキスト

9月刊行予定の新テキスト『大学のハングル』(仮題)を採用する。詳しくは開講時に指示する。

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

朝鮮語・基礎 4B

15735

授業開講期間 後期集中

単位数 2

配当回生 1

担当教員 文 京洙

講義内容・テーマ

ハングルを習い始めた初歩の段階。母音・子音の習得と発音の練習に始まり、ハングルのごく短い文を読み、書き、聞き取ることができるようになる。表現、総合の授業などとも連携しながらハングル検定5級の合格を目指す。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

出席を重視し、随時行う小テスト、期末テスト、授業態度など総合的に評価する。

講義スケジュールテキスト

9月刊行予定の新テキスト『大学のハングル』(仮題)を採用する。詳しくは開講時に指示する。

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

朝鮮語・基礎 8A

15739

授業開講期間 後期集中

単位数 2

配当回生 1

担当教員 梁 貞模

講義内容・テーマ

ハングルを習い始めた初歩の段階。母音・子音の習得と発音の練習に始まり、ハングルのごく短い文を読み、書き、聞き取ることができるようになる。表現、総合の授業などとも連携しながらハングル検定5級の合格を目指す。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

出席を重視し、随時行う小テスト、期末テスト、授業態度など総合的に評価する。

講義スケジュールテキスト

9月刊行予定の新テキスト『大学のハングル』(仮題)を採用する。詳しくは開講時に指示する。

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

朝鮮語・基礎 8B

15718

授業開講期間 後期集中

単位数 2

配当回生 1

担当教員 金 仁姫

講義内容・テーマ

ハングルを習い始めた初歩の段階。母音・子音の習得と発音の練習に始まり、ハングルのごく短い文を読み、書き、聞き取ることができるようになる。表現、総合の授業などとも連携しながらハングル検定5級の合格を目指す。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

出席を重視し、随時行う小テスト、期末テスト、授業態度など総合的に評価する。

講義スケジュールテキスト

9月刊行予定の新テキスト『大学のハングル』(仮題)を採用する。詳しくは開講時に指示する。

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

朝鮮語・基礎 8C

15750

授業開講期間 後期集中

単位数 2

配当回生 1

担当教員 松井 聖一郎、金 河元

講義内容・テーマ

ハングルを習い始めた初歩の段階。母音・子音の習得と発音の練習に始まり、ハングルのごく短い文を読み、書き、聞き取ることができるようになる。表現、総合の授業などとも連携しながらハングル検定5級の合格を目指す。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

出席を重視し、随時行う小テスト、期末テスト、授業態度など総合的に評価する。

講義スケジュールテキスト

9月刊行予定の新テキスト『大学のハングル』(仮題)を採用する。詳しくは開講時に指示する。

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

朝鮮語・総合1 8A

14623

授業開講期間 後期

単位数 1

配当回生 1

担当教員 金 河元

講義内容・テーマ

復習や反復練習、文法説明の補足などによって、基礎と表現1の授業をサポートする。さらに言語の背景となる、社会、歴史の解説、ビデオ鑑賞などを通じて、韓国社会の総合的な理解を深める。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

出席を重視し、随時行う小テスト、期末テスト、授業態度など総合的に評価する。

講義スケジュールテキスト

プリントを授業で配布する。

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

朝鮮語・総合1 8B

14735

授業開講期間 後期

単位数 1

配当回生 1

担当教員 鄭 雅英

講義内容・テーマ

復習や反復練習、文法説明の補足などによって、基礎と表現1の授業をサポートする。さらに言語の背景となる、社会、歴史の解説、ビデオ鑑賞などを通じて、韓国社会の総合的な理解を深める。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

出席を重視し、随時行う小テスト、期末テスト、授業態度など総合的に評価する。

講義スケジュールテキスト

プリントを授業で配布する。

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

朝鮮語・総合1 8C

15006

授業開講期間 後期

単位数 1

配当回生 1

担当教員 文 京洙

講義内容・テーマ

復習や反復練習、文法説明の補足などによって、基礎と表現1の授業をサポートする。さらに言語の背景となる、社会、歴史の解説、ビデオ鑑賞などを通じて、韓国社会の総合的な理解を深める。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価
出席を重視し、随時行う小テスト、期末テスト、授業態度など総合的に評価する。

講義スケジュールテキスト

プリントを授業で配布する。

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

朝鮮語・総合1 8C

15006

授業開講期間 後期

単位数 1

配当回生 1

担当教員 文 京洙

講義内容・テーマ

復習や反復練習、文法説明の補足などによって、基礎と表現1の授業をサポートする。さらに言語の背景となる、社会、歴史の解説、ビデオ鑑賞などを通じて、韓国社会の総合的な理解を深める。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価
出席を重視し、随時行う小テスト、期末テスト、授業態度など総合的に評価する。

講義スケジュールテキスト

プリントを授業で配布する。

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

朝鮮語・総合2 8A

12389

授業開講期間 前期単位数 1配当回生 2担当教員 鄭 雅英講義内容・テーマ

復習や反復練習、文法説明の補足などによって、展開と表現2の授業をサポートする。さらに言語の背景となる、社会、歴史の解説、ビデオ鑑賞などを通じて、韓国社会の総合的な理解を深める。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

出席を重視し、随時行う小テスト、期末テスト、授業態度など総合的に評価する。

講義スケジュールテキスト

プリントを授業で配布する。

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

朝鮮語・総合2 8B

12387

授業開講期間 前期

単位数 1

配当回生 2

担当教員 南 裕恵

講義内容・テーマ

復習や反復練習、文法説明の補足などによって、展開と表現2の授業をサポートする。さらに言語の背景となる、社会、歴史の解説、ビデオ鑑賞などを通じて、韓国社会の総合的な理解を深める。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

出席を重視し、随時行う小テスト、期末テスト、授業態度など総合的に評価する。

講義スケジュールテキスト

プリントを授業で配布する。

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

朝鮮語・総合2 8C

12509

授業開講期間 前期

単位数 1

配当回生 2

担当教員 嚴 敬俊

講義内容・テーマ

復習や反復練習、文法説明の補足などによって、展開と表現2の授業をサポートする。さらに言語の背景となる、社会、歴史の解説、ビデオ鑑賞などを通じて、韓国社会の総合的な理解を深める。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

出席を重視し、随時行う小テスト、期末テスト、授業態度など総合的に評価する。

講義スケジュールテキスト

プリントを授業で配布する。

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

朝鮮語・展開 8A

13357

授業開講期間 前期集中

単位数 2

配当回生 2

担当教員 松井 聖一郎

講義内容・テーマ

基礎的なハングルを読み、書き、聞き取ることができるようになる。漢字表現の日本語との類似性を利用して語彙を増やし、ある程度辞書を使うことができるように練習する。表現、総合の授業などとも連携しながらハングル検定4級の合格を目指す。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

出席を重視し、随時行う小テスト、期末テスト、授業態度など総合的に評価する。

講義スケジュールテキスト

文京洙『ハングル教本 基礎から読解まで』(新幹社)

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

朝鮮語・展開 8B

13321

授業開講期間 前期集中

単位数 2

配当回生 2

担当教員 梁 貞模

講義内容・テーマ

基礎的なハングルを読み、書き、聞き取ることができるようになる。漢字表現の日本語との類似性を利用して語彙を増やし、ある程度辞書を使うことが出来るように練習する。表現、総合の授業などとも連携しながらハングル検定4級の合格を目指す。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

出席を重視し、随時行う小テスト、期末テスト、授業態度など総合的に評価する。

講義スケジュールテキスト

文京洙『ハングル教本 基礎から読解まで』(新幹社)

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

朝鮮語・展開 8C

13322

授業開講期間 前期集中

単位数 2

配当回生 2

担当教員 金 仁姫

講義内容・テーマ

基礎的なハングルを読み、書き、聞き取ることができるようになる。漢字表現の日本語との類似性を利用して語彙を増やし、ある程度辞書を使うことができるように練習する。表現、総合の授業などとも連携しながらハングル検定4級の合格を目指す。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

出席を重視し、随時行う小テスト、期末テスト、授業態度など総合的に評価する。

講義スケジュールテキスト

文京洙『ハングル教本 基礎から読解まで』(新幹社)

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

朝鮮語・表現1 4A

14632

授業開講期間 後期

単位数 1

配当回生 1

担当教員 嚴 敬俊

講義内容・テーマ

ハングルを習い始めた初歩の段階。前半は、基礎の授業と連携して文字と発音を行う。後半は、簡単な決まり文句、数にまつわる会話表現などを学習し、基礎、総合の授業と連携してハングル検定5級合格を目指す。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

出席を重視し、随時行う小テスト、期末テスト、授業態度など総合的に評価する。

講義スケジュールテキスト

9月刊行予定の新テキスト『大学のハングル』(仮題)を採用する。詳しくは開講時に指示する。

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

朝鮮語・表現1 4B

14762

授業開講期間 後期

単位数 1

配当回生 1

担当教員 金 河元

講義内容・テーマ

ハングルを習い始めた初歩の段階。前半は、基礎の授業と連携して文字と発音を行う。後半は、簡単な決まり文句、数にまつわる会話表現などを学習し、基礎、総合の授業と連携してハングル検定5級合格を目指す。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

出席を重視し、随時行う小テスト、期末テスト、授業態度など総合的に評価する。

講義スケジュールテキスト

9月刊行予定の新テキスト『大学のハングル』(仮題)を採用する。詳しくは開講時に指示する。

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

朝鮮語・表現1 8A

14785

授業開講期間 後期

単位数 1

配当回生 1

担当教員 盧 載玉

講義内容・テーマ

ハングルを習い始めた初歩の段階。前半は、基礎の授業と連携して文字と発音を行う。後半は、簡単な決まり文句、数にまつわる会話表現などを学習し、基礎、総合の授業と連携してハングル検定5級合格を目指す。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

出席を重視し、随時行う小テスト、期末テスト、授業態度など総合的に評価する。

講義スケジュールテキスト

9月刊行予定の新テキスト『大学のハングル』(仮題)を採用する。詳しくは開講時に指示する。

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

朝鮮語・表現1 8B

14946

授業開講期間 後期

単位数 1

配当回生 1

担当教員 梁 貞模

講義内容・テーマ

ハングルを習い始めた初歩の段階。前半は、基礎の授業と連携して文字と発音を行う。後半は、簡単な決まり文句、数にまつわる会話表現などを学習し、基礎、総合の授業と連携してハングル検定5級合格を目指す。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

出席を重視し、随時行う小テスト、期末テスト、授業態度など総合的に評価する。

講義スケジュールテキスト

9月刊行予定の新テキスト『大学のハングル』(仮題)を採用する。詳しくは開講時に指示する。

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

朝鮮語・表現1 8C

15008

授業開講期間 後期

単位数 1

配当回生 1

担当教員 田 星姫

講義内容・テーマ

ハングルを習い始めた初歩の段階。前半は、基礎の授業と連携して文字と発音を行う。後半は、簡単な決まり文句、数にまつわる会話表現などを学習し、基礎、総合の授業と連携してハングル検定5級合格を目指す。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

出席を重視し、随時行う小テスト、期末テスト、授業態度など総合的に評価する。

講義スケジュールテキスト

9月刊行予定の新テキスト『大学のハングル』(仮題)を採用する。詳しくは開講時に指示する。

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

朝鮮語・表現2 4A

12384

授業開講期間 前期

単位数 1

配当回生 2

担当教員 嚴 敬俊

講義内容・テーマ

本学留学生の協力を得て、自己紹介などの基礎的なやりとりの実際のな力を身につける。色々なシチュエーションでハングルの初歩的な会話ができるようにし、基礎、総合の授業と連携してハングル検定5級合格を目指す。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

出席を重視し、随時行う小テスト、期末テスト、授業態度など総合的に評価する。

講義スケジュールテキスト

プリントを授業で配布する。

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

朝鮮語・表現2 4B

12392

授業開講期間 前期

単位数 1

配当回生 2

担当教員 金 河元

講義内容・テーマ

本学留学生の協力を得て、自己紹介などの基礎的なやりとりの実際のな力を身につける。色々なシチュエーションでハングルの初歩的な会話ができるようにし、基礎、総合の授業と連携してハングル検定5級合格を目指す。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

出席を重視し、随時行う小テスト、期末テスト、授業態度など総合的に評価する。

講義スケジュールテキスト

プリントを授業で配布する。

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

朝鮮語・表現2 4C

12315

授業開講期間 前期

単位数 1

配当回生 2

担当教員 盧 載玉

講義内容・テーマ

本学留学生の協力を得て、自己紹介などの基礎的なやりとりの実際のな力を身につける。色々なシチュエーションでハングルの初歩的な会話ができるようにし、基礎、総合の授業と連携してハングル検定5級合格を目指す。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

出席を重視し、随時行う小テスト、期末テスト、授業態度など総合的に評価する。

講義スケジュールテキスト

プリントを授業で配布する。

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

朝鮮語・表現2 8A

12291

授業開講期間 前期

単位数 1

配当回生 2

担当教員 金 河元

講義内容・テーマ

本学留学生の協力を得て、自己紹介などの基礎的なやりとりの実際のな力を身につける。色々なシチュエーションでハングルの初歩的な会話ができるようにし、基礎、総合の授業と連携してハングル検定5級合格を目指す。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価
出席を重視し、随時行う小テスト、期末テスト、授業態度など総合的に評価する。

講義スケジュールテキスト

プリントを授業で配布する。

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

朝鮮語・表現2 8B

12478

授業開講期間 前期

単位数 1

配当回生 2

担当教員 盧 載玉

講義内容・テーマ

本学留学生の協力を得て、自己紹介などの基礎的なやりとりの実際のな力を身につける。色々なシチュエーションでハングルの初歩的な会話ができるようにし、基礎、総合の授業と連携してハングル検定5級合格を目指す。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価
出席を重視し、随時行う小テスト、期末テスト、授業態度など総合的に評価する。

講義スケジュールテキスト

プリントを授業で配布する。

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

朝鮮語・表現2 8C

12378

授業開講期間 前期

単位数 1

配当回生 2

担当教員 盧 載玉

講義内容・テーマ

本学留学生の協力を得て、自己紹介などの基礎的なやりとりの実際のな力を身につける。色々なシチュエーションでハングルの初歩的な会話ができるようにし、基礎、総合の授業と連携してハングル検定5級合格を目指す。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

出席を重視し、随時行う小テスト、期末テスト、授業態度など総合的に評価する。

講義スケジュールテキスト

プリントを授業で配布する。

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

授業開講期間 前期

単位数 1

配当回生

担当教員 THOMAS CRAMER

講義内容・テーマ

Dieser Kurs soll gezielt Studenten mit Vorkenntnissen helfen ihre Kenntnisse der Deutschen Sprache zu vertiefen. Es werden Alltagssituationen spielerisch und in Partnerarbeit geübt werden.

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

Regelmüssige Anwesenheit, Mitarbeit im Unterricht, kleine Hausaufgaben und Abschlusstest

講義スケジュール

Lehrbuch und zusützliches Material sollen Informationen über Deutschland vermitteln und die Studenten in die Lage versetzen, auch schwierigere Themen und Situationen sprachlich bewütigen zu können

テキスト

Themen neu 2 Kursbuch, Max Hueber Verlag

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

授業開講期間 後期

単位数 1

配当回生

担当教員 DETLEF KOHN

講義内容・テーマ

1. Hoerverstaendnis: wir benutzen ein Deutschkurs-Video sowie diverse Video-Clips. 2. Verbesserung der Lesefaehigkeit: wir benutzen vom Lektor bereitgestellte Kopien, zunaechst einfache Texte, im Verlauf des Kurses dann mit steigendem Schwierigkeitsgrad. 3. Schriftlicher Ausdruck: die Kursteilnehmer aeussern sich in kurzen Reflexionen zu ausgewaehlten Themen deutscher und europaeischer Kultur.

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

Beherrschung der deutschen Minimalgrammatik und allgemeine Kommunikationsfaehigkeit

評価方法・基準

* 日常点評価
最終講義日試験。日常点を加味する。

講義スケジュール

テキスト

Wird noch bekanntgegeben.

参考書

eines der ueblichen Lexika

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

Informationen zu bestehenden Websites werden im Laufe des Kurses angeboten.

その他

授業開講期間 前期

単位数 1

配当回生

担当教員 BEATE MUELLER

講義内容・テーマ

Weiterfuehrung des Mittelstufen-Unterrichts.
Besonderer Wert wird auf die gesprochene Sprache gelegt.

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

Die Studenten sollten den Mittelstufen-Unterricht oder einen Unterricht von aehnlichem Niveau besucht haben.
Sie sollten also mindestens schon zwei Jahre intensiv Deutsch gelernt haben.

評価方法・基準

* 日常点評価
Aktive Teilnahme am Unterricht, Praesentation, Hausaufgaben u.s.w.

講義スケジュール

Wir arbeiten mit dem Lehrbuch "Themen 2 neu"

テキスト

Themen 2 neu (Kursbuch)

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

授業開講期間 前期

単位数 1

配当回生

担当教員 村本 容子

講義内容・テーマ

視聴覚教材およびインターネットなどを用いながら、「読む・書く・聞く・話す」というドイツ語の4つの力の習得を目指す。構文把握力および語彙力を養うだけでなく、ドイツ語を聞く力、ドイツ語で表現する力をも養成する。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

既習者(付属校以外の者で受講希望者は申し出ること)

評価方法・基準

* 日常点評価

最終試験(筆記試験)の成績および平常点(出席状況、発表、小テストの成績等)から総合的に評価する(最終講義試験30%、平常点70%)。授業における練習によってドイツ語を修得することが望ましいので、授業には積極的に参加すること。

講義スケジュール

- 第1回 授業スケジュールの説明、アンケートなど
- 第2回 表現、聞き取り練習
- 第3回 表現、聞き取り練習
- 第4回 表現、聞き取り練習
- 第5回 表現、聞き取り練習、VTR
- 第6回 表現、聞き取り練習
- 第7回 表現、聞き取り練習
- 第8回 表現、聞き取り練習
- 第9回 表現、聞き取り練習、VTR
- 第10回 表現、聞き取り練習
- 第11回 表現、聞き取り練習
- 第12回 表現、聞き取り練習
- 第13回 表現、聞き取り練習、VTR
- 第14回 表現、聞き取り練習
- 第15回 最終講義試験

テキスト

プリントを適宜配布

参考書

第1回の授業において参考図書リスト(文法参考書・独検対策問題週など)を配布。希望者のみ購入。

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

第1回の授業は必ず出席してください。その際、辞書および高校の授業で使用していたテキスト等を持参のこと。これらを使って簡単な練習問題を解いてもらいます(テストではありません!)

授業開講期間 後期

単位数 1

配当回生

担当教員 竹治 進

講義内容・テーマ

現代ドイツ人の思考と生活は日本人的な視点から眺めるとどんな特徴があるのか。そんな切り口で書かれた文章を読むことによってドイツ語の読解力を養い、文法の復習をし、いろんな練習によって表現力を身につけることを目標とした授業です。

受講者全員が到達すべき目安として、実際に受験するしないに関わらず独検3級水準を設定しています。そして、受験のための練習も加味した授業とする予定です。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

ドイツ語の基礎的な力があることを前提とした授業ですが、「基礎的な力」にも個人差があることですから、理解不十分な点についての質問、進度・難度、教材に関する要望などは率直に伝えてください。

評価方法・基準

* 日常点評価

最終講義試験を行います。むしろ日常点に大きな比重を置くことと理解してください。

日常点とは、出席状況、授業への積極的参加の度合い、小テストなどです。

講義スケジュール

1. 導入
2. トイレでノックはするな
3. ドイツ人と音
4. ドイツ人はケチ?
5. ドイツ人のジョーク
6. 割り勘
7. ドイツ人とサンドイッチ
8. ドイツ人の時間感覚
9. 保守と革新
10. 客はどこに座らせる
11. 遅れてきたとき、どのように着席するのか?
12. 使いやすい表現と使いにくい表現
13. 働いてばかりはいられない
14. あなたのことは、僕が一生、全力でお守りします
15. まとめと試験

テキスト

大谷弘道・Ursula Otani「ドイツ語読み方教室」三修社

参考書

中島・平尾・朝倉「必携 ドイツ文法総まとめ」

授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページ

Deutsche Welle <http://www.dw-world.de>

その他

ドイツ語中級表現読解 K

11900

授業開講期間 後期単位数 1配当回生担当教員 舟場 保之講義内容・テーマ

プリントを用いて、文法事項の知識を確認しつつ語彙力をつけるとともに、ドイツ語の総合力を養成する。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

すでに一定程度の文法知識を身につけ、かつ授業に対して積極的に取り組む受講生が望ましい。

評価方法・基準

* 日常点評価

講義スケジュールテキスト

受講者のレベルに合わせてプリントを用意します。

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページ

<http://www.tagesschau.de>

その他

授業開講期間 前期

単位数 1

配当回生

担当教員 村本 容子

講義内容・テーマ

視聴覚教材およびインターネットなどを用いながら、「読む・書く・聞く・話す」というドイツ語の4つの力の習得を目指す。構文把握力および語彙力を養うだけでなく、ドイツ語を聞く力、ドイツ語で表現する力をも養成する。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

既習者(付属校以外の者で受講希望者は申し出ること)

評価方法・基準

* 日常点評価

最終試験(筆記試験)の成績および平常点(出席状況、発表、小テストの成績等)から総合的に評価する(最終講義試験30%、平常点70%)。授業における練習によってドイツ語を修得することが望ましいので、授業には積極的に参加すること。

講義スケジュール

- 第1回 授業スケジュールの説明、アンケートなど
- 第2回 文法の復習、聞き取り練習、単語テスト
- 第3回 文法の復習、聞き取り練習、単語テスト、VTR
- 第4回 文法の復習、聞き取り練習、単語テスト
- 第5回 文法の復習、聞き取り練習、単語テスト
- 第6回 文法の復習、聞き取り練習、単語テスト
- 第7回 文法の復習、聞き取り練習、単語テスト、VTR
- 第8回 文法の復習、聞き取り練習、単語テスト
- 第9回 文法の復習、聞き取り練習、単語テスト
- 第10回 文法の復習、聞き取り練習、単語テスト
- 第11回 文法の復習、聞き取り練習、単語テスト、VTR
- 第12回 文法の復習、聞き取り練習、単語テスト
- 第13回 文法の復習、聞き取り練習、単語テスト
- 第14回 文法の復習、聞き取り練習、単語テスト
- 第15回 最終講義試験

テキスト

プリントを適宜配布

参考書

第1回の授業において参考図書リスト(文法参考書・独検対策問題週など)を配布。希望者のみ購入。

授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

第1回の授業は必ず出席してください。その際、辞書および高校の授業で使用していたテキスト等を持参のこと。これらを使って簡単な練習問題を解いてもらいます(テストではありません!)

授業開講期間 後期

単位数 1

配当回生

担当教員 村本 容子

講義内容・テーマ

視聴覚教材およびインターネットなどを用いながら、「読む・書く・聞く・話す」というドイツ語の4つの力の習得を目指す。構文把握力および語彙力を養うだけでなく、ドイツ語を聞く力、ドイツ語で表現する力をも養成する。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

既習者(付属校以外の者で受講希望者は申し出ること)

評価方法・基準

* 日常点評価

最終試験(筆記試験)の成績および平常点(出席状況、発表、小テストの成績等)から総合的に評価する(最終講義試験30%、平常点70%)。授業における練習によってドイツ語を修得することが望ましいので、授業には積極的に参加すること。

講義スケジュール

- 第1回 授業スケジュールの説明、アンケートなど
- 第2回 日常表現の練習、聞き取り練習、単語テスト
- 第3回 日常表現の練習、聞き取り練習、単語テスト、VTR
- 第4回 日常表現の練習、聞き取り練習、単語テスト
- 第5回 日常表現の練習、聞き取り練習、単語テスト
- 第6回 日常表現の練習、聞き取り練習、単語テスト
- 第7回 日常表現の練習、聞き取り練習、単語テスト、VTR
- 第8回 日常表現の練習、聞き取り練習、単語テスト
- 第9回 日常表現の練習、聞き取り練習、単語テスト
- 第10回 日常表現の練習、聞き取り練習、単語テスト
- 第11回 日常表現の練習、聞き取り練習、単語テスト、VTR
- 第12回 日常表現の練習、聞き取り練習、単語テスト
- 第13回 日常表現の練習、聞き取り練習、単語テスト
- 第14回 日常表現の練習、聞き取り練習、単語テスト
- 第15回 最終講義試験

テキスト

プリントを適宜配布

参考書

第1回の授業において参考図書リスト(文法参考書・独検対策問題週など)を配布。希望者のみ購入。

授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

第1回の授業は必ず出席してください。その際、辞書および高校の授業で使用していたテキスト等を持参のこと。これらを使って簡単な練習問題を解いてもらいます(テストではありません!)

授業開講期間 前期

単位数 1

配当回生

担当教員 竹治 進

講義内容・テーマ

このコースの履修者である人文系ないし社会系の学部所属者があまり読む機会のない自然科学のエッセイを取り上げ、読解力を中心にしてドイツ語の力を高めることを目標とします。自然科学といっても専門的ではなく、現代人が避けて通ることのできない環境問題を内容においてもドイツ語としても平易に記述したものです。読解力の養成が中心ですが、ドイツ語の表現力をつけるための練習も随時入れてゆく予定です。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

既習者コース中級をすでに終えた人が対象ですから、基本的な文法は理解しているものとして進めます。もし分からないことがあればいくらかでも質問してください。

評価方法・基準

* 日常点評価

授業への出席と毎回の予習は成績評価の基本条件です。途中で小テストを1～3回、様子を見てレポート、それに最終試験を加え総合的に評価します。

講義スケジュール

1. 導入・全体の説明
2. 世界と環境
3. 気候と大気
4. 水と土地
5. エコシステム「森」
6. 森の死
7. 熱帯雨林
8. 食品
9. 医学
10. 車での梗塞
11. 鉄道
12. 都市と田舎
13. 大都会
14. ベルリン
15. 最終講義試験

テキスト

R. Jessel, 石井寿子『科学を読もう』朝日出版社
生協にて販売

参考書

中島・平尾・朝倉「必携 ドイツ文法総まとめ」

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

Deutsche Welle <http://www.dw-world.de>

その他

ドイツ語上級表現読解 K

11777

授業開講期間 前期単位数 1配当回生担当教員 舟場 保之講義内容・テーマ

プリントを用いて、文法事項の知識を確認しつつ語彙力をつけるとともに、ドイツ語の総合力を養成する。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

すでに一定程度の文法知識を身につけ、かつ授業に対して積極的に取り組む受講生が望ましい。

評価方法・基準

* 日常点評価

講義スケジュール

プリントを用いて、ドイツ語運用能力の総合的な向上を目指します。授業時間内での積極的な取り組みは言うまでもなく、授業時間外でも学んだ事柄の復習が要求され、定期的に小テストが課されます。

テキスト

受講者のレベルに合わせたプリントを配布します。

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページ

<http://www.tagesschau.de>

その他

授業開講期間 前期

単位数 1

配当回生 1~8

担当教員 FRANCK DELBARRE

講義内容・テーマ

この授業はフランス語の話す・聞く・書く・読む能力の向上を目指します。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 定期試験として実施

* 日常点評価

定期試験は最終授業に行われます。

評価基準:

定期試験: 50%

小テスト: 50%

講義スケジュール

1 - 2週間目: 紹介(国籍・職業の女性形・冠詞の基本的な使い方)

3 - 4週間目: 動詞の活用変化(je, tu, il, vous)現在形

5 - 6週間目: 趣味を表す

7 - 8週間目: 時間・命令形(命令・助言を表す)

9 - 10週間目: 形容詞の女性形・人の性格と姿を表す

11 - 12週間目: 指示形容詞と前置詞であるもの・人の位置を表す

13 - 14週間目: 部分冠詞で分量を表す

15週間目: 定期試験

...

コミュニケーション能力を発展させるため、聞き取りと話す練習をします。基礎的な文法も学びます。

テキスト

Nouveau Sans frontiere 1 / Philippe Dominique, Jacky Girardet, Michel Verdelhan / CLE international

ISBN: 2090334495

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

授業開講期間 後期

単位数 1

配当回生 1~8

担当教員 FRANCK DELBARRE

講義内容・テーマ

この授業は聞く・話す・読む・書く能力の向上を目指します。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 定期試験として実施

* 日常点評価

評価基準:

定期試験: 50%

小テスト: 50%

定期試験は最終講義に行われます。

講義スケジュール

フランス語のコミュニケーション能力を発展させるため、聞く・話す練習をします。

フランス語の基礎的な文法も勉強します。

1 - 2週間目: 前期で習得した文法の復習

3 - 4週間目: 題名動詞を使って日常生活のいろいろな活動を表す

5 - 6週間目: 洋服・所有形容詞

7 - 8週間目: 命令・助言の表し方

9 - 10週間目: 複合過去形を使って過去における出来事を述べる

11 - 12週間目: 単純未来形・近い未来形を使って未来における出来事を表す

13 - 14週間目: 半過去形

15週間目: 定期試験

テキスト

Nouveau sans Frontiere 1 / Philippe Dominique, Jacky Girardet, Michel Verdelhan / CLE international
ISBN: 2090334495

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

フランス語上級コミュニケーション K

10708

授業開講期間 前期単位数 1配当回生 1~8担当教員 CECILE MOREL講義内容・テーマ

生きたフランス語

表現力をみがき、表現力を活かす。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

* 日常点評価

小テスト、出席、授業参加、発表

講義スケジュール

話す、読む、書くことに重点をおいて、様々な方法通してフランス語、フランスの文化を学ぶ。

テキスト

コピー

参考書

文法の教科書

授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

授業開講期間 前期

単位数 1

配当回生 1～8回生

担当教員 加藤 彰彦

講義内容・テーマ

一年間フランス語を履修した学生を対象に、初級文法の復習とともに、まだ充分学習していない文法事項についても説明を行う。また、それと並行する形で、中級講読を行う。
 文法事項を学習した後、練習問題も解いていき、内容の確認を行う。仏検3級・2級合格を目指す。
 テキストの内容はフランスの文化に触れるものであるため、訳読するとともに適宜解説を加える。
 学習状況によって、学生にとっては授業内容が易しすぎたり難しく感じられることもあるだろうが、標準的なレベルであると解して受講してほしい。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

初級文法は履修していることが条件になっているので、基本的事項は理解しているものとして授業を進める。
 従って、音読・訳読できるように予習してきておくことが必要となる。
 また、語彙を豊富にするために、テキスト以外に毎回単語テストをすることを考えている。

評価方法・基準

* 日常点評価

最終講義日試験を実施する。これは授業内容についての理解を問うもので、成績の80%を占める。
 あとは日常点で、授業の参加度・貢献度、音読・訳読に際しての予習状況、単語テストの成績を考慮する。

講義スケジュール

- 第1回 第1課のテキスト講読(pp. 6 - 7)
- 第2回 第1課の文法説明(pp. 8 - 9)
- 第3回 第1課の練習問題(pp. 10 - 11)
- 第4回 第2課のテキスト講読(pp. 12 - 13)
- 第5回 第2課の文法説明(pp. 14 - 15)
- 第6回 第2課の練習問題(pp. 16 - 17)
- 第7回 第3課のテキスト講読(pp. 18 - 19)
- 第8回 第3課の文法説明(pp. 20 - 21)
- 第9回 第3課の練習問題(pp. 22 - 23)
- 第10回 第4課のテキスト講読・文法説明(pp. 24 - 27)
- 第11回 第4課の練習問題(pp. 28 - 29)
- 第12回 第5課のテキスト講読(pp. 30 - 31)
- 第13回 第5課の文法説明(pp. 32 - 33)
- 第14回 第5課の練習問題(pp. 34 - 35)
- 第15回 最終講義日試験

テキスト

『コム・ボンジュール(三訂版)』
 阿南婦美代、井上富江、コモン・ティエリ著
 白水社
 生協にて購入

参考書

授業中適宜紹介する。

授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

授業開講期間 後期

単位数 1

配当回生 1～8

担当教員 内藤 義博

講義内容・テーマ

現代フランスのかかえる様々な問題を平易なフランス語で読みながら理解する。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

自分で辞書を使って予習してくることが重要です。

評価方法・基準

* 日常点評価

第5回目、第10回目、第15回目の三回のテストによって評価します。

講義スケジュール

第1回 第2課

第2回 第5課

第3回 第7課

第4回 第8課

第5回 テスト

第6回 第9課

第7回 第10課

第8回 第13課

第9回 第14課

第10回 テスト

第11回 第15課

第12回 第16課

第13回 第18課

第14回 第19課

第15回 テスト

テキスト

「新えすかるご2」朝日出版社

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

授業開講期間 後期

単位数 1

配当回数 1~8

担当教員 加藤 彰彦

講義内容・テーマ

前期に引き続いて、既に一年間程フランス語を履修した学生を対象に、初級文法の復習とともに、まだ充分学習していない中級レベルの文法事項についても説明を行う。

また、それと並行する形で、中級講読を行う。文法事項を学習した後、練習問題も解いていき、内容の確認を行う。

テキストの内容は、フランスの文化に触れるものであるため、訳読するとともに、適宜説明を加える。

仏検3級・2級合格を目指す。

学習状況によって、学生にとっては授業内容が易しすぎたり難しく感じられたりすることもあるだろうが、標準的レベルであると解して受講してほしい。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

初級文法は履修しているということが条件になっているので、基本的事項は理解しているものとして、授業を進める。

従って、音読・訳読できるように予習してきていることが必要となる。

また、語彙を豊富にするために、テキスト以外に毎回単語テストをすることを考えている。

評価方法・基準

* 日常点評価

最終講義日試験を実施する。これは授業内容についての理解を問うもので、成績の80%を占める。

あとは日常点で、授業の参加度・貢献度、音読・訳読に際しての予習状況、単語テストの成績を考慮する。

講義スケジュール

第1回 第6課のテキスト講読・文法説明(pp. 36 - 39)

第2回 第6課の練習問題(pp. 40 - 41)

第3回 第7課のテキスト講読(pp. 42 - 43)

第4回 第7課の文法説明(pp. 44 - 45)

第5回 第7課の練習問題(pp. 46 - 47)

第6回 第8課のテキスト講読(pp. 48 - 49)

第7回 第8課の文法説明(pp. 50 - 51)

第8回 第8課の練習問題(pp. 52 - 53)

第9回 第9課のテキスト講読(pp. 54 - 55)

第10回 第9課の文法説明(pp. 56 - 57)

第11回 第9課の練習問題(pp. 58 - 59)

第12回 第10課のテキスト講読(pp. 60 - 61)

第13回 第10課の文法説明(pp. 62 - 63)

第14回 第10課の練習問題(pp. 64 - 65)

第15回 最終講義日試験

テキスト

『コム・ボンジュール(三訂版)』

阿南婦美代、井上富江、コモン・ティエリ著

白水社

生協にて購入

参考書

授業中適宜紹介する。

授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

授業開講期間 前期

単位数 1

配当回生 1~8

担当教員 NADIA PORCAR

講義内容・テーマ

"Le Cinema de la Vie"

Focus is oral comprehension

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

A FRENCH DICTIONARY

評価方法・基準

* 日常点評価

ORAL TEST

講義スケジュール

Each lesson, we will watch 2 or 3 very short scenes (around 3 minutes)

from the same film made by a French director, with or without subtitles in Japanese.

Both classical films in black and white and contemporary films will be chosen.

First, students will be given written questions about what they have seen (in French).

Then, there will be a general discussion in the class (in French).

テキスト

NO NEED (I will give copies)

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

授業開講期間 後期

単位数 1

配当回生 1~8

担当教員 NADIA PORCAR

講義内容・テーマ

"Le Cinema de la Vie"

Focus is oral comprehension

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

A FRENCH DICTIONARY

評価方法・基準

* 日常点評価

ORAL TEST

講義スケジュール

Each lesson, we will watch 2 or 3 very short scenes (around 3 minutes)

from the same film made by a French director, with or without subtitles in Japanese.

Both classical films in black and white and contemporary films will be chosen.

First, students will be given written questions about what they have seen (in French).

Then, there will be a general discussion in the class (in French).

テキスト

NO NEED (I Will give copies)

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

授業開講期間 前期

単位数 1

配当回生

担当教員 角谷 美知

講義内容・テーマ

フランス語の読解力の向上を目指すと共に、「書き取り」を取り入れ、フランス語検定の受験にも対応できるようにしたい。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

基本的な文法知識が必要である。積極的な授業参加を望む。

評価方法・基準

* 定期試験として実施

* 日常点評価

最終講義試験と平常点(出席状況及び授業中の発表)を総合して評価する。

講義スケジュール

第1回 授業方針の説明、テキストの著者紹介

第2回～第13回 テキストの読解、2～3回毎に「書き取り」練習

第14回 テキストの総復習

第15回 最終講義テスト

テキスト

内藤陽哉・松本陽正編『バラずきんちゃん』 駿河台出版社

参考書

必要に応じて授業中に紹介

授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

授業開講期間 前期

単位数 1

配当回生

担当教員 湊野 ゆり子

講義内容・テーマ

きわめてやさしい文体で書かれたSF風の小説を読む。ひとつのまとまった作品を読む楽しさを味わうと同時に、基本的な文法事項の復習・確認を十分におこないながら、フランス語で表現する練習も取り入れる。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

フランス語の文法の基本的な知識、仏和辞典を引くこと、音読の練習をよくすること、予習をすること、積極的に授業中に発表すること、少なくとも3分の2以上は授業に出席すること、などが求められる。

評価方法・基準

* 日常点評価

最終講義日に試験を実施する。成績の評価は、この試験の結果と平常点の総合である。平常点(出席状況や授業中の発表など)は30%程度である。

講義スケジュール

授業は指定した教科書の講読を中心とし、その課程で、文法事項の復習や表現練習も取り入れる。第1回目の授業時に導入のためのプリントを配布する。短い作品なので、最後まで読み通すことをめざして、ペースを配分する。

第1回 プリント配布、今後の授業の進め方についての解説、導入。

第2回から第14回 講読(音読練習・文法解説や練習・和訳など)

第15回 最終講義日試験

テキスト

石井晴一編「パパ」(駿河台出版社)。立命館大学生協書籍部で購入すること。

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

授業開講期間 前期

単位数 1

配当回生

担当教員 黄麗華

講義内容・テーマ

初級で習得した中国語の基礎を土台に、中国語コミュニケーションのレベルをさらにステップアップさせることを目指します。
初歩的な知識が不十分な学生も心配いりません。すでに初級で学習した箇所を繰り返し復習しながら、新しいものを少しずつ学んでいきます。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

基礎的な知識に多少差があると思われる学生も、自信を持って受講すれば、それなりの成果を得ることができます。

評価方法・基準

* 日常点評価

成績評価は出席状況、受講態度、期末テストなどを総合して行います。

講義スケジュール

1. 各課の学習に入る前、すでに学んだと思われる基本動詞、基本形容詞、および基本文型を必要に応じて復習します。
2. 初級で学んだ箇所を繰り返し復習しながら、テキストに沿って各課の学習を進めていきます。
3. 総復習を経て期末テストを行います。

テキスト

竹島 毅著『中国語さらなる一步』白水社

参考書

参考書は必要に応じて指示します。

授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

中国語中級コミュニケーション K
中国語中級 06

10793

授業開講期間 後期

単位数 1

配当回生

担当教員 黄 麗華

講義内容・テーマ

初級で習得した中国語の基礎を土台に、中国語コミュニケーションのレベルをさらにステップアップさせることを目指します。
初歩的な知識が不十分な学生も心配いりません。すでに初級で学習した箇所を繰り返し復習しながら、新しいものを少しずつ学んでいきます。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

基礎的な知識に多少差があると思われる学生も、自信を持って受講すれば、それなりの成果を得ることができます。

評価方法・基準

* 日常点評価

成績評価は出席状況、受講態度、期末テストなどを総合して行います。

講義スケジュール

1. 各課の学習に入る前、すでに学んだと思われる基本動詞、基本形容詞、および基本文型を必要に応じて復習します。
2. 初級で学んだ箇所を繰り返し復習しながら、テキストに沿って学習を進めていきます。
3. 総復習を経て期末テストを行います。

テキスト

竹島 毅著『中国語さらなる一步』白水社

参考書

参考書は必要に応じて指示します。

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

中国語上級コミュニケーション K
中国語上級 01

10701

授業開講期間 前期

単位数 1

配当回生

担当教員 洪 潔清

講義内容・テーマ

中国語の基礎を身につけた既習者を上級レベルと導くことを目的とする。
教科書の内容を学ぶとともに、中国において日常生活で起こりうるさまざまな問題に対処できるようにする。一課の内容が終わった後、関連するプレゼンテーションを行う。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

積極的に発言することを強く要求する。

評価方法・基準

* 日常点評価
授業中の発言頻度、プレゼンテーションの内容と試験の成績より総合的に評価する。

講義スケジュール

第1週 授業の展開と規則を説明する。受講者の要望を聞く。
第2週～第14週 テキストの内容にしたがって授業を進める。一課が終わった後、ペアで 又はグループでプレゼンテーションを行う。
第15週 試験

テキスト

「悠ゆう遊ゆう北京」井上貴仁 等著 白帝社

参考書

中日・日中辞書を用意すること。

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

中国語中級表現読解 K

11862

授業開講期間 前期

単位数 1

配当回生

担当教員 ㊦ 惟行

講義内容・テーマ

ドラマ、ニュースなど中国のテレビ番組を題材にし、講義を進めていきたい。番組のセリフをレジユメにして配布し、それを分担して翻訳し、新しい表現法を学んでいきたい。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

全講義の3分の2以上の出席と課題、質問などの応答で判断する。

評価方法・基準

* 日常点評価

講義スケジュール

第1週 講義の説明、自己紹介など

第2週～第14週 レジユメを使って、分担して翻訳してもらい発表する。また2～3本の作文を課す。

第15週 最終講義日試験

テキスト

レジユメ配布

参考書

レジユメ配布

授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

中国語中級表現読解 K
中国語中級 03

11156

授業開講期間 後期

単位数 1

配当回生

担当教員 郭 偉

講義内容・テーマ

文化その他、中国事情を織り込みつつ、読解力、聴解力を中心に、総合的中国語能力の向上を目指す。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

初級中国語をひとつとおり終えた学生を対象とし、主体性ある取り組みを求める。

評価方法・基準

* 日常点評価
平常点40%、最終試験60%

講義スケジュール

第一回 オリエンテーション・実力調査など
第二回～第十四回
・配布したプリントを使って、読解力及び聴解力の向上を目指す。
・インターネットの活用など、受講者の実力と要求に応じた実践的学習
最終回 試験

テキスト

テキストはリアルタイムのメディア情報なども使う予定なので、随時、プリントを配布する。
ただし、辞書は各自で持参すること。

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

中国語中級表現読解 K

11901

授業開講期間 後期

単位数 1

配当回生

担当教員 文 楚雄

講義内容・テーマ

ドラマ、ニュースなど中国のテレビ番組を題材にし、講義を進めていきたい。番組のセリフをレジユメにして配布し、それを分担して翻訳し、新しい表現法を学んでいきたい。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

全講義の3分の2以上の出席と課題、質問などの応答で判断する。

評価方法・基準

* 日常点評価

講義スケジュール

第1週 講義の説明

第2週～第14週 レジユメを使って分担して翻訳してもらい、発表する。2～3本の作文を課す。

第15週 最終講義日試験

テキスト

レジユメ配布

参考書

レジユメ配布

授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

中国語中級表現読解 K
中国語中級 04

10410

授業開講期間 前期

単位数 1

配当回生

担当教員 永井 英美

講義内容・テーマ

何のために中国語を勉強するのか。もちろん中国語を話し、読み、使うためです。
この授業は、話すことと聴き取ること、そして読解に重点を置きます。
正しい発音でテキストの本文を暗記してゆくことによって、中級レベルの中国語が、読み取れて聴き取れ、話せるようになることを目指します。
毎回何か1曲、中国の音楽を聴いたり、習った言い方を使って隣の席の人と応用会話をするなど、楽しく授業を進めます。
力をつけるためには、授業時間の勉強だけでは足りないので、毎回40分～1時間程度かかる宿題が出ます。
本当に力をつけたい人には、この授業でそれを可能にしたいと思います。単位さえあればよい人には向かないので注意してください。
試験問題は授業と宿題で繰り返し勉強した内容からのみ出題します。普段の授業の勉強が、何より大切です。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

以下のような人が受講してください。
すでに基礎を勉強し、発音が正しくできる人(中国語の発音記号が正しく読める人)。
毎回の出席・宿題がきちんとできる人。(特に第1回目の授業には、公欠等やむを得ない場合以外、必ず出席すること。)
授業中、携帯等は電源を切ってバッグの中へ。時計が必要な人は腕時計を持つこと。

評価方法・基準

* 日常点評価

平常点(出席・宿題・授業態度ほか) 発音テスト(暗誦・会話) 筆記テスト(ヒアリングほか)の総合評価。
: : =3:3:4とする。

講義スケジュール

4月.....第1課・第2課(主題化ほか)
5月.....第3課・第4課(就の用法、ほか)
6月.....第6課・第7課(見解を表す動詞、ほか)
7月.....第8課・第9課(助動詞ほか)および試験

各課とも、単語の意味の確認 文法事項学習 本文 応用会話の順に進めます。
本文・応用会話とも、文章の意味が頭に入ったら、それを正しく読める 聞き取れる 言えるよう、テープを活用して繰り返し練習し、ネイティブのスピードに慣れるようにします。さらに本文を暗誦し、正しく話せる言葉を増やしてゆきます。
学習した言い方を使って、隣の席の人と応用会話を行います。
夏休み中の訳出の宿題などを通して、中級にふさわしい十分な読解力も身につくように授業を進めます。

テキスト

『話す中国語 北京篇3』董燕・遠藤光暁著 朝日出版社 学内生協で販売
(テキストは必ず購入すること。コピーの場合、単位は認定しません。)

参考書

『中日辞典』(小学館)
この授業では辞書が必要です。持っていない人は、第1回目の説明を聞いてから、購入してください。

授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

授業開講期間 後期

単位数 1

配当回生

担当教員 永井 英美

講義内容・テーマ

何のために中国語を勉強するのか。もちろん中国語を話し、読み、使うためです。
この授業は話すことと聴き取ること、そして読解に重点を置き、正しい発音で本文を暗誦することにより、中級レベルの表現・読解力をつけることを目指します。
授業では毎回中国の音楽も紹介し、12月には、教科書の他、VTR・プリントなども用いて、中国の映画や文化・歴史も勉強し、教養を深めます。
留学生と会話する時間も設けるなど、楽しく勉強してゆきたいと思います。
力をつけるためには授業時間の勉強だけでは足りないので、毎回40分程度かかる宿題が出ます。
本当に力をつけたい人には、この授業でそれを可能にしたいと思います。単位さえあればよい人には向かないので注意してください。
試験問題は、授業と宿題で繰り返し勉強した内容からのみ出題します。普段の勉強が何より大切です。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

以下のような人が受講してください。
すでに基礎を勉強し、発音が正しくできる人(中国語の発音記号が正しく読める人)。
毎回の出席・宿題がきちんとできる人。(特に第1回目の授業には、公欠等やむを得ない場合以外、必ず出席すること。)
授業中、携帯等は電源を切って、バッグの中へ。時計が必要な人は腕時計を持つこと。

評価方法・基準

* 日常点評価

平常点(出席・レポートを含む宿題・授業態度ほか) 発音テスト(暗誦・会話) 筆記テスト(ヒアリングほか)の総合評価。
: : = 3:3:4とする。

講義スケジュール

9・10月.....11課・12課(助動詞ほか)
11・12月.....13課・14課(様態補語ほか)、映画・文化・歴史などの学習
1月.....留学生との会話、まとめ、試験

各課とも、単語の意味の確認 文法事項学習 本文 応用会話の順に進めます。
本文・応用会話とも、文章の意味が頭に入ったら、それを正しく読める 聴き取れる 言えるよう、テープを活用して繰り返し練習し、ネイティブのスピードに慣れるようにします。さらに本文を暗誦し、正しく話せる言葉を増やしてゆきます。
学習した言い方を使って、隣の席の人と応用会話を行います。
夏休み中の訳出の宿題を生かして、中級にふさわしい、十分な読解の力も身につくよう、授業を進めます。

12月には通常授業の傍ら、歴史・文化なども合わせて勉強し、大学で中級中国語を学習した学生として、最低限必要な教養も身につけたいと思います。また1月には留学生の人たちと中国語で会話する機会を設けます。
2003年度のクラスは、副専攻パフォーマンスコンテストに「特別参加」しました。04年度は果たして？みんなで決めましょう。

テキスト

『話す中国語 北京篇3』董燕・遠藤光暁著 朝日出版社 学内生協で販売
(テキストは必ず購入すること。コピーの場合、単位は認定しません。)

参考書

『中日辞典』(小学館)ほか
この授業では辞書が必要です。持っていない人は、第1回目の説明を聞いてから購入してください。

授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

中国語上級表現読解 K

10987

授業開講期間 前期

単位数 1

配当回生

担当教員 松尾 洋二

講義内容・テーマ

中国語のリスニング力の向上

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

出席重視、課題も出す

評価方法・基準

* 日常点評価

数回の小テストを実施する

講義スケジュール

- ・オリエンテーション
- ・リスニング力養成
- ・語彙の系統的かつ楽しみながらの増加、小テスト
- ・補語・アスペクトの補強

テキスト

プリント配布

参考書

授業中、随時解説

授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

中国語上級表現読解 K
中国語上級 02

11778

授業開講期間 前期

単位数 1

配当回生

担当教員 郭 偉

講義内容・テーマ

リアルタイムのメディア情報なども使って、文化・社会その他、中国事情を織り込みつつ、読解力と聴解力を中心に、総合的中国語能力の向上を目指す。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

主体性ある取り組みを求める。中国語学習の楽しさを一緒に開拓していきたい。

評価方法・基準

* 日常点評価

平常点40%、最終試験60%、

講義スケジュール

第一回 オリエンテーション・実力調査など

第二回～第十四回

・配布したプリントを使って、読解力と及び聴解力の向上を目指す。

・インターネットの活用など、受講者の実力と要求に応じた実践的学習

最終回 試験

テキスト

テキストは随時、配布する。

ただし、辞書は各自持参すること。

参考書**授業の方法(大学院科目のみ)****参考になるWWWページ****その他**

授業開講期間 前期

単位数 2

配当回生 2～8回生

担当教員 大西 光弘

講義内容・テーマ

- 1、ドイツ語検定4級(よくてできる人は3級)程度の力をつける。
- 2、ドイツの歌を2・3曲覚える。
- 3、ZDF(ドイツの公共放送です)を見て、現在のドイツを知る。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

該当者のみ

ドイツ語の既習者は、少しでも復習しておいてください。

評価方法・基準

* 日常点評価

隔週で、合計8回の授業です。

毎回授業の初めに小テスト。

最終講義に、少し大きめの小テスト。

講義スケジュール

この授業は、ドイツ語の経験者と未経験者が混ざる授業です。ですから教科書には、教科書として書かれた本ではなく、参考書を選びました。これ以上簡単に書かれた本はないという参考書です。実は解答も本の最後に載っています。ですから熱意のある人は、自分で自習できます。終りまで理解しながら通読すれば、ドイツ語検定4級(よくてできる人は3級)くらいの力はつくでしょう。

授業では教科書をできるだけ簡明に解説しながら読んでゆきます。

さらに、読本の代わりにドイツの歌のプリントを配り、それも読んでゆきます。歌を覚えるのが一番効率のよい語学の勉強の仕方です。できれば何曲か覚えて下さい。

ドイツのニュースを衛星放送でやっているのをご存知ですか? NHKのBS7で、朝の8時20分から15分間やっています。二週間の中で主なニュースをビデオに撮ってきて、今ドイツでどういうことが起こっているのかもお知らせしましょう。ドイツがどういう国か知って、親しみを持って下さい。

テキスト

在間進『ドイツ語早わかり』(三修社)

参考書

授業中に紹介します。

授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

ドイツ語特別講義 B

15477

授業開講期間 後期

単位数 2

配当回生 2～8回生

担当教員 大西 光弘

講義内容・テーマ

- 1、ドイツ語検定4級(よくできる人は3級)程度の力をつける。
- 2、ドイツの歌を2・3曲覚える。
- 3、ZDF(ドイツの公共放送です)を見て、現在のドイツを知る。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

該当者のみ

ドイツ語の既習者は、少しでも復習しておいてください。

評価方法・基準

* 日常点評価

隔週で、合計8回の授業です。

毎回授業の初めに小テスト。

最終講義に、少し大きめの小テスト。

講義スケジュール

この授業は、ドイツ語の経験者と未経験者が混ざる授業です。ですから教科書には、教科書として書かれた本ではなく、参考書を選びました。これ以上簡単に書かれた本はないという参考書です。実は解答も本の最後に載っています。ですから熱意のある人は、自分で自習できます。終りまで理解しながら通読すれば、ドイツ語検定4級(よくできる人は3級)くらいの力はつくでしょう。

授業では教科書をできるだけ簡明に解説しながら読んでゆきます。

さらに、読本の代わりにドイツの歌のプリントを配り、それも読んでゆきます。歌を覚えるのが一番効率のよい語学の勉強の仕方です。できれば何曲か覚えて下さい。

ドイツのニュースを衛星放送でやっているのをご存知ですか? NHKのBS7で、朝の8時20分から15分間やっています。二週間以内で主なニュースをビデオに撮ってきて、今ドイツでどういうことが起こっているのかもお知らせしましょう。ドイツがどういう国か知って、親しみを持って下さい。

テキスト

在間進『ドイツ語早わかり』(三修社)

参考書

授業中に紹介します。

授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

フランス語特別講義 A

13027

授業開講期間 前期

単位数 2

配当回生 2～8回生

担当教員 宇野木 めぐみ

講義内容・テーマ

フランス語の基礎的知識を、講義形式によって身につける。

本学初修外国語のミニマム到達目標としての、仏検4級相当のレベルを目指す。

授業は隔週で行い、毎回小テストを課す。なお、授業は隔週であるが、授業日以外の該当時間(金5限)には、担当教員は、明学館1F国際課コミュニケーションルームに待機し、学習相談に応じている。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

該当者のみ、「2004年度履修要項」の「初修外国語の単位回復について」の項目参照のこと。

評価方法・基準

* 日常点評価

最終講義試験によって評価する。(仏検4級の過去問題より出題)。成績評価は原則として合格の場合「C」、不合格の場合「F」とする。出席要件は課さない。

講義スケジュール

第1回: 授業日・4月9日オリエンテーションほか

第2回: オフィス・アワー

第3回: 授業日・4月23日(小テスト)

第4回: オフィス・アワー

第5回: 授業日・5月7日(小テスト)

第6回: オフィス・アワー

第7回: 授業日・5月21日(小テスト)

第8回: オフィス・アワー

第9回: 授業日・6月4日(小テスト)

第10回: オフィス・アワー

第11回: 授業日・6月18日(小テスト)

第12回: オフィス・アワー

第13回: 7月2日・授業日(小テスト)

第14回: オフィス・アワー

第15回: 7月16日・最終講義試験

テキスト

『P.P.P.』・高橋秀雄 / セルジュ・ジュンタ著・第3書房 生協書籍部にて購入のこと。

参考書

『実用フランス語技能検定試験問題集』(フランス語教育振興協会、駿河台出版社)

授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

フランス語特別講義 B

15478

授業開講期間 後期

単位数 2

配当回生 2～8回生

担当教員 宇野木 めぐみ

講義内容・テーマ

フランス語の基礎的知識を、講義形式によって身につける。

本学初修外国語のミニマム到達目標としての、仏検4級相当のレベルを目指す。

授業は隔週で行い、毎回小テストを課す。なお、授業は隔週であるが、授業日以外の該当時間(金5限)には、担当教員は、明学館1F国際課コミュニケーションルームに待機し、学習相談に応じている。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

該当者のみ、「2004年度履修要項」の「初修外国語の単位回復について」の項目参照のこと。

評価方法・基準

* 日常点評価

隔週の小テストと最終講義試験によって総合的に評価する(仏検4級の過去問題より出題)。成績評価は原則として合格の場合「C」、不合格の場合

「F」とする。出席要件は課さない。

講義スケジュール

第1回: 授業日・10月1日オリエンテーションほか

第2回: オフィス・アワー

第3回: 授業日・10月15日(小テスト)

第4回: オフィス・アワー

第5回: 授業日・10月29日(小テスト)

第6回: オフィス・アワー

第7回: 授業日・11月12日(小テスト)

第8回: オフィス・アワー

第9回: 授業日・11月26日(小テスト)

第10回: オフィス・アワー

第11回: 授業日・12月10日(小テスト)

第12回: オフィス・アワー

第13回: 授業日・12月24日(小テスト)

第14回: オフィス・アワー

第15回: 1月14日・最終講義試験

テキスト

『P.P.P.』・高橋秀雄 / セルジュ・ジュンタ著・第3書房

参考書

『実用フランス語技能検定試験問題集』(フランス語教育振興協会、駿河台出版社)

授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

授業開講期間 前期

単位数 2

配当回生 2～8回生

担当教員 永井 英美

講義内容・テーマ

この授業ではテキストに沿って基本から復習し、中国語の基礎的な力をつけます。隔週開講で毎回試験を実施し、前回習ったことを着実に身につけてから次に進みます。前期末には、前期に学んだ中国語は、すべて聴き取れて書き取れ、そして話せることが目標です。毎回の講義及び試験もそれを目指しています。試験の内容はすべて、講義及び宿題で学んだ内容です(朗読、暗誦、書き取りほか)。毎回の授業時に次回の試験の内容を連絡します。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

該当者のみ

以下のことができる人が受講してください。
毎回の授業にきちんと出席でき、毎回の宿題および試験の準備ができる人。
特に第一回目の欠席は、やむをえない正当な理由がある場合を除いて認められないので、注意してください。
授業中、携帯等は必ず電源を切ってバッグに入れておく。(時計が必要なら、腕時計をもつこと。)
辞書をまだ持っていない人は、一回目の説明を聞いてから購入してください。

評価方法・基準

* 日常点評価

以下の の総合評価。しかしまず出席です。出席しないと試験も受けられません。

隔週講義の際、毎回実施される試験の成績の合計 出席状況と授業態度及び宿題への取り組み

講義スケジュール

まず発音の基礎を復習し、確実に身につける(4月第1回目)。
テキストを文法 本文 応用の順で勉強してゆく。(2回目以降)
毎回、授業の初めもしくは最後に試験を行う。試験の内容はその都度、次回の分を予告する。問題はすべて授業で習い、宿題に出したことから出題。筆記だけでなく、読み、暗誦の試験になる場合も多い。附属CDも大いに活用して勉強しなければならない。
前期に学習する範囲は、さほど大きくはならないので、テキストで学習したことはすべて覚えるつもりで勉強し、試験を受ける。

テキスト

『話す中国語・スリム版』董燕・遠藤光暁著 朝日出版社

テキストは必ず購入すること(立命生協)。コピーの場合、単位は認定しません。

参考書

『中日辞典』もしくは『プログレッシブ中国語辞典』いずれも小学館(1回目の授業での説明を聞いてから購入してください。)

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

中国語特別講義 B

15479

授業開講期間 後期

単位数 2

配当回生 2～8回生

担当教員 永井 英美

講義内容・テーマ

この授業ではテキストに沿って基本から復習し、中国語の基礎的な力をつけます。
隔週開講で毎回試験を実施し、前回習ったことを着実に身につけてから次に進みます。
後期末には、後期に学んだ中国語は、すべて聴き取れて書き取れ、そして話せることが目標です。毎回の講義及び試験もそれを目指しています。
試験の内容はすべて、講義及び宿題で学んだ内容です(朗読、暗誦、書き取りほか)。毎回の授業時に次回の試験の内容を連絡します。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

該当者のみ

次のことができる人が受講してください。
毎回の授業にきちんと出席でき、毎回の宿題および試験の準備ができる人。
特に第一回目の欠席は、やむをえない正当な理由がある場合を除いて認められないので、注意してください。
授業中、携帯等は必ず電源を切ってバッグに入れておく。(時計が必要なら、腕時計をもつこと。)
辞書をまだ持っていない人は、一回目の説明を聞いてから購入してください。

評価方法・基準

* 日常点評価

以下の の総合評価。とまかく、まずは出席です。出席しないと試験も受けられません。

隔週講義の際、毎回実施される試験の成績の合計 出席状況と授業態度及び宿題への取り組み

講義スケジュール

まず発音の基礎を復習し、確実に身につける(9月第1回目)。
テキストを文法 本文 応用の順で勉強してゆく。(2回目以降)
毎回、授業の初めもしくは最後に試験を行う。試験の内容はその都度、次回の分を予告する。問題はすべて授業で習い、宿題に出したことから出題。筆記だけでなく、読み、暗誦の試験になる場合も多い。附属CDも大いに活用して勉強しなければならない。
後期に学習する範囲は、さほど大きくはならないので、テキストで学習したことはすべて覚えるつもりで勉強し、試験を受ける。

テキスト

『話す中国語・スリム版』董燕・遠藤光暁著 朝日出版社

テキストは必ず購入すること(立命生協)。コピーの場合、単位は認定しません

参考書

『中日辞典』もしくは『プログレッシブ中国語辞典』いずれも小学館(1回目の授業での説明を聞いてから購入してください。)

授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

スペイン語特別講義 A

13029

授業開講期間 前期単位数 2配当回生 2～8回生担当教員 寺本 あけみ講義内容・テーマ

スペイン語の基本的な文法を習得するとともにスペイン語圏の文化についての知識を身につける。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

該当者のみ

評価方法・基準

* 日常点評価

講義スケジュール

テキストに沿って進めるが、コピー等も適宜配布し、補足する。

テキスト

授業時に指示する。

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

スペイン語特別講義 B

15480

授業開講期間 後期単位数 2配当回生 2～8回生担当教員 寺本 あけみ講義内容・テーマ

スペイン語の基本的な文法を習得するとともにスペイン語圏の文化についての知識を身につける。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

該当者のみ

評価方法・基準

* 日常点評価

講義スケジュール

テキストに沿って進めるが、コピー等も適宜配布し、補足する。

テキスト

授業時に指示する。

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

朝鮮語特別講義 A

13030

授業開講期間 前期

単位数 2

配当回生 2～8回生

担当教員 鄭 雅英

講義内容・テーマ

ハングルを習い始めた初歩の段階。母音・子音の修得と発音の練習に始まり、挨拶言葉、ハングルのごく短い文を読み、書き、聞き取ることができるようにする。ハングル検定、4級の合格を目指す。
授業ごとに課題を与え、講義は隔週(8回)、講義日に小テストを行う。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

該当者のみ

評価方法・基準

* 日常点評価
成績評価は合格の場合、原則として「C」、不合格の場合「F」とする

講義スケジュール

第1回～第2回 文字と発音 数の表現
第3回 存在詞と指定詞
第4回 用言の活用と
第5回 用言の連体形
第6回 用言の過去形
第7回 敬語表現とまとめ
第8回 最終テスト

テキスト

文京洙『ハングル教本:基礎から読解まで』(新幹社)

参考書

油谷幸利他『朝鮮語辞典』(小学館)

授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

朝鮮語特別講義 B

15481

授業開講期間 後期

単位数 2

配当回生 2～8回生

担当教員 鄭 雅英

講義内容・テーマ

ハングルを習い始めた初歩の段階。母音・子音の修得と発音の練習に始まり、挨拶言葉、ハングルのごく短い文を読み、書き、聞き取ることができるようにする。ハングル検定、4級の合格を目指す。
授業ごとに課題を与え、講義は隔週(8回)、講義日に小テストを行う。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

該当者のみ

評価方法・基準

* 日常点評価
成績評価は合格の場合、原則として「C」、不合格の場合「F」とする。

講義スケジュール

第1回～第2回 文字と発音 数の表現
第3回 存在詞と指定詞
第4回 用言の活用と
第5回 用言の連体形
第6回 用言の過去形
第7回 敬語表現とまとめ
第8回 最終テスト

テキスト

文京洙『ハングル教本:基礎から読解まで』(新幹社)

参考書

油谷幸利他『朝鮮語辞典』(小学館)

授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

西ヨーロッパの言語 A

13033

授業開講期間 前期

単位数 2

配当回生 3回生以上

担当教員 大西 光弘

講義内容・テーマ

ドイツの言語と文化について学びながら、合わせてドイツ語の初歩的なコミュニケーション能力を身につける。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

該当者のみ

評価方法・基準

* 日常点評価

授業中に1・2回の小レポート(もしくは小テスト)を課します。

最終講義試験

講義スケジュール

この授業は、ドイツの言語と文化に親しんでもらうための授業です。

これ以上簡単に書かれた本はないという参考書を、教科書に選びました。実は解答も本の最後に載っていますから、熱意のある人は自分で自習できます。終りまで理解しながら通読すれば、初歩的なコミュニケーション能力がつくでしょう。

授業では教科書をできるだけ簡明に解説しながら読んでゆきます。

さらに、読本の代わりにドイツの歌のプリントを配り、それも読んでゆきます。歌を覚えるのが一番効率のよい語学の勉強の仕方です。できれば何曲か覚えて下さい。

ドイツのニュースを衛星放送でやっているのをご存知ですか？NHKのBS7で、朝の8時20分から15分間やっています。その週の主なニュースをビデオに撮ってきて、今ドイツでどういうことが起きているのかもお知らせしましょう。ドイツがどういう国か知って、親しみを持って下さい。

テキスト

在間進『ドイツ語早わかり』(三修社)

参考書

授業中に紹介します。

授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

西ヨーロッパの言語 B

15484

授業開講期間 後期

単位数 2

配当回生 3回生以上

担当教員 永都 軍三

講義内容・テーマ

フランスの言語と文化を中心に、他の西ヨーロッパの言語や文化もときどき視野に入れながら講義する。それとともに基礎的なコミュニケーション能力の養成を目指したい。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

該当者のみ

評価方法・基準

* 日常点評価

平素の学習姿勢、期間中課す1, 2度の小レポート、最終講義日試験によって総合的に評価する。

講義スケジュール

1. 西ヨーロッパの言語地図。
 2. 冠詞・名詞・形容詞。
 3. フランスの言語事情。
 4. 否定文・疑問文・命令文。
 5. 動詞。
 6. フランスの政治。
 7. 人称代名詞。
 8. フランスの文化。
- 各項目に1～3回を当てる。

テキスト

テキストは使用しない。

参考書

授業のなかで適宜指示する。

授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

東アジアの言語 A

13032

授業開講期間 前期単位数 2配当回生 3回生以上担当教員 鈴木 常勝講義内容・テーマ

当講義は語学単位として設定されている。中国語学習経験のない受講生をも対象として、中国語、アジア文化の理解をめざす。耳から慣れる中国語会話練習(初歩レベル)、教材、映像を活用したアジア文化との接触により、受講生のアジア認識を深めるものとする。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

該当者のみ

評価方法・基準

* 日常点評価
レポートを課す。

講義スケジュールテキスト

講義初回に指示します。オリジナルプリントの使用を予定しています。

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

授業開講期間 後期

単位数 2

配当回生 3回生以上

担当教員 梁 貞模

講義内容・テーマ

日韓の言語や文化における相違と類似点や、知っておきたい韓国の仕組みなどを取り上げ、韓国朝鮮地域についての理解とコミュニケーション能力の涵養を目指して講義します。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

該当者のみ

評価方法・基準

* 定期試験として実施

* 日常点評価

定期試験 60%

平常点 30%

出席点 10%

講義スケジュール

- (1) ソウルの現在
- (2) 韓国と朝鮮
- (3) 日常生活の道德
- (4) 街角の言語
- (5) 日常生活における祝祭意識(1)
- (6) 食事にみる世界観(1)
- (7) 化粧と美容整形
- (8) 徴兵制と南北問題
- (9) 映画は躍進する(1)
- (10) 映画は躍進する(2)
- (11) 日常生活における祝祭意識(2)
- (12) 食事にみる世界観(2)
- (13) 儒教文化が残したもの
- (14) 日本文化の解禁以後
- (15) まとめ

テキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他